

3. 【寺院行事などの工夫（セレモニー関係）】①

ナンバーをクリック！

【セレモニー系】

- ★ 結婚式⇒[NO.45](#), [NO.151](#), [NO.189](#)
- ★ 寺で格安の葬儀⇒[NO.34](#), [NO.50](#)
- ★ 七五三⇒[NO.44](#)
- ★ 成人の日⇒[NO.180](#)
- ★ 古希・米寿⇒[NO.73](#)
- ★ 金婚式・銀婚式⇒[NO.87](#)
- ★ 還暦式⇒[NO.50](#)
- ★ 新生児や一歳児の成長祈願⇒[NO.171](#)
- ★ 老人が穏やかに臨終を迎える為の祈りの日⇒[NO.171](#)
- ★ 動物供養⇒[NO.222](#)

【一般年中行事系】

- ★ 花火大会⇒[NO.105](#)
- ★ 炊き出しの日⇒[NO.135](#), [NO.212](#)
- ★ 焼き芋⇒[NO.72](#), [NO.162](#), [NO.201](#), [NO.207](#)
- ★ 七草粥⇒[NO.180](#)
- ★ 百人一首⇒[NO.44](#), [NO.95](#), [NO.162](#), [NO.194](#)
- ★ 羽つき⇒[NO.44](#)
- ★ 十五夜⇒[NO.177](#)
- ★ 新一年生など地元の人との初顔合わせ会⇒[NO.105](#)
- ★ 敬老の日・老人会とゲーム⇒[NO.44](#)

【仏教年中行事】

- ★ 餅つき⇒[NO.22](#), [NO.44](#), [NO.56](#), [NO.95](#), [NO.105](#), [NO.162](#), [NO.207](#), [NO.211](#)
- ★ 節分（恵方巻き作り・豆まき）⇒[NO.180](#)
- ★ お彼岸（おはぎ作り）⇒[NO.44](#)
- ★ お寺で団欒年越し⇒[NO.127](#)

3.【寺院行事などの工夫（セレモニー関係）】②

ナンバーをクリック！

- ★ 初詣⇒[NO.159](#)
- ★ 七夕（星を見る会）⇒[NO.44](#), [NO.95](#), [NO.177](#)
- ★ お盆⇒[NO.44](#), [NO.180](#)
- ★ 菊祭り⇒[NO.44](#)
- ★ 花まつり⇒[NO.36](#), [NO.44](#), [NO.66](#), [NO.198](#)

【スタンプラリー系】

- ★ お寺でたからさがし⇒[NO.126](#)
- ★ スタンプブック作成（お寺のプロフィールなどを載せて全制覇することを目指すもの、寺ごとに出来る修行体験）⇒[NO.186](#)
- ★ 地域を巻き込んでのゲーム（街の空き店舗活用、福神めぐり、謎解き、店探し、人探し、町内スポット調べ）／旅行会社と提携ツアー（寺をスタートとゴール地点にする）⇒[NO.24](#)
- ★ ウォーキングコース（休憩所、スタンプラリー、園児）⇒[NO.15](#), [NO.35](#), [NO.57](#), [NO.210](#)
- ★ スタンプラリー（七福神巡り、御朱印集め）⇒[NO.136](#), [NO.208](#)
- ★ クリーンアップオリエン寺 ing（テーリング）（ごみひろいしながらお寺を目指す、ゴミと交換でスタンプやキーワードをもらう、複数寺院を通過してゴール）⇒[NO.141](#)
- ★ お寺で食巡り（街の数カ所に食べ物を用意する）⇒[NO.210](#)

【体験型イベント系】

- ★ お寺でキャンプ⇒[NO.126](#), [NO.217](#)
- ★ 伝統芸能のワークショップ（狂言、仕舞、小鼓、笛、茶道、華道、香道、友禅）⇒[NO.110](#), [NO.147](#)
- ★ お仕事体験⇒[NO.72](#)
- ★ 自分で作るお守り「10分間写経」⇒[NO.119](#)
- ★ お坊さんの格好をして記念撮影⇒[NO.166](#)
- ★ お寺で怪談会⇒[NO.127](#)

【まつり型イベント系】

- ★ 仏教説話をテーマにしたイベント⇒[NO.33](#)

3.【寺院行事などの工夫（セレモニー関係）】③

ナンバーをクリック！

- ★ 災害被害者に寄付をするための催しもの・防災まつり⇒[NO.192](#)
- ★ 防災祭り⇒[NO.135](#)
- ★ 読経コンテスト⇒[NO.72](#), [NO.103](#)
- ★ 生きる喜びと死の悲しみを教育するようなイベント⇒[NO.205](#)
- ★ 寺院の一部を店舗として貸すイベント⇒[NO.218](#)
- ★ 日本酒まつり（利き酒大会など）⇒[NO.19](#)
- ★ 和菓子まつり⇒[NO.33](#), [NO.156](#), [NO.172](#)
- ★ 子供フェスティバル⇒[NO.112](#)
- ★ わらしべマーケット⇒[NO.113](#)
- ★ 復興の灯明まつり⇒[NO.124](#)

【キャラモノ系】

- ★ アジサイ寺などにののように花を売りにした寺⇒[NO.185](#)
- ★ オリジナルグッズ⇒[NO.125](#), [NO.172](#)
- ★ その寺のカード⇒[NO.36](#)
- ★ 四季をテーマにした可愛いカード⇒[NO.52](#)
- ★ 現世利益の神を祭り、宣伝する⇒[NO.208](#)
- ★ 巫女キャラ⇒[NO.138](#)
- ★ マスコットキャラクター（一般公募）⇒[NO.2](#), [NO.63](#), [NO.92](#)

【芸能人系】

- ★ 堂本剛くんのライブ⇒[NO.142](#)
- ★ 読み語りに効果音等のつく「立体読み語り」（本庄慧一郎氏）⇒[NO.223](#)
- ★ 木山みづほの歌とオペラ（本庄慧一郎氏）⇒[NO.223](#)
- ★ 演劇（劇団 U）⇒[NO.196](#)
- ★ 有名人と一緒に豆まきと記念撮影⇒[NO.126](#)
- ★ ハープのコンサート⇒[NO.151](#)
- ★ 芸能人と一緒にお経を読む⇒[NO.158](#)

3. 【寺院行事などの工夫（セレモニー関係）】④

ナンバーをクリック！

【僧侶の努力系】

- ★ お坊さんが介護の資格を取る⇒[NO.11](#)
- ★ 訪問会話（僧侶が戸別訪問し会話する）⇒[NO.18](#), [NO.125](#)
- ★ 僧侶が一件ずつ歩いて何々をしますとチラシを配って廻る⇒[NO.8](#)
- ★ 僧侶が実労働（草刈、雪かき、買い物）⇒[NO.180](#)
- ★ 現在帳（各檀家の細かい情報）をつくる⇒[NO.189](#)
- ★ お坊さん自ら地域活動に参加する⇒[NO.48](#)
- ★ お寺と TPP について考える⇒[NO.11](#)
- ★ 喫茶店に赴き辻説法⇒[NO.40](#)
- ★ お経の教えの通りに自ら行う⇒[NO.48](#)
- ★ お布施を安くする⇒[NO.48](#)

キャラクターを作る		不明	不明
NO.2	P1	キャラもの	
			⇒ジャンルへ

正統寺は毎月七日（おんくさくさ）お題目講かあります
60人の方が覚えて、約二時間位、題目と講話を聞いて
帰るのが楽しめず、いつもの人もおえたり、初めてみえる方
が、正統寺住職のつながりか、うと思わうと人々との
つながりは、ロバ話してゐるより、実際、行為にやってみる
事からだと思います。

エで、若用用アイディアとしては、キャラクタキャラクターもイメー
ジとしてはいうでしょうが、今の時代、若い世代にわかりやすく
説明する場にも、このようなキャラクターがあつてほしい
もう一つは、お寺の活用としては、お寺で子供たちを集め
て、キャラクタキャラクターもしたい。
（地域のお寺、寺の友、友が住まうる又、
地域の人が、自分か住まうる寺、市場）
人形劇とすること、
地域地域の活カになる事と思います。

雑学大学の開設		70 才	男性
NO.5	P1	勉強会	
			⇒ジャンルへ

目的	<ul style="list-style-type: none"> 1、気軽に参加できる学習機会の提供、 2、地域住民のふれあいの場づくり、 3、学習内容を地域社会へ還元、 4、近年、疎遠となっているお寺と住民の接点を図る、
概要	<ul style="list-style-type: none"> 1、お寺を活動の拠点とする、 2、参加者は、地域の住民であれば誰でも可、一応メンバー登録制、 3、活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ① 講演会 ・ 月 1 回開催、 ・ テーマは定めず、毎回異なる、 ・ 講師は特に拘らず、地域の有識者、教育者、特別な知識を有する者など、 ② 分科会 ・ メンバーの希望により、いろんなジャンルを取り上げる、 ・ メンバーが集まり、互いに勉強し合う、 (例) 地域活性化グループ、 地域活性化についての検討、 地域再発見グループ、 史跡、景観、地域文化、歴史、産業、 農産物、など、
その他	<ul style="list-style-type: none"> 1、当初は、お寺と有志でスタートする、 2、その後、役員や運営委員などを決める、 3、年会費などの検討が必要となる、

必要を感じております。「俳句」「短歌」を教えたり
 する様な事もお寺さんがいらしてはどうでしょうか？
 書道、お花等も教えたら少しでもその人に
 生活の中に入れてやるのではないのでしょうか？
 交流が大切でその文化を教えるの良いと思っ
 ます。笑うと言うテーマを持って楽しい文化
 教室にしたら少しずつでも人が集って来ます。
 長い間ババアの人々ばかりが寄って来ると思います。
 修業をされたお坊さんのエピソード等も、
 一般人には歓迎されます。(笑いの渦が起る様な)
 以上の事を私は提案します。

「実行、実現する事が大事で、一歩お千里まで」
 「1軒ずつチラシを配ります今度何々をしますから
 どうかぜひいらして下さい」と

お寺は NPO の元祖である		62 才	男性
NO.11	P1	地域ネットワーク／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

「お寺は NPO (非営利組織) の元祖である」

1. 一般社会では、仕事はいい人の所に集まる傾向があります。
2. お寺の住職さんは、地域の郵便局、農協、福祉関係の各種施設等を時々訪問しよう。
3. 必要を感じたら、介護の資格をとろう。
4. 「お寺と TPP」について考えてみよう。
5. 要するに住職(行者)が変われば、寺をとりまき環境も変わると思っています。

お寺と地域のこれあい はとても大切で長くつづくような
イベント的な人があつたことが望ましい。
早めのお知らせ 計画(報告・連絡・相談) 安全管理
得意面 きちりと一定のルールをつくり お寺におとづれる人々に
「知らなかった」と言われることのないように気をつける
いつかしてコミニケーション 人々とのあつたこと書いて人々に
と読めれば 本音にむかふいいか 失敗をおそれず積極的にアイデアを
必ず全部 拾う。決して否定はしない。一ツカバイン様の説きと
受けとめ 以外なところからヒントをつかみ 大きな楽しい展開へと
導くことがでさる。その時の場の状態に応じて ことさし
展開が 出る。

- 1 地産招集 私の田舎でお長アイデアで地域の地場産品
限定品 等の名店をつくり かなり うるおたらしい。
- 2 フリーマーケット いなくなつた 衣服 食器 バッグ 花かん
絵画 楽器 大工道具 等おもに楽しい。
- 3 大軒カーのPR会 宣伝も悪くないと思う。相対決生のかく人々に試験
等 地味にあげるサービス付きも楽しい。空間づくり
- 4 ライブ・コンサート 若者連のおつまりの場として ときめかた
もりあがるのも 世代交代としては良いもの
- 5 シミ絵、R.H.展覧 古々長きものの発表会 雨天決行という条件を
望ましい。
- 6 お笑い大会 売れない漫才師達による お笑い大会。
あるいは吉本工業に 無料で場所をお貸した
という ことで 未来のスターが生まれることを祈る。
- 7 お食事会 真夏のやわらか流し 真冬のおでん ラどん
地元農家の人々の食材の持ち寄りでもと一流の板前
フックさん達による ボランティアで 場をもちあげる
- 8 カラオケ大会 月に1〜2回 野外で思いっきり 年輩者中心に
おまつり パーティ気分での のりのり。
- 9 ガーデニングクラブ 花の好きな人々がグループをつくり お寺内の花づくり
なるべくお金を使わず 梅わけ さし木 種 等 持ち
お寺を好きな花で キレイにする。

ウォーキングコース 年輩の方々、中高年者によくお見かけするのだから
公園等でのウォーキング、お寺でも安全なバリアフリー
をつくり、途中で休けいてるベンチ、木陰、足湯
等を つくって おさいせん箱も必ず設置する
ちょっと変な おもしろい アイデアではウォーキング
の安全な道が できるのなら スタンプ台、スタンプ
をつくり、何日一回上なら、〇〇賞とかお寺様
からの ごほうび なんていうのも、おばちゃん
達の 楽しみ の ひとつ になるかもしれない。

1/ 地元のダイカサービス 私の親も高齢高齢者で認知、足腰の悪くなるのを
への お声かけ おくらせるわのり/ビツに かはわせてゐるから
お寺で 車いす用のトイレが おて花とか外観の
美しい所が あるのなら ダイカサービス等の
所へも どんどん おまかけ下さい の お声も
かけてほしい。戦争を知っている人達、ものが
なかな悪条件のなかを生きぬいた我々の人生の
大先輩達を、ウェルカム精神で おもてなしを
してあげてほしい。高齢者の親を持つ娘として切なる
願いである。

2 園児達の園庭 葉っぱの落ちる頃、落ち葉を園児に拾って
もらって、その葉っぱで、焼きたての餅をつくる。
子供達の 手づくりの おもいでづくりができる。

老若男女 問わず、みんなが気持ちよく お寺でつくる おもいでづくり
人と人のおいしさを つながる 人間らしい心を育てるための
これからの場として、お寺さんも 仏教用語で 悟るための
教室も 必要性は十分 あるから 庶民のみんなが 楽しく
あつまる努力、一歩が 仏様の 縁によって あつまる
どんな様も おなちよう下さ、という 手づくりのぬくもりは
まず最初に お寺さんの仏心から スタート してほしいと思う。

お接待と訪問会話		63 才	女性
NO.18	P1	僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

タウン誌などで、時折お寺での音楽会や新能などの催し物の紹介が掲載されているとよく参加させていただいております。これらは特定のお寺で行われていて、私たちの街中にあるお寺ではほとんど葬儀等のための存在でしかありません。もったいないと常々思っておりました。

私はこの3年間に約70ヶ寺を巡り歩きましたが、多くのお寺は森閑としていました。それはそれでよさもありますが、地域の元気なお年寄りに参加していただき、寺の境内で、お寺参りに来た人々にお茶のお接待があったらうれしいなと思いました。参拝だけでなくその土地の人と触れ合うこともお寺の印象と共に心に刻むからです。

住職さんと地域の人々がもっと係わり合いを持つとしたら、特別な催し物や祭を行うことも素晴らしいし、写経であったり座禅であったりすることも良いし、これを行っているお寺もありますがまだまだ一部ですし、一般的ではありません。

私は、もっと住職さんと地域の人々は気楽にお話しができていいのではないかと思います、「訪問会話」を提唱します。お接待に参加していただいた地域の方から、地域の一人暮らしのお年寄りの情報を得て、住職さんはそのお年寄りの家を訪問し、声を掛けてあげることが出来たら素晴らしいと思います。訪問介護はヘルパーさんのお仕事ですが、住職さんは「訪問会話」をしていただくわけです。

住職さんならではの暖かなお話は、孤独な老人の心の支えになるはずです。

日本酒	相談	学習塾	料理教室	相撲	不明	男性
NO.19	P1	相談窓口／まつり型イベント／勉強会				
						⇒ジャンルへ

地域社会の為に寺院を活用していくアイデアが、いくつか浮かびましたので投稿させていただきます。

① 寺院を解放して日本酒祭りとか如何でしょうか？

酒屋さんとコラボして各地の日本酒の販売。利き酒コーナー等
行い、優秀者には清酒一本プレゼント等。年1～2回位

② うつ病等、精神疾患の当事者、家族の為に相談窓口開設

最近、増加の傾向にあると思うので、精神科医、心理カウンセ
ラーを招いて、精神科医は医学の立場から、カウンセラーは心
理学の立場から、僧侶は宗教的見地からアドバイスする、その
ようなコーナーを月1回位のペースで行うと、衆生救済につな
がると思うのですが・・・

③ 上と重なるのですが、内科医等の健康相談窓口

④ 本堂を解放して学習塾等も如何でしょうか？

独立を目指す塾講師等に場所を提供する等。

⑤ 料理の専門家を招いて、料理教室の開設

健康で低カロリー、簡単レシピの教室等は、主婦等にうけると思
います。

⑥ ちびっこ相撲教室なんてどうでしょう？

各寺院、近場の相撲部屋から、若手力士等を招き相撲を指導して
頂き、最後にちゃんこ鍋をみんなで食べる。年1～2回位か。

以上6点投稿させていただきますが、宣伝費、各講師の招聘費
用等、コストが少々、気になるところです。文章的に稚拙な点多
々ありますが、ご了承ください。

百歳現役：大人の寺子屋		69 才	男性
NO.22	P1	勉強会／仏教年中行事	
			⇒ジャンルへ

<時代背景>

東日本大震災で日本中が判ったこと。それは「親子の絆・地域の絆の大切さ」です。昔、地域の人々の集合場所はお寺だったと言われています。今、お寺は「葬式をする処」になってしまったと思われます。近くのお寺も何となく敷居が高くて入れません。お寺はもっと地域に溶け込んだ方がいいのではと私は考えます。それともう一つの現状は、団塊の世代が60歳を過ぎ、シニア層が大量に増えている少子高齢化の日本社会になっている事。

<地域に溶け込む方法>

- ① まずお寺の敷居を低くして、誰でも入れるようにすべきです。それには、お寺の敷地や境内を開放するところから始めるべきだと思います。
- ② 東日本大震災で人の絆が大切だという事が本当によくわかりました。このチャンスにお寺から「人々の絆・地域の絆」を広げるべきだと考えます
- ③ お寺を利用して「人々の絆・地域の絆」を創り出すには、先ず人々の共感を得る事です。それには、時間があり、子供の頃、地域の絆に触れていたシニア層を引き込むことが大事だと考えます。

※シニア層を終結させるキーワードは「家族の絆」「地域密着」「飽きさせない・楽しい」「気分が若くなる」「孤独を癒し共に楽しむ」

<具体的提案>

「百歳現役：大人の寺子屋」

- ① 先ず、シニア層が興味を持ち、集まりやすい様に「お酒付の懇談会」などを開設
 - ② 百歳まで現役で、足腰丈夫で皆で元気に生きましょう！と旗を掲げる
 - ③ 時間のあるシニア層の全面協力（ボランティア）で様々な催しを決める
 - ④ 懇談会の中で、その地域に何が役に立つか、取り込みやすいかを定める
 - ⑤ 催しの候補
 - ・「俳句の会」「川柳の会」・・・黛まどか等有名人を安く招聘
 - ・「地域の歴史を語る会」・・・皆で研究
 - ・「除夜の鐘つき」・・・地域の人達に任せる
 - ・「お寺で餅つき大会」地域の大人と子供たちを総動員
 - ・「論語を語る夕べ」・・・専門家を安く招聘
- ※定期的に子供たちを集めて「論語を読む会」にまで持って行けると理想的

<リード>

例えば七福神めぐり

駅まで歩き込んだ地域活性化のイメージ(あり)。観光化して

街全体が集客アップし、商店も収益アップに結びついています。

テーマ

今回の募集も①お客(地域住民)を集め②商品(地域情報)を売る

③深き店舗も活用し④地域に密着して⑤高齢者も呼び出す

⑥観光地化し⑦強い街をつくる「アゲアゲ」を目指しています。

そのためには

「アゲアゲ」を基に

お寺が「リーダー」シップをとり

地域住民・観光客が「行動」し

駅まで歩き込んだ街全体が「組織」化する

そのアゲアゲ(デザイン)は

寺は知名度や存在感が上がるメリット

参加者は商品がもらえるメリット

商品提供者は収益があるメリット

もし、それ(アゲアゲ)を背景に観光客が来れば

駅は乗車料金が上がるメリットにはなればいいなと思います。

そのアイディア

トリックプリントを活用します。

寺や自治体等が地元作家のトリックプリントの招待券を配布

寺則は単独でも協同でも持ち回りでも連携し
イベントやメッセージを発信、寺に集客する

訪れた観光客には駅がポイントとし、招待券を配布する

集客した作家は観光客は寺が発信した情報も共有し
芸術家や観光客、歴史を地域で探索する、発見する

そのゴールは必ず「お寺」がポイントになる。

UV-LEDを照射してください

2012年
〇月〇日
〇〇寺に
〇〇時に
お参りください

<ヒント>
〇寺の××に
〇〇がいる



別添えのムラサキ色のラベルを
この白い紙に当ててください

トリックプリント



上記もトリックプリントは、チラシやポスターにも活用できる

地域のお寺カフェ&お寺カレッジ			56 才	女性
NO.33	P1	まつり型イベント		
				⇒ジャンルへ

●趣旨・内容

ずっと昔から、お寺は地域の精神的な要として大切な役割を担ってきました。けれども若い人や振興住宅地に暮らす人々にとって、お寺は遠い存在となりつつあるのが現実です。

私は長年青森県弘前市に暮らし、地域の人々とお寺が密接な関係にある中にいたので、四年前、東京で暮らし始めてから、都会のお寺と地域の人々との関係が近いことに驚きました。

個人的なことになりますが、首都圏に暮らす弟は十年ほど鬱を患い、引きこもりがちな暮らしをしてきました。数年前から檀家となっているお寺が開催している日曜座禅に参加したいと考えていたようですが、親戚縁者の目を気にする母はそれを許しませんでした。

数年間迷った末に弟が門を叩いたのが、キリスト教会でした。日曜礼拝に行き、いろいろな人と会話をし、交流する中で、弟は快復していきました。その姿を目にし、週に一度でも誰かと会い、話ができる場所のあることの大切さを実感しました。心を解き放つことができる場所のひとつがお寺だったらどんなにいいでしょう。

檀家でなくても、誰でも気軽に足を向けることのできるお寺が各地域にあれば、たくさんの人の心が救われるのではないかと考えていました。

観光で行くようなお寺ではなく、身近にあるお寺の小さな一室が、週に一度でもいいので地域に開放され、そこに行けばお茶をいただきながら誰かと話ができる、そんな空間となれば魅力的です。無料ではなく、簡単なお菓子が付き、お茶代として三百円、五百円なり、状況に合わせて参加費を取っていただければ、行く人にとっても足を向けやすいかと思います。

お寺が企画、運営するのが難しい場合は檀家とは関係のない、地域に暮らす有志の手によって運営するのも可能ではないでしょうか。

お寺が地域活動の拠点になればどんなにいいでしょう。

各地域にはさまざまな経験を積んだ大人がいるはずです。子育てを終えた主婦のブロ、仕事をリタイアしたシルバー世代、新たに転居してきた人で地域を知りたいと考えている元気な女性たち。地域の眠れる財産ともいえる人々の力を借り、お寺からさまざまな情報や学びを発信していければ、人もお寺も活かされていくことと思います。

幼い子どもへの虐待の増加が社会問題になっていますが、孤独な環境での育児は不安なものです。子育て中の若い母親たちも、安心して心を開ける場所が必要です。そんなお母さんたちにもお寺に足を向けてもらいたいと思います。子育てを終えた先輩たちに話を聞いてもらうだけでも、心が安らぐはずです。

独り暮らしのお年寄り、母親向けに、カフェと並行して「絵手紙」「写経」「お経の音読」「ヨガ」など地域住人が自分の得意分野を指導し、一回千円（お茶とお菓子付き）で教えてくれる教室などを開催すれば、参加したいという人もいることでしょう。

人はただ話を聞いてもらうだけでも救われる時があります。誰かと会話をすることで元気になります。お寺でカフェと教室を開催することが決まったら、お寺のHPで情報を流してみよう。ツイッターなどロコミで情報が伝わり、教室を担当してみたいというスタッフも集まるはずです。まずは一杯のお茶とお菓子から始めてみてはいかがでしょうか。

週に一回から、一杯のお茶から始めてみる。一歩を踏み出してみることが大事だと思います。

カフェに来た時に、ご住職や奥さまのお話をうかがい、仏教の世界に触れることができれば尚、魅力的です。私自身もそうですが、

地域のお寺カフェ&お寺カレッジ		56 才	女性
NO.33	P2	まつり型イベント	
			⇒ジャンルへ

将来入るお墓も決まっておらず、どうしたらよいものか思案中、仏教や死後の世界、お墓などに関心を持つ人も多いかと思います。お寺カフェがきっかけとなり、お寺が身近な存在となれば、足を運ぶ人も増え、お寺への認識も変わってくることでしょう。

私自身、もしそういうお寺があれば、できることをお手伝いしたいなと思います。今の日本には精神的な拠り所となる場所が必要だと考えます。

どこに拠り所を求めているのか分からないので、若者たちは新興宗教などに教いを求めるのではないのでしょうか。若者ばかりではありません、独り暮らしの老人、仕事に追われる熟年たち、時間のある主婦も、精神的な拠り所を求めているのだと思います。

地域の集会所や公民館では果たすことのできない精神的な拠り所として、お寺は、これから社会の中で大切な役割を担う必要があると考えます。まずその一歩として、気軽に足を運んでもらうスペースをつくってみてはいかがでしょうか。その一歩から次の新しい芽吹きが始まるかもしれません。将来、お寺カフェ&お寺カレッジとなり、人が集い、学び、発信し、精神的な拠り所となればいいのです。ささやかなスペースからの出発でいいと思います。

お寺カフェが軌道に乗り、地域に浸透した後、本堂など広い場所を使つてのコンサート（琵琶、横笛、鼓など邦楽、チェロなどお寺の雰囲気を活かすもの）、朗読会、仏教説話を聴く会などを企画して、よりたくさんの方にお寺の雰囲気と時間を楽しんでもらうとよいのではないのでしょうか。

私は昨年11月、青森県弘前市文化センターホールで「和菓子」をキーワードにしたイベント「和菓子で描く津軽の四季」というコンサートとトークセッションを開催し、四百人余りの地域の方に来しんでもらいました。城下町弘前には和菓子屋さんが二十店あまりあります。それらの和菓子職人さんに声を掛け、このイベントのために新しいお菓子を創作してもらいました。七つの和菓子が誕生し、当日会場では参加者にお茶と一緒に召し上がっていただきました。

舞台では和菓子職人さん七人にお菓子作りへの思い、これからの夢を語っていただき、弘前市長とトークセッションしてもらいました。今年は和菓子屋さん巡りや地域のお母さんたちの手による郷土料理を農家の庭先で味わってもらうツアーなどを企画しています。お寺を会場に、そのお寺をイメージしたお菓子を地域の和菓子屋さんに創作してもらい、地域のお茶の教授にお点前をしてもらい、お茶と和菓子をいただきながら、ご住職のお話を聴く会、郷土の料理を味わう会など地域の特徴を活かしたイベントを開催する可能性もあると思います。

各地域には必ず宝物があります。それらを活かすのも眠らせておくのも、人次第かと思います。お寺も地域の財産のひとつではないのでしょうか。地域の特色、地域の宝物を見極めながら、お寺を中心とした活動が発信できることでしょう。

まずは一般の方へ門戸を開き、一服のお茶、心に響くお話を頂戴できれば、お寺がより一層身近な存在となることでしょう。お寺の持つエネルギーを信じています。

親子おやつ寺子屋 お寺で学ぶ「お葬式、お墓の事」		55 才	男性
NO.34	P1	セレモニー／情報発信	
			⇒ジャンルへ

親子おやつ寺子屋

お寺で作って、食べて、遊んじゃおう

【要旨】

近年における経済状況の悪化による時間にゆとりのない保護者の増加、働く母親の増加や核家族化によって祖父母などからによる食文化の継承不足などなど、将来の日本、世界を担う子供たちにとって必要な食育の現状における環境には大変厳しいものがあります。

これらの要因を背景に 2005 年に制定された食育基本法により、子供たちの食の充実に図るための取り組みが多方面において活発に行われてきておりますが、広く仏教界、また身近なお寺における食育活動はいかがでしょうか。

食育基本法でうたわれている‘感謝の念と理解’の求めるものは‘いのちに合掌’の精神と根を同じくするものと思います。

おやつ作りを通じ、地域に暮らす親子のコミュニケーションを育み、おじいちゃん・おばあちゃんの生活の知恵を学ぶ事やふれ合いを通じた‘絆’を感じ取り子供たちのこころの活性化及び地域の活性化を図りたいと考え表記の提案をいたします。

【概要】

- 1、料理やおやつ作りの腕前に自信のある、または評判の檀家さんや地域の住人による‘おやつ作り’の指導。(順番制で担当)
- 2、対象は親子、家族で参加できる方。もちろん子供だけでも良い。
- 3、会費制とし 1 回千円以下が望ましい。
- 4、回によっては家庭での手作りおやつ持参でみんなで食べる事も。
- 5、お寺さんには場所の提供（台所と食事の場）ならびに食に関する法話をお願いします。

お寺で学ぶ「お葬式、お墓の事」

【要旨】

2006 年に 108 万人、2040 年には 166 万人に達するという多死社会（国立社会保障・人口問題研究所推計値）を前に、社会全体での問題としてよりも、個人としての死の問題は自分自身の安心及び残された家族に対する切実な将来の不安要素であります。

しかしながらお葬式やお墓のことは、分からない事だらけでその時にしなければ専門家に聞かないものと思われれます。

また専門家に聞くとと言っても商売優先の葬儀社や石屋さんに聞く事くらいしか出来ません。お寺さんに直接聞く事はなかなか無いのではないのでしょうか。

そこで、お寺さんがお葬式の意味や葬儀の手順、手続きを教える勉強会を行ってはいかがでしょうか。またお墓の説明会も望まれるものと思います。

山川草木巡拝ウォーキング		70 才	男性
NO.35	P1	スタンプラリー	
			⇒ジャンルへ

本案は山川草木を親しみ、山内を巡拝し、ウォーキングをすることを提案する。寺院には奥の院や広大な裏山を持ち、参道を供えているところがある。本案はその参道を活用するものである。市民への歩く場として開放する。一方寺の僧も市民と混じり同行する。

健康志向で歩くこと、ウォーキングブームである。こうした新しいブームの形を公開し、一般市民の寺に来る機会を増大させようとする。歴史と祈りの深い場を歩くというウォーキングのスタイルの拡大も期待する。

山川草木、花鳥風月をめめて、奥の院や仏跡を巡拝する。僧侶と同じ道を歩くことによって、市民は僧侶に親近感を持つであろう。こうした山内のウォーキングが一般化されて広まることにより、寺は僧を通して市民に仏法への関心の高まりに寄与するだろう。

下記に本提案の底辺にあるものを記載したい。

(1) 寺の姿が見えない

私たちは寺の僧侶たちがどんな風にして修行しているのかを知ることが少ない。戸外で僧侶に触れることも無い。寺とは建物と仏陀のおわすところくらいにしか身近でない。あとは葬式、盆の参拝くらいとなってしまう。寺の姿が身近でないことが市民の寺への関心を生じにくいものになっているのではないだろうか。

(2) 参拝者の多い寺社とは

私は数年前より関西の神仏巡拝に行っている。老若男女を問わず参拝者でにぎわっているところがある。こうしたところは歴史、古くからの言い伝えのあ

山川草木巡拝ウォーキング		70 才	男性
NO.35	P2	スタンプラリー	
			⇒ジャンルへ

る由緒が他の堂塔、仏像よりあることはもとよりそれ等に係るわかりやすい仕組みや形がある。

現生利益をかなえさせてくれるようなものである。これが良いというわけではないが、多くの人が集まってくると次なる発展に向かっている気がする。

(3) 歩くこと、シニア層の人口増加など

体を動かして運動をしている人は大変多い。魅力あるウォーキングコースがあれば、人は集まってこよう。

風景がよく、草花が眺められて近場に観光名所、温泉などがあればなお良いだろう。ここにパワースポットや癒し心をくすぐるところがあれば奥の深いウォーキングコースになるだろう。

心のよりどころを探し、八十八箇所をめぐり四国観音めぐりをする人たちが増えているという。行ってみたい歩く場があれば人は集まってくるだろう。

(4) 自然志向

天然水を求めたり、無農薬有機野菜などの指向は経済拡大や生活向上を求めた結果の反省だろう。戦前頃の貧しくも自然豊かな日常に浸りたい。車社会や消費拡大の行き過ぎに気が付いている。

(5) 神仏混合

富士山の世界遺産登録の動向は、日本古来の山岳信仰と仏教の混合が論じられよう。神仏分離の仏教界の苦難など私たちはあまり話題としていない。

しかし古来からの神をまつりその中に仏教の教えを宥和して安らぎを求めてきた私たちの心がある。ゆっくり明治初年頃の宗教の混乱を整理して記憶を残さねばならない。

① 日本は仏教国なので

「花まつり」を盛大にやる。

クリスマスがあれだけ盛大になつてゐる。

・子供達に仏様の教えをわかりやすく教える

場所を作る - 各お寺で劇をする。

その時に甘茶、ハザン、ゲームをする。

・各お寺のカードを作り、子供達が各地のお手を

回ってカードを集める。

② お寺回りスタンプラリーの台帳を作る。

各宗派別でも都道府県別でも良い。

[東京] 日蓮宗 本門寺 (行方)	
お寺の歴史・特徴など ○○○○○○○○	
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
	日付
[東京] 日蓮宗 ○○寺 (行方)	
	日付

① 113113なお寺を見れる

② 外出するので健康に良い

③ お金を使うのでお金の回りが

良くなる。

MIDORI

Café de SEPPOU		73 才	男性
NO.40	P1	僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

概要 : 一般の人たちにとって、お寺は縁遠い存在であり、宗教に対しても拒絶的な考えを持っている人が結構多い。それらの人をお寺に呼び寄せようとしても、それは難しい。お寺から出て、街で辻説法をすることを提案する。街には数多くの喫茶店がある。そこで仏教の教えを説く。仏教の根本思想は、自然科学にどっぷり浸かった現代人にも抵抗なく、スンナリと受け入れられる教えである。否定的だった人も、興味を示してくれるに違いない。しかも仏教は今の行き詰まっている人類社会にとって、未来を切り開くには欠かせない思想である。仏教に携わっている者は、今こそ一致団結して立ち上がり、法を説くべきである。

本文 : 私は京都や奈良のお寺にはよく行くが、普段は滅多にお寺に行かない。お寺といえばお墓参り、坊さんといえば訳も分らないお経を読んでいる人ぐらいにしか思っていなかった。また宗教といえば怪しげなことを言って高い壺を買わされるのではと、近づかないようにしていた。ところが数年前、ある行事に参加した時、坊さんから説法を聞く機会があった。お釈迦様の根本の教えである「四法印」「四聖諦」「因縁生起」「八正道」を丁寧に教えていただいた。目からウロコの感銘を受け、仏教に対しスッカリ考えが変わった。その後、龍樹の「空」や世親の「唯識」などを勉強した。宗教というより哲学を感じた。その後、各宗派の教理を学んだところ、どの宗派の教えにも人を救う力を感じた。それらすべての仏教の統合思想こそが、人類の未来に不可欠な思想であると確信した。しかし今の日本の仏教には統合した思想がない。念仏だ、お題目だ、座禅だと、宗派に分かれ反目しあっている。お互いに良さを認め、共通する仏教思想を求めるべきである。お釈迦様の思想を太い幹として、各宗派が枝葉となってまとまれば、大きな力になるに違いない。提案の「Café de SEPPOU」は、街の喫茶店で多くの人対し、釈迦の根本思想から、各宗派の教えまでを丁寧に説くのである。喫茶店は昔から文化を広める役目を担ってきた。お寺が中心となって喫茶店やメディアと組み、各地で辻説法を行えば大きな力となり、人類の未来が開かれるに違いない。

お寺で季節を飾ろう・		53才	女性
NO.44	P1	セレモニー／一般年中行事／仏教年中行事	
			⇒ジャンルへ

<お寺で季節を飾ろう・食べよう会>

東日本大震災で私たちは実に多くのものを失いました。それは実際に被害が少なかった所や、今回の震災では直接被害を受けなかった地域でも、様々な形でその影響があったと思います。そんな中で、「日本人として忘れかけていた幾つかの大切な事」に気付かされました。まずは家族との絆、そして地域との繋がり、美しい自然、それから大切な思い出・・・震災からやがて1年が過ぎようとしています。改めて考えさせられる事として、受け継がれていくこと、もの、の大切さ。

日本の伝統文化の一翼を担ってきた東北のお寺・・・そのお寺に震災の被災者たちが多く身を寄せて命を繋いだと云う事実。

震災によって、葬式以外敷居が高かったお寺と、地元の人々との距離が近くなったと思われます。

「お寺の活性化」とは、「お寺に人が沢山集まる事」・・・それには今が一番のチャンスの時ではないでしょうか。昔の日本がそうであったように、お寺にみんなが集まって、地域の人々との絆を深める・・・地域の子供たちからお年寄りまで一緒になって交流できるお寺と言う場所。ディサービスのお年寄りたちの面倒を、子供たちも一緒になってお手伝いしながら、四季折々の行事に触れる。今の子供たちにとって、近所の人達との交流は新しい発見であり、子供たちの将来にきっと大きな宝物になる事と思います。

理想的には毎月1回位、お寺で「楽しいイベント」を実施する

- 1月・・・百人一首、いろはかるた、羽根つき大会
- 2月・・・節分（地元の人達と子供たちが一緒に豆撒き）
- 3月・・・お彼岸（みんなで作って食べるおはぎの会）
- 4月・・・花祭り
- 5月・・・端午の節句（みんなで作る柏餅）
- 6月・・・皆で漬ける梅干し（梅干しを漬ける講座）
- 7月・・・七夕（お寺で星を見る会：講師を呼ぶ）
- 8月・・・お盆
- 9月・・・敬老の日（地域のお年寄りや子供たちを招待し、ゲーム等で楽しく遊ぶ）
- 10月・・・菊まつり
- 11月・・・七五三
- 12月・・・餅つき（大人と子供が皆で餅つき）

地域の大人や子供たちが大勢集まって絆を深めるイベントとして、一番集まりやすく、楽しいのは12月の「餅つき」だと考えます。先ず「餅つき」から始めると成功するのではないのでしょうか。「餅つき」は、一年の締めくくりの仕事であり、同時に「お餅」は新しい年の最初を飾るものでもあり、食べるものでもあります。

お餅は四角に切ってあって、ビニールの袋に入っていて、一年中食べられるものだと思っている子どもたちも、多いと思います。是非、杵つきの餅つき体験をしながら交流を深める場所となるといいと思います。食を通して生きとし生けるものの循環と、文化・伝統にいたるすべてが学べる場所、となると思います。

結婚式 朝市 畑 学童クラブ 手習い 留学生 他	53 才	女性
NO.45	P1	同じ趣味の会／真剣な話し合い／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会
		⇒ジャンルへ

お寺で結婚式

お寺で婚活 の時代、その延長で結婚式をお寺で挙げてはいかがでしょうか
家族や親戚、友だちはもとより、ご先祖様にも見守られながら厳かに。

披露宴も場所を移動することなくできます。

地域の皆様にも協力していただき、食事や花の用意など様々工夫が出来ると
思います。結婚式場などがなかった時代の古いようで、新しい形の結婚式に
なるのではないのでしょうか。

地域の商店街の物を活用して、地域の子どもたちも参加してお祝いができる
温かみのある結婚式になると思います。

朝市をお寺で

地域で採れた野菜や花を売る

(地元の農家で採れた野菜や花を、お寺の敷地を借りて売る)

お寺で畑

子どもたちが育てられる野菜や花を植える

(種を植える⇒水やり⇒草取り⇒収穫⇒調理⇒皆で感謝していただく⇒
後片付け)

(花は、きれいに咲いたら家でいけたり、沢山咲いたら子どもたちが
5 円、10 円位で売る。そのお金でまた新たな種を購入)

学童クラブ in お寺

共働きが増えている昨今、学童クラブも様々あっていいのではないのでしょうか
通常の学童クラブは、午後 5 時か 6 時までが殆どですが、家に帰っても 1 人の
時間が長い子どももいます。地域で子育てをする、という発想からそのような
場所があってもいいのではないのでしょうか。

また、例えば中学生や高校生が、小学校低学年の子ども達の勉強をみてあげる
月に 1 回皆で夕食を作って食べる、など

お寺で手習いの会

昼間の時間で、絵手紙を作る 手芸をする 読書会をする コーラスの会
フラダンスの会など、地域に必ず何か得意な人がいるはずです。そんな人に教えて
もらって 作品が出来て、成果を披露する展示会や、発表会など出来たら
いいですね。

結婚式 朝市 畑 学童クラブ 手習い 留学生 他	53 才	女性
NO.45	P2	同じ趣味の会／真剣な話し合い／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会
		⇒ジャンルへ

留学生の受け入れ

高校や大学では、交換留学生制度がありますが、そういった学生たちの受け入れの場として、お寺はいかがでしょう。日本での生活や行事にふれたり、地域の人たちとの交流の場としてもいいのではないのでしょうか。宗教に特にこだわらず、お寺なら部屋数があり、いろいろな人たちが集まり易いなどの理由で。
また、反対に英語などを、教えてもらうことも出来ます。

ラジオ体操

今、ラジオ体操が健康にいいと見直されてきています。
お寺の境内で、地域の人たちが集まって習慣化してみてはいかがでしょう。

映画鑑賞会

家でDVDを借りて見るのもいいですが、たまには、沢山の人たちで鑑賞会、感想会もできますね。毎回次に上映したいもののリクエストをきく。

紙芝居の会

子どもたちが絵を描いて、紙芝居をつくりましょう。

図書館

本ばなれ（活字ばなれ）が叫ばれている昨今、お寺の一室を図書館のようにしていつでも誰でも利用できるといいですね。たまには朗読会や、読み聞かせの会もやり、本は地域の方々からの寄付など。子どもが大きくなって読まなくなった絵本や文庫本など、一時的に貸し出すこともできます。

フリーマーケット

リサイクルできるものや、子供たちが作った小物など持ち寄って
収益の一部は、お寺の活性化に役立てる。

カラオケ会

被災地の人たちが、トラックのカラオケで思う存分歌うというニュースがありました。
歌をうたうというのは、お年寄りから子どもまで共通して楽しめるものです。

特記の事柄では付く不規則な点、地域活動の増加、
地域化の促進。

鬼子母神サロン	仏讃歌音楽会	鎮守の森	防災拠点	他	不明	不明
NO.50	P1	修行／同じ趣味の会／真剣な話し合い／交流会が目的／セレモニー／境内・伽藍の開放／会場提供				⇒ジャンルへ

鬼子母神サロン

テーマ NO.1

鬼子母神様を祈禱の神様でなく母と子の子育ての神として、生れてくる子供と母親のために、高齢者の知恵を借り共に生きられる。幼稚園と養老院が一緒になったような施設として、寺を活かそう。

鬼子母神は子どもが五百人、千人、一万人とも言われているがひとりの来っ子がいなくなった時、夢中になって探したという。多くの子供を生み諸天をも育て、他人の子供をも護ろうと誓願を立てた。母親の頼りになる拠り所に鬼子母神はなりうと思います。

日本が核家族化してから二世代目に入った今、現実として起きているのは、親になりきれない親の子供への虐待であり、子供から親、兄弟に向けられた家族への悲憤な多くの事件だと思います。悪いことをした子供に注意もできない、叱ることも出来ない。家族の崩壊です。家から祖父祖母、祖先を遠ざけ、仏壇や特に仏教的教えを家庭や教育から排除してきた、ツケがいま、きているのではないかと今こそしなくてはいけないことは何か。立正安国活動とは子育て活動そのものでもあるのではないかと。注進縁を受持するものや、行者をも守護する。鬼子母神のいるお寺の場に、子育てに疲れてしまった母親をフォロー出来るようなお寺の環境をつくるべきなのではないでしょうか。



親への対応

- 1: お寺が子育てや悩みの相談所となれるよう専門家と協力していく。
- 2: 寺は乳児のための母親教育の場を提供しよう。
- 3: 孤立してしまっている母親を救済する場（しゃべり場的）
- 4: 子育てに行き詰まった親が癒やされる場を作ったり支援する。
- 5: 子育てが不安な母親・父親が集える場をお寺が用意しよう。

子への対応

胎教にお経を聞かせる。乳児にお経を聞かせよう。出来れば読経の合唱を聞かせたい。自然と、お寺という生活から離れた空間で、木鉦やおりんなどの鳴り物を使わず、ゆっくりとした

お経、社楽の真読や訓読を母親と胎児に聞かせる。臨産行も妊婦向けにゆったりと、腹式呼吸を行う。五才までにお寺に、宗教に慣れる環境づくりをするとよいのではないかと。子どもが安心して成長できるように見守ることの一部を寺でも出来る気がする。

世代間交流

- 1: お年寄りと生活するようにしたら世代間の格差があっても少しずつなれ、互いに安心できるような社会ができるのではないかと。
- 2: 高齢者の知恵を借りて子育ての工夫を若い人達に伝えたい。
- 3: 世代間連鎖をなくさないためにお寺が場を提供する。
- 4: 親子連れ、妊婦、老人の各世代が一緒に寺に集まれたらと思う。
- 5: 少子・高齢化社会に対応した寺院体制を整えよう。

寺の役割

- 1: お寺を地域のお寺として開放し居るの場として提供、子ども達の遊び場として、お寺を開放する。
- 2: 寺での活動に乳幼児が来ることを認めている現実があるので、乳幼児の受け入れ体制をしっかり作る。
- 3: 寺のイメージアップをするには子育て支援などの子供に関わることはとてもよいと思う。
- 4: 宗門では青少年教化という枠にとどまっているので、乳幼児教育が大切だという意識をもつ。
- 5: お寺さんには相談しやすいという雰囲気欲しい。

子供も母親もお年よりも共に健全に、子供は身体共に健全に、母親は優しく子供を育て、お年寄りも子供の笑顔に癒されイキイキと共に育っていく、子育て中の親が気軽に集まることが出来る場としてのお寺、人間という生き物が健全に育つための情報を地域社会に発信していくのがお寺の役割ではないか？その為には、保育園や幼稚園とお寺の連携も大切なのではないでしょうか。このような新しい関係に、異次元、寺という空間を子育てにもっと活用すべきである。鬼子母神サロン是非作っていただきたい。

鬼子母神サロン	仏讃歌音楽会	鎮守の森 防災拠点 他	不明	不明
NO.50	P2	修行／同じ趣味の会／真剣な話し合い／交流会が目的／セレモニー／境内・伽藍の開放／会場提供		
				⇒ジャンルへ

歌声 仏 讃 歌 音楽会

テーマ NO.2

そうだお寺に行ってみよう！！

今は寺に対するイメージが悪いので信仰の場よりも集会所としてのイメージを育てていくことが大切であり、宗教行事と直結しなくても、人が集まれる場所さえあれば、人同士のつながりは自然と生まれる。そのような、人が自然と集まってこれるような寺作りをしていくべきではないか。誰でも気軽に参加できるイベント、集いがあれば地域性の絆が生まれてくるのではないのでしょうか、それには、子供たちが大声で歌えるような、もっと明るい仏讃歌や、昔の歌声喫茶で老若男女が歌っていた、トロイカや山男の歌のような、皆で声を揃えて楽しく歌える歌を新たに作るか、フォーク調、ロック、ハワイアン風等、いろいろとアレンジした仏讃歌があってもいいのでは？



地域の人々が気軽に来られるお寺作り

そうだお寺に行ってみようと思えるお寺、身近に感じられるお寺づくりをする。
お寺を人が集まる場に提供し、人との交流を持つようにする。寺が地域のつながりのきっかけを作っていくべきではないか。

地域の活性化

コミュニティーセンターなど、箱モノ行政は地域を活性化させたのか？ サークル活動など活発であるが、地域の一体感・連帯感に欠けていると思います。

寺は地域で支え合う、ネットワークの中継基地の役割を担っており、地域の求心力となるのもお寺の役割ではないでしょうか。その地域の持っている特性、特色を積極的に見出して活用することで地域の人々がイキイキする。地域とお寺と個人は、運命共同体。共栄の道を共に探る姿勢が大事な事だと思います。

自分の得意としている分野の事をそれぞれに持ち合えばすばらしい地域のグループが出来ると思います。人材の開発とそれを生かすノウハウと地域の魅力（歴史、自然文化など）を引き出すのもお寺の役割ではないか。

お寺はもっとオープンに

お寺は地域の人にもっとオープンにしなければ人は集まらない。何気なく寺を訪れる地元の人を大事にしよう。

お寺が年中行事などをキチンとしっかりやることで地域の人々がつながるセンターになる。

もっと地域にお寺を開放するべき

お寺から地域活動に参加

お寺で待つだけでなく、自らが積極的に地域活動に参加すべきではないか。地域と関わることで、自分の一人よがりの行動も抑制されるのではないだろうか。お寺は地域活動の拠点になるよう応えていこう。

都会のお寺さんと、農村、山間地また、観光地化したお寺さんとは、いろいろな条件などの違いがあるかと思いますが、歌は場所を選ばないと思います。皆がひとつになれる手立てとしては、皆が参加でき少しでも仏縁が出来れば、お寺の空間を使う価値は有ると思います。

鬼子母神サロン	仏讃歌音楽会	鎮守の森	防災拠点	他	不明	不明
NO.50	P3	修行／同じ趣味の会／真剣な話し合い／交流会が目的／セレモニー／境内・伽藍の開放／会場提供				
						⇒ジャンルへ

小さな子ども達の遊び場として、
お寺の敷地を昔の鎮守の森のように
自由にお寺に来られるように解放してもらいたい。

テーマ NO.03

特に小さな子どものために健全育成に寺環境活用を

異次元、寺という空間を子育てにもっと活用すべきであり、乳児の時から緑ゆたかな風景の中へ連れ出し、五才までにお寺に、宗教に慣れる環境づくりをするといよいのではないかと子どもに伝統的な遊びを教え、バーチャルな世界だけではなく実体験をさせたい、地域の子ども達に“あいさつ”から始まるコミュニケーションづくりをしていきたい。子どもの健全育成のためにお寺はその持っている空間を積極的に活用するべきではないでしょうか。

公共施設としてのお寺のあり方を考え、お寺に来たら、行儀の良い子供に育つよといったようなイメージ作りをしないとイケないのでは？その為には、子ども達が安全で安心して遊べる境内を、子どもが外で思い切って体を使って遊ぶ状況をいろいろ工夫して作るべきである。お寺の敷地を昔の鎮守の森のように自由にお寺に来られるように解放してもらいたい。

朝、ラジオ体操、ヨガなどを寺社の境内で行うのも、良いのでは？



問題点

子どもの遊んでよい場がお寺になるにはさまざまな問題があるのでは、寺での活動に乳幼児が来ることを懸たがっている現実があるので、乳幼児の受け入れ体制をしっかりと作る。寺の行事に「子連れ参拝」を進める。

寺の体制

公共施設としてのお寺のあり方を考え、身近に感じられるお寺づくりをする。

少子・高齢化社会に対応した寺院体勢を整えよう。

人が自然と集まってこれるような寺作りをしていくべきではないか。

今はほとんど外で遊んでいる子供を見ない。お寺が遊ぶ場所になっていくべきではないのか。子供の遊び場として、お寺は地域のキーステーションであるべきであり子どもの健全育成のためにお寺はその持っている空間を積極的に活用するべき。

子どもが安心して成長できるように見守ることの一部を寺でも出来る気がする。

大人への成長は一人で出来るものではない。その手助けを僧侶として何が出来るか考えたい。

鬼子母神サロン 仏讃歌音楽会 鎮守の森 防災拠点 他		不明	不明
NO.50	P4	修行／同じ趣味の会／真剣な話し合い／交流会が目的／セレモニー／境内・伽藍の開放／会場提供	
			⇒ジャンルへ

お寺を防災の拠点にする。避難所としての機能を備える。

テーマ NO.04

防災

東日本大震災で寺が避難所として多くの人を収容し、朝勤を通して教化の実をあげたと聞きます。食糧備蓄とか難しい事もあるだろうが、防災機能もはたすことは必要だと思う。日蓮聖人は地域との関わりをどう捉えていたのだろうか。生き生きと暮らすには地域の安全が不可欠である。セコムの防犯設備より、地域のつながりが、防災・防犯への力となる。防災センターの役目を再確認したい。

地域と関わらない僧侶が多すぎると思う。僧侶は僧侶として生きる以前に、まず人として生きて欲しい。お寺は地域活動の拠点になるがそれに応えているか疑問である。お寺にAEDを設置したり、防災を切り口に向こう三軒両隣の互助的ネットワークの構築を坊さんが地域の一員として法衣を脱いで活動に参加することが大切です。自分の得意としている分野の事をそれぞれに持ち合えばすばらしい地域のグループが出来ると思います。人材の開発とそれを生かすノウハウを得て地域とお寺と個人の運命共同体。共栄の道を共に探す姿勢が大事。住民の意識は高く、防災活動、環境美化運動にも参加してくれると思います。

防犯

子どもの非行を防ぐためには、地域の大人が団結することが大事ではないか。地域のつながりを考える上で、女性の力は大きいと思います。女性の力を借りるべき

地域に関わる人がその地域を好きになることこそつながっていく第一歩だと思う。
地域の事を知ることが大切。小さな縁を大事にして、いくことがイザという時の信用になる。

地域を自分の一部と考えて、大切にすることを必要とするのではないかと地域住民が防犯パトロールを行って地域の安全を図る。

お寺で待つだけでなく、自らが積極的に地域活動に参加すべきではないか。自分が地域の為に、今できることから関わっていかう。

責任感を親に持ってもらえるような呼びかけを寺はしていこう。

地域の子どもは大人の声かけによって変わってくる。寺の住職だから言えることがあるのではないかと

地域や国の大切さを説いた宗教者は日蓮聖人だけではないか。日蓮聖人に学ぶべきである。

鬼子母神サロン 仏讃歌音楽会 鎮守の森 防災拠点 他		不明	不明
NO.50	P5	修行／同じ趣味の会／真剣な話し合い／交流会が目的／セレモニー／境内・伽藍の開放／会場提供	
			⇒ジャンルへ

テーマ NO.05

孤立してしまっている母親を救済する場（しゃべり場的）をお寺に！！井戸端会議の力は大きいし地域をつなぐを考える上で、女性の力は大きいと思います。そんな地域コミュニティ的役割をお寺が担ってもらいたい。お寺を地域のお寺として開放し癒しの場として提供する。そうだお寺に行ってみようと思えるお寺がほしい。

しゃべり場現代井戸端会議場

地域を支える寄り合い場所となるように、まず、身近に感じられるお寺づくりをする。人が自然と集まって来られるような寺作りをしていくべきではないか。癒しのしゃべり場をお寺は地域の人々の集まれる広場であることが望ましい。

よき人とのつながりこそ人生の財産なのでは？

お寺へのぞむ声 1

地域の人々が気軽に来られるお寺作りをする。お寺を人が集まる場に提供し、人との交流を持つようにすることです。お寺はもっとオープンにしなければ人は集まらないと思います。お寺の敷地を昔の鎮守の森のように自由にお寺に来られるように解放してもらいたい。

檀信徒だけではなく地域から必要とされるような寺づくりをしていく、宗教行事と直結しなくても、人が集まれる場所さえあれば、人同士のつながりは自然と生まれるはず。今は寺に対するイメージが悪いので信仰の場よりも集会所としてのイメージを育てていくことが大切なのは。境内の庭、街路に花を植えて地域の人々の気持ちを和ませたり僧侶を囲んでお茶を飲む集会所のようなお店のような寺、お堂がほしい、寺を生きづらさを感じる人々の安心できる居場所に出来たら良いと思います。

お寺へのぞむ声 2

お寺は人々の悩みを受けとめる場であり相談しやすいという雰囲気欲しいし、一人で寂しく生きているような人が、気軽に集えるような寺づくりをすべきではないか。世の中にはいろいろな人がいます。異常と正常の差別を超えた癒しの場に寺がなってほしい。困った時の寺頼みにひとはだめぐ準備をお願いしたい。

地域の中のお寺の存在とは

地域に対して今まで育んでくれた事に対しての法音を寺としては考えなくてはならないと思います。

寺が寺としての活動を続けることで、寺を軸としたネットワークができるのではないかと、何気なく寺を訪れる地元の人を大事にし寺が地域のつながりのきっかけを作っていくべきではないでしょうか。

寺は町の産業とのつながりも考えるべきであり、地域とお寺と個人は、運命共同体。共栄の道を共に探す姿勢が大事ではないか。寺は地域を俯瞰して、その役割、立場を見極めて活動するべきで、お寺が地域の軸のような存在になっていければよいと思う。

お寺を人が集まる場に

僧侶に、お寺に求めるもの、これから求められるものはいっぱいあると思います。

普知識の縁結を

同じ目的を持った人の集う場を提供する。

- 子育て中の母親
- 婚活の男女
- 仏女・歴女
- 話し相手のいない老人（老若男女でも）悩み・愚痴を話す相手のいない人
- ストレスのたまっている人には唱題行
- 運動の相手がほしい人にはラジオ体操・ヨガなど
- 健康的に痩せたいと思っている人同志（運動・食事）

鬼子母神サロン	仏讃歌音楽会	鎮守の森	防災拠点	他	不明	不明
NO.50	P6	修行／同じ趣味の会／真剣な話し合い／交流会が目的／セレモニー／境内・伽藍の開放／会場提供				⇒ジャンルへ

新 還 暦 式 & 記 念 式

テーマ NO.06

還暦は人生の中で特別な日だと思います。昔の60歳と違い現在の60歳はこれからが本当の活躍が出来る年ではないでしょうか
赤いちゃんちゃんこを着せられて隠居をする年では有りません。
家族、仕事も有る程度見通しも付き、今までを振り返り、これからの事を考える大事な年だと思います。

人生の区切りとこれからの新しい出発式をお寺で仏縁のお手伝いを！！新たな門出の還暦式をお寺で

そのほかにも仏縁を結ぶ機会が有ると思います。

- 誕生日
- 新しい形の七五三
- キリスト教の洗礼のような受戒のような
- 元服 新しい意味の
- 本当の意味の成人式（大人式）お仕合せの形ばかりの成人式はいらない。成人は年ではなく個人個人それぞれ違うはず！
- 木婚式～銀、金、ダイヤモンド婚式
- 喜寿、米寿、白寿等
- 仏前結婚式 今、一般の人が仏前で結婚式おほとんど有りません。生きる仏教としては不満
- 勿論、葬儀 公人の葬儀としては派手な今までの葬儀は必要だが、家族葬、直葬が増えてきた現在考えて行かないと
家族にとっても新たな生活の始まり
- そのほか、個人の思い出の日、記念日、が有ると思います。
（忘れたい厭な思い出（悪縁）との決別や絶縁などの負からの縁切り門出も有りかも）

人生、生活の区切り、門出、新たな出発にパワースポットとしてのお寺で生まれ変わった気持ちになるのは、これ以上の場所はありません。いろいろな個人の記念日と比べても還暦は特別なものが有ると思います。仏縁と触れたいと思い始めるのも、この頃にピークが来ている人が多いと思います。受戒、得度と堅いものでなく、もう少し一般的な袖触れ合うくらいにお寺を身近に感じ、結縁が出来れば？

鬼子母神サロン	仏讃歌音楽会	鎮守の森	防災拠点	他	不明	不明
NO.50	P7	修行／同じ趣味の会／真剣な話し合い／交流会が目的／セレモニー／境内・伽藍の開放／会場提供				⇒ジャンルへ

禁煙支援道場

テーマ NO.07

今、禁煙したいが、なかなかやめられないと言う人が大勢います。
そんな人の為に

自然やお寺の独特の空間を活かし、テレビ、ラジオ、新聞、携帯電話など外部との情報を遮断して、お寺の日々の生活を体験し、身体を動かして、風呂、炊事、洗濯、掃除、読書の体験を通して（日常？非日常？）、身体からニコチンを除くお手伝いをする。



仏教の持つ目線は素晴らしい、住職から注意されてもいやさなく聞けるのではないかな？
タバコは自分だけでなく周囲により以上の迷惑をかけます。そんな人の為に、
仏教の六波羅蜜、八正道 を持ち出すまでもなく、
寺の住職だから言える「云い方」があるのではないかな？
個人としての人間は欲望のコントロールにより、ストレスをためることも、また限りなく優しくもなれます。



お寺の非日常的な空間を利用して、理想ナシの価値観を教えるのも効果的だろう。

生き方も選べるし、死にも選べる時代。その人の死生観、人生観が大切なのであり、
自分を見つめることは、他人を思いやる事にも繋がって行くのでは？

生き方を自由に選択できる時代になったが、選択した責任をとることを忘れているのではないかな。
個人がどのような生き方をしようが、そこにかかる責任を自覚し果たしていく必要がある。

鬼子母神サロン	仏讃歌音楽会	鎮守の森	防災拠点	他	不明	不明
NO.50	P8	修行／同じ趣味の会／真剣な話し合い／交流会が目的／セレモニー／境内・伽藍の開放／会場提供				⇒ジャンルへ

親子道場

テーマ NO.08

親と子の寺小屋

子育ては子どもを尊重し、お互いの信頼関係を作ることが大切である。

子供対象の寺子屋は今各地で行われるようになりましたが、親と子の関係が薄くなり、子は親を尊敬し、親は子供の成長を促しく見守りそっと手助けをしてやる。そんな、親と子のいい関係ときずなを育むお手伝いをお寺の空間で出来ないだろうか？

寺を親と子の寺小屋として社会に開放する。

人間という生き物が健全に育つための情報を地域社会に発信していくのがお寺の役割。

寺はあらゆる機会に子育ての大切さを説く。

お寺を子育ての研修の場として提供する。

お寺が家族の繋がりや再構築をする場を提供していくべきではないか。

お釈迦様は我々の親、つまり法華信仰が家族のきずなになる。

毎朝の唱題、読経、先祖供養を通して、背中で家族の心のバックボーンを示すのがいいと思う。

お寺が家族の繋がりや再構築をする場を提供していくべきではないか。

早起き促進のために、お寺で早い時間からの行事を始める。

寺のイメージアップをするには子育て支援などの子供に関わることはとてもよいと思う。

寺で母親（父親）学級をひらくとよいのではないかな。子育てが不安な母親・父親が集える場をお寺が用意しよう。

親が伝えられなかった道徳的なことや常識といったことを代わりに伝えられる僧侶となるべきではないか。

僧侶が子育てに関する知識を学び、父親母親に伝えていくべきではないか。

お寺が子育てや悩みの相談所となれるよう専門家と協力していく。

障害児が安心して成長できる環境を寺と地域がつくっていかう。

お寺の環境は、早起きの生活習慣をつけるには提供できるものがあるのでは？

朝、ラジオ体操、ヨガなどを寺社の境内で行う。

子供に

五才までにお寺に、宗教に慣れる環境づくりをするといよいのではないかな。

物心ついた時から、お墓参りなど手を合わせる事を推奨する。

「トイレの神様」に出てくるような教え方は効果的なのではないか。

しつけには「超人的」存在を示すことも必要ではないか。

お寺の非日常的な空間を利用して、理想ナシの価値観を教えるのも効果的だろう。

子ども達を大勢の中で育てる工夫（地域の中で）がなされてほしい。地域の子どもは大人の声かけによって変わってくる。

隣近所の人とあいさつができる環境を作れたら、社会での子育てもできるのでは？

乳児の時から緑豊かな風景の中へ連れ出す。

親に

「家族」は変化するもの。その変化に対応するため普遍的な柱として仏教が必要。

家族にとって信仰は柱や支えとなり得る可能性もあるのではあるまいか。

世代間で伝える文化（食事・生活習慣など）が失われることが問題だ。

夫婦も家族も食事から始まる。食育が大切なのではないだろうか。一緒に食事をするのが基本なのでは。

父、母の子どもへの愛着を育てる方法を仏教は導くべきである。

家族は母と子の絆が基礎である。母の愛情が豊かで子どもの心にしっかりと伝わるように宗教活動を広めよう。

子育ては結果ではなくてプロセスが大事

命の尊さを両親に説く。

お墓参り、仏壇での礼拝は家族のつながりを確認できる行為。



鬼子母神サロン	仏讃歌音楽会	鎮守の森	防災拠点	他	不明	不明
NO.50	P9	修行／同じ趣味の会／真剣な話し合い／交流会が目的／セレモニー／境内・伽藍の開放／会場提供				⇒ジャンルへ

経営者、社員精神道場

テーマ NO.9

自然やお寺の独特の空間を活かし、テレビ、ラジオ、新聞、携帯電話など外部との情報を遮断して、お寺の日々の生活を体験し身体を動かして、風呂、炊事、洗濯、掃除、瞑行の体験を通して、企業人の精神向上のお手伝いをする。

- 1: お寺の非日常的な空間を利用して、理屈ナシの価値観を教える
 仏教の持つ目線は素晴らしい真の教えは時代に関係ない
 唱題行、聞法の機会を与え、じっくりと考える時間を与えるには最も良い場所ではないか
- 2: 大人への成長は一人で出来るものではない。僧侶としてその手助けを
- 3: 説法こそ大事な伝達方法ではないだろうか。
 僧侶の注意は聞けるのではないか、寺の住職だから言えることがあるのではないか
- 4: しつけには「超人的」存在を示すことも必要ではないか。
 飛び抜けたリーダーのいなくなった現在、お釈迦様の存在を感じる時

自分を見つめ、他の人の為に何が出来るか？
 仏教を学び、宮沢賢治の生き方を学び、それを
 仕事に生かしていくお手伝いを！！それが活かされれば、仕事も修行のひとつとなるはず



鬼子母神サロン	仏讃歌音楽会	鎮守の森	防災拠点	他	不明	不明
NO.50	P10	修行／同じ趣味の会／真剣な話し合い／交流会が目的／セレモニー／境内・伽藍の開放／会場提供				⇒ジャンルへ

小さな葬儀

テーマ NO.10

葬送は痛み悲しむ心。その心のない式は無用である。常に変化していく社会に目を向け、それに柔軟に対応していく必要があるのではないかと。寺・墓・葬儀の三難しのピンチは、仏教・寺院回復のチャンスととらえよう。

お寺で身近な人だけの小さな葬儀を

家族葬や直葬が増えている現在、それに答える必要も有るのではないかと？
合祀墓、樹木葬その他、葬儀、埋葬の仕方いろいろな要望も増えています。
遺品管理人という、故人の遺品整理の資格も出来るという。
流れ作業のセレモニーセンターではなく、少人数で本当の別れ残された遺族の区切りを考える場としては、お寺が一番良いのではないかと？故人、遺族、親しい人の新たな出発の為のお手伝いという形で

葬儀は故人が生前おつきあいのあった人々との長のお別れの場。家族親族でヒソソリとやってしまうのは故人の人生を否定することになるのではないかと？日本人にとって葬儀はとても大切なのちの節目。そのことをよく承知して、ブリーフケアとかけがえのないのちの教育をする場と期待されている。介護につかれて殺人まで起こっていることを忘れないで下さい。

葬儀・法要の技術主義的指導は排すべし。遺族との心の共感を求むべし。
葬儀社さんのされている様々な手配や、打ち合わせ、を“送る”指揮者として僧侶がプロデュースをする。
多額の布施を請求するトンデモナイ坊さんによって、貶められた僧侶への信頼をいかに回復するか
実際に直葬などを行って後悔したりしていないのだろうか。
葬送の形式は社会のニーズに柔軟に対応してもよいのではあるまいか。
現代社会の様々な葬儀方法に対応して、僧侶オリジナルの葬儀方法を作る（今までになかった方法で）
お金がなくて葬儀ができない低所得者に、我々は手を差し伸べることができるか
葬儀は教師の教化活動の流れの中の1つである。
故人のことを知らないケースもめずらしくはないので、「引継文」を遺族と一緒に作る、読む」ということで、僧侶側も共感できるようにする。

社会は僧侶にまだ期待をしている。それに応える対応が大事。
菩提寺のない人々が、いかに僧侶に出会い、よい葬儀をできるかが問題である。
映画『おくり人』や小説『弔む人』が注目を集める様子から一般社会のほうがまともな礎を渴望しているのではなかろうか。
寺・僧の一般社会からみた現状は、その『公益性』に疑問符がついた状態であろう。寺僧はそのことを自覚すべきではなかろうか。
お寺は今を生きる人が生きる希望・勇気・力を得る場、僧侶はその手助けをする人。この思いに基づく日常活動こそ必要である。
心のケアのできる窓口として、寺の門を開いているか？
ライフスタイルの多様化にどの様にしたら対応していけるのだろうか。
生まれてから亡くなるまで、命に寄り添うのが僧の役目であろう。それにもっと心を砕くべきではあるまいか。
葬儀のやり方は学ぶが、より良い、又ニーズに合う葬儀が出来る様、僧侶の質を高めてはならない。
生まれた時、亡くなられた時の仏の導きを考える。
法式研修だけでなく、鑑しと導きを習う「葬儀研修」を行うべきだ。
僧侶は、死者儀礼に対して、根本的なことから見直していくことが必要である。
自分でも満足している、うれしかった葬儀の成功例を体験談として語り合うのも有意義なのでは？
「人間は社会的動物である」から、その「死」や「葬儀」にも社会的意味があることを、誰もが再確認しなくては行けない。
故人を偲び、悲嘆を癒す大きな機能を有するのが葬儀。僧侶はそのことをしっかりと認識して葬儀の通夜に臨むのが好ましい。
寺院側はもっと葬儀の意味について深く理解し、檀信徒に伝える必要があると思う。
どのような金額の布施でも、できうる限りの葬式をお寺側も努力できたいのではないかと？
「必要最低限」でできればいいという心理が喪主側にあるのではないかと？

鬼子母神サロン	仏讃歌音楽会	鎮守の森	防災拠点	他	不明	不明
NO.50	P11	修行／同じ趣味の会／真剣な話し合い／交流会が目的／セレモニー／境内・伽藍の開放／会場提供				⇒ジャンルへ

青い鳥見つけ隊

テーマ NO.11

探し物は何ですか？希望・自分の存在・自分でも人の役に立てる？

周りの自然に唱題が染み込んだ、お寺という異空間こそパワースポットであり、僧侶のいる場所こそ、自分を取り戻し、本当の自分を見つけるには相応しい場所ではないでしょうか？

何もいない、考える場所とじっくりと話しえを聞いてくれる人がいれば、...

答えは、皆、自分の中に持っていると思います。

自分を見つめる。

自分を発見する。

自分の本質を見る。

見失った自分を探す。

自分の原点はなにか

自分は何に向かっているのか

自分の真の目標は何か



昔話の通り、青い鳥は自分にある

鬼子母神サロン	仏讃歌音楽会	鎮守の森	防災拠点	他	不明	不明
NO.50	P12	修行／同じ趣味の会／真剣な話し合い／交流会が目的／セレモニー／境内・伽藍の開放／会場提供				⇒ジャンルへ



自然を食べる

テーマ NO.12

食べることは生きることの基本

食材がどのようにして育ちどのようにして自分の手元に来たのかそのプロセスの詳細を知らしめる
 自然とのふれ合いの中で、様々の物に命のあることを感じさせ、自然の佇まいの中に、身を置いて自然から色々なことを吸収できる機会を与える。食事はしつけ、文化・宗教教育の場として重要です。お寺の空間を提供して、いのちが途方もない歴史をたどってこの私の身に伝わっていることを承知感じられるようにする。

自然の恵み

お寺の周辺、道端、森林、野原、土手など自然の恵み野草、山菜
 農家の畑の捨てられる菜の部分、売り物にならない規格はずれ野菜、根菜
 自然のものを自然の素材の持つ味を、外の風と太陽の下でいのちに感謝していただく。
 3.11の体験はろうそくの灯に家族や友人が集まった不思議な感覚、焚き火の暖かさ

つながり

大震災一週間、ろうそくの光の輪の中で、不便さの中で、助け合って家族を感じた。
 みんなで助け合ったり、分け合ったりする体験で家族のつながりが強まるのでは。
 仏教では「無縁」(縁のないモノはない)を説く。
 心豊かに生きるには、動植物、人間などに関わる必要があるのでは。
 命(自分)を大切にされたという経験は他を(命)を大切にする。

自然から学ぶ

人間が霊的存在であることを認識することから、宗教的清浄教育が始まる。
 目に見えぬ大きな存在があることを常々教えるべきである。



お願いカード		17 才	女性
NO.52	P1	キャラもの	
			⇒ジャンルへ

四季をテーマにした可愛いカードをお寺に置いてみては如何でしょうか。

各種【道場】として活用する		48 才	男性
NO.56	P1	修行／同じ趣味の会／勉強会／仏教年中行事	
			⇒ジャンルへ

小中学校の空き教室を開放している所や 地区センターなどに幾何かのお金を支払って、場所を確保して活動している団体が ほとんどである。

お寺は、一種 独特の緊張感がある。嫌な感じではなく、日本人なら 落ち着く空気がある。

活用～ かるた・餅つき・書道・空手・少林寺拳法・赤飯作り・炊き出し稽古・二十四節季行事の引き継ぎ・ヨガ・方言勉強会 等。

やはり、広い座敷 本堂、庭 かど、をフル活用する。欲張っていろいろな【各種道場】を開催していることを あらゆるPR方法を駆使して、とにかく 常に 何か誰かが お寺を舞台に活動しているようになると素晴らしい。

使用料として お金を取るのは当然OKである。

各種道場の内、特に 食育、餅つき、赤飯、炊き出し、季節行事などを、年一回の風物詩ではなく、何回もやることで、得意 になってもらい、伝統として自信を持って次世代に引き継げるような道場にする。

お寺をめぐる健康エコウォーキング			32 才	女性
NO.57	P1	スタンプラリー		
				⇒ジャンルへ

《アイデア詳細》

先月、千葉県九十九里浜を歩きながらゴミ拾いをするイベントに参加した。

コースが5キロ・7キロ・10キロと別れており、自分に合ったコースを選び気持ちの良い海岸を歩きながらゴミ拾いをするというボランティアイベント。

参加者無料で終了後は無料のドリンクがふるまわれるというものだが、大勢の人が集まり、ゴミ拾いと汗をながし、実際にゴミを拾うことで、環境問題の大切さや意識が高まった。

このようなイベントをお寺にも採用できないものかと思いついてみた。

たとえば、お寺が5～6か所周囲に歩ける距離にあるとする。

スタンプラリーを兼ねてゴミ拾いをしながらウォーキングする。

5～6か所の寺の全部スタンプがたまったら、賞品としてエコバックや飲料を全員プレゼント。さらにWチャンスで地元の野菜や果物を抽選で何名様にプレゼントやそれぞれのお寺のオリジナルポストカードやカレンダーなどのようなものをプレゼントする。

参加費は無料とし、大人から子供まで楽しめて、ゴミ拾いという環境問題への意識付けもでき、またお寺を巡ることで、歴史や文化も

学ぶことができる。

そのイベントの日は骨董市や野菜直売、モツ煮や芋煮などを無料でふるまったり、お寺をより身近なものとしてとらえられるような、人形劇や

紙芝居、演奏会も実施する。

もちろん、企業や自治会などの協力がなければ、費用のやりくりができないと思うが、一つのアイデアとして、健康ブームのウォーキングと

《絆》・《支援》で日本が求めているものを併せてできる催し物だと思われる。

日本全国日蓮宗スタンプラリー		57 才	男性
NO.63	P1	キャラもの	
			⇒ジャンルへ

日本には現在、約77,000ものお寺があるということで、「日本全国日蓮宗スタンプラリー」を計画する。日蓮宗お寺マップを作成し、来場者には記帳用紙に記帳していただき、持参のフリー用紙等にスタンプを押し、お寺から独自のマスコットを渡すパターンを日本全国のお寺で実施する。また、年1回程度お寺回りの上位回数により、景品（特別マスコット）を進呈する。来場者はお寺の良さを知り、マスコットを集めたいという気持ちが高まり、日本全国へ出発し今回の3. 11地域への訪れも増えるかと思います。

＜準備するもの＞

1. スタンプラリー用スタンプの作成（お寺独自のスタンプを準備）
2. マスコットを作成（お寺独自のマスコットを準備：サイズはキーフォルダぐらい）
3. お寺マップを作成
4. 記帳用紙（統一した様式をお寺毎に配備）
5. 目標値の設定（都道府県毎⇒関東や甲信越地方毎⇒日本全国制覇 ※上位回数）

地域の催しに寺の施設を提供		65 才	男性
NO.66	P1	修行／同じ趣味の会／会場提供／仏教年中行事	
			⇒ジャンルへ

地域社会あつてのお寺であることを思い起こし

地域に寺を大きく開いていく。地域社会のよりどころにする。

- ①、地域の催し（町内会の役員会、囲碁、将棋などの趣味の催し）に寺の施設を提供する。
- ②、大震災などの有事には避難場所として開放する。
- ③、そのための備蓄も心がける。
- ④、池上本門寺でやっているような静座の会、朝粥の会とかを催し、お寺を身近にしてから法を説く「法話の会」を実施する。仏教や宗門への理解が深まる。

※ 禪宗寺院で座禅会をすることがまことに少ない。

菩提達磨も嘆いているだろう。

お寺で春夏秋冬		46才	女性
NO.72	P1	体験型イベント／まつり型イベント／一般年中行事	
			⇒ジャンルへ

「お寺で何をしたい？」「どんなこと体験したい？」と、小中高生に聞きました。

- * 探検
- * 肝試し
- * お仕事体験
- * 鬼ごっこ
- * 焼き芋（落ち葉で）等々

それでは、みんなまとめて楽しめるイベントがあったらいいのでは？——そう考えて、以下のような企画を立ててみました。

対象は子供だけではありません。地域に住む老若男女。シニア世代も子育てママも、商店街のみなさんだって、参加して楽しみたい人は誰でも OK! 対象をボーダレスにすることで、今言われている「地域再生」「地域コミュニティ形成」を実現します。

お寺を中心に、地域が大きくつながれば、災害時だって安心です。

企画案：お寺で一年間を楽しむ

お寺で春夏秋冬

～一年を楽しんじゃおうプロジェクト～

春：

春は何かをスタートするのにふさわしい季節。ではお寺のお仕事を体験してみるといのはどうでしょう？お掃除もしっかりやります。

夏：

まずはお寺の和尚さんにじっくり説法をしていただきましょう。畳に正座、子どもたちはできるでしょうか？その後、夕方からはお寺内で肝試し。地域の方々にもご協力願います。お墓に失礼にならないように配慮して行います。

秋：

朝から境内でラジオ体操。大人から子供まで参加できます。ラジオ体操で心もスッキリ！お庭の落ち葉をお掃除します。落ち葉で焼き芋…。それも楽しみの一つですね。

冬：

地域のお寺のウォークラリー。宝物を隠してあったり。スタンプラリーにして、すべてのお寺を巡ったら、お寺にまつわるグッズ等のプレゼントも。

そして、夏頃から合唱隊を募集します。

年末、クラシックの世界では「第九」の合唱が定番ですが、お寺ですから読経がいいのかもしれません。個人的に読経の会に参加したことがありますが、心が磨かれて集中した時間を過ごすことができました。

年末：

みんな「第九に負けるな～お寺で読経、一年の最後をしめくくろう」と題して、お寺内で発表の場を設けます。

これでしっかり一年を楽しむこと間違いなし！このほか写経や、夜の説法、月見の会や節句に合わせた会の開催などを入れてもいいと思います。

ご長寿節目お祝い寺		30 才	女性
NO.73	P1	セレモニー	
			⇒ジャンルへ

1 活用名

ご長寿節目お祝い寺

2 背景

- ・お寺はお葬式、法事など死と死後の葬祭寺として定着してしまっている。
- ・そのイメージを払拭し、全国に七万七千あるお寺を活用するため、ご長寿節目お祝いという慶事のためにもあるお寺として、その併用を図る。

3 内容

- ・全国的にお寺を「ご長寿節目お祝い寺」として活用を図る。
- ・ご長寿節目お祝いとは、「古希式（70歳）」「喜寿式（77歳）」「傘寿式（80歳）」「米寿式（88歳）」「卒寿式（90歳）」「白寿式（99歳）」「百寿式（100歳）」を指すが、「不惑式（40歳）」「還暦式（60歳）」なども加えたい。
- ・上記にかかる式事だけでなくお祝い会場としても活用する。

4 運営

- ・該当者のいる各家、グループ、団体、企業などの要請により実施する。
- ・自治会、町内会など地域単位のものも受け付ける。
- ・受付は寺単位、あるいは寺のまとまり単位に窓口を設けて実施する。
- ・あらかじめお寺が実施するものとして企画し周知しておき、希望者を受け付ける形もあってよい。

5 効果

- ・お葬式、法事専門イメージから脱却が図れる。
- ・ご長寿という人生の慶事にかかわるお寺として、お寺への認識が変わる。
- ・住民に分かりやすく、親しみがもたれるようになる。
- ・お寺のイメージが損なわれることがない。
- ・利用料収入が入る。

人生絆お祝い寺		30 才	女性
NO.87	P1	セレモニー	
			⇒ジャンルへ

1 活用名

人生絆お祝い寺

2 背景

- ・お寺はお葬式、法事など死と死後の葬祭寺として定着してしまっている。
- ・そのイメージを払拭し、全国に七万七千あるお寺を活用するため、人生絆お祝いという慶事のためにもあるお寺として、その併用を図る。

3 内容

- ・全国的にお寺を「人生絆お祝い寺」として活用を図る。
- ・人生絆お祝いは、次の通りとする。選択も可とする。

1 年：紙婚	2 年：木綿婚	3 年：革婚	4 年：器婚
5 年：木婚	6 年：鉄婚	7 年：花婚	8 年：電気器具婚
9 年：陶器婚	10 年：錫婚	11 年：鋼鉄婚	12 年：絹婚
13 年：レース婚	14 年：象牙婚	15 年：銅婚	20 年：磁器婚
25 年：銀婚	30 年：真珠婚	35 年：翡翠婚	40 年：ルビー婚
45 年：サファイア婚	50 年：金婚	55 年：エメラルド婚	60 年：ダイヤモンド婚

- ・上記にかかる式事だけでなくお祝い会場としても活用する。

4 運営

- ・該当者のいる各家、グループ、団体、企業などの要請により実施する。
- ・自治会、町内会など地域単位のものも受け付ける。
- ・受付は寺単位、あるいは寺のまとまり単位に窓口を設けて実施する。
- ・あらかじめお寺が実施するものとして企画し周知しておき、希望者を受け付ける形もあってよい。

5 効果

- ・お葬式、法事専門イメージから脱却が図れる。
- ・人生絆の確認という慶事にかかわるお寺として、お寺への認識が変わる。
- ・住民に分かりやすく、親しみがもたれるようになる。
- ・お寺のイメージが損なわれることがない。
- ・利用料収入が入る。

地域コミュニティ in お寺		70 才	男性
NO.92	P1	境内・伽藍の開放／置場提供／キャラもの	
			⇒ジャンルへ

（ 概 要 ）

私達はそれぞれ自宅の仏壇と菩提寺で先祖を敬い、感謝し、平穏無事を願い供養しているのが日々の生活形態でないかと思われますが、昨今、寺に対する見方が少しずつ変化してきている傾向が察しられます。

地域に於いては、冠婚葬祭等の施設オープン化が周辺に目立ち、寺の利用頻度が今後どう変わっていくか定かではないが、この社会変化へどう対応するかが無縁社会、寺離れをつくらない為に重要ではないかと感じております。

特にこれから世代を担う子ども、若年者に如何に寺への関心を高めさせ、いかに寺に集まりの機会を作り出すかで寺への意識が変わると思います。

子ども達に聞くと寺は こわい、くらい、又、若年者に聞くと寺のことはお年寄りがやる事だと言う。

このようなイメージを先ず払拭するのが必要であり、そのためには信仰宗教を問わず、寺への集まりの場として屋内、屋外施設を寺の行事に弊害のない程度に常に誰でも気軽に利用できる地域寺として広く開放しその活用を広報して地域の活性化に繋げたいものだと感じましたので、タイトル：地域コミュニティ in お寺を提案します。

提案に関して「お寺で、こんなことやったら・やってみたい」の内容を述べさせて戴きます。

① 地域に根ざした祭り行事に関わろう。

全国各地域に先人達が継承した歴史と由緒ある伝統的な、さまざまな年中行事の祭りがある。子どもたち、若年者、高齢者と地域に根ざした祭りがあり、これが地域の活性、元気のエネルギー源となってライフスタイルに溶け込んでいる各地の祭りイベントと感じています。

- ・神社が主体の祭りが大方であります但柔軟解釈で関わる。
- ・祭りの踊り、太鼓の練習する場を提供（境内の空き地などを利用）
- ・祭りの打合せ会合等に寺の屋内、屋外等の施設を提供
- ・主催者との使用前後のルールの徹底

（いずれも寺の許容範囲内で日時を調整）

地域コミュニティ in お寺		70 才	男性
NO.92	P2	境内・伽藍の開放／置場提供／キャラもの	
			⇒ジャンルへ

② 子どもたち向けに、寺にそれぞれのマスコットキャラクターを置き、マスコットに逢いに行こうと言うようなキャッチフレーズ等で、子供達へ寺の関心を得る機会をつくる（スタンプラリーも併用すると効果大）

③ 寺への初詣をもっと呼び掛けましょう。

・人それぞれ信仰の自由があり初詣も自由であります、神社への初詣が風習として殆んど思われますが、先ず年の初めは自分の菩提寺に初詣し先祖を敬い感謝の心を伝い参拝したいものです。

・お守り、初詣商品、温かい物を用意し参拝者に向けて対面型で対応する。

④ 地域の町内会（子ども会、婦人会、青年会、老人会等）へ寺の活用を呼びかけ。

⑤ 各種団体の講演会、講習会、音楽会等々について寺の施設を有効活用して貰う。

⑥ 年に一回程度（例えば、お盆入りの前とか）檀信徒の子供達や若い人を動員しご先祖のお墓周辺の草取りを兼ね境内の環境美化をすることで供養の心が育まれる。

⑦ 境内をレクリエーションの場として、遊び、鍋っこ、小スポーツ、他の活用（ただし、寺に適当な空き地があれば・・・寺との調整必要）

※ お寺の活用アイデアが何か一つでも寺が地域の活性化と元気に繋がればと思っています。

お寺とともに		30 才	女性
NO.95	P1	同じ趣味の会／一般年中行事／仏教年中行事	
			⇒ジャンルへ

【アイデアコンセプト】

☆4 季を感じ、お寺が家族や親子で集まる集会の場に

最近では、核家族化やマンションの増加により、周囲とのコミュニケーション不足が増えている。また、TVゲームや携帯により、体と頭と会話を使うことが減っている。そこで、昔から人が集まる場であったお寺で、笑いと会話、勉強が同時にできる事を考えてみた。

【概要】

春夏秋冬の年に 4 回、イベント（祭り）を開催する

☆春

《百人一首、かるた祭り》

大人は百人一首、子供はかるた遊びを経験できる

☆夏

《夏まつり》

ヨーヨーつり、金魚すくいなどの水がある遊び

夜はミニ花火祭り

七夕祭り（短冊に願い事を書いて笹に飾りをつける）

※親子でコミュニケーションをとりながら、風流な心を忘れないイベントとして

☆秋

《百人一首、かるた祭り》

大人は百人一首、子供はかるた遊びを経験できる

☆冬

《もちつき大会》

大人や子供ももちつきを体験でき、つきたての餅を食べる

※餅は販売してもよい

地域から個人へ	地域から世界へ	「活性化」	38才	女性
NO.103	P1	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／土地を貸す／まつり型イベント／情報発信／紹介所／寺院ネットワーク／地域ネットワーク		
				⇒ジャンルへ

地域社会のためのお寺の活用アイデア

地域から個人へ 地域から世界へ 「活性化」

お寺は地元の長老

町のリクリエーションセンター

町の情報網

町のなんでも屋！

過去と現在と未来、
人と地域と世界を
つなげる役割の場所

はじめに

日蓮宗のホームページを拝見し、立派で分かりやすく、うまくできていると思いました
何も知らない私は、いろいろあるんだなああと勉強になり、また興味も湧きました
しかし、地域の段階に行くと、私達一般の人間は、まったくなにも知りません。
普段の生活では、まず日蓮宗のホームページを見ようとは思わないと思います
お寺の前を通りかかっても、なぜか閉鎖的なイメージで、自分には関係のない場所と
いった感じです。

でも、おもむきは立派で素敵な建造物だなあと、惚れ惚れしながら前を通ります。
ホームページ内のリンクされている地域のお寺のページに行くと、残念ながら、分か
りにくいです。

ほとんどがマップでしたし。まだまだこれからなんだろうな、やはり年配の方が多く、
やりにくいんだろうなと思いました。

2年前に母を亡くした時に、初めてお寺やお坊さんと接して、改めて日本の風習や仏
教の人を思いやった気持ちに触れた気がします。

そこで何も知らない私が思ったことを簡単に箇条書きにしてみました。

この募集のことを知るのが遅れてしまい、あわてての応募になってしまい、申し訳ご
ざいません。

もし、分かりにくい箇所、説明不足の箇所があればお気軽に質問していただいて結構
です。

乱筆乱文をお許してください。

地域から個人へ	地域から世界へ	「活性化」	38才	女性
NO.103	P2	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／土地を貸す／まつり型イベント／情報発信／紹介所／寺院ネットワーク／地域ネットワーク		
				⇒ジャンルへ

お寺の弱み

お寺のことを知られてない

お寺とこんなことやりたいと考えたときに、「お寺って何ができるの?」「お寺ってどういうところ」などまったくお寺について知らない。でもこれって一般的な意見だと思う。全国にあるのに身近に感じたことがない。。
昔からあるもの、お墓のあるところ、ご先祖様や亡くなった人々を供養してくれるところ
宗教的なところ、
どちらかと言えば、あまり行きたいと思うような場所ではない。

お寺のイメージ

実際、イメージが暗い
お金がかかるイメージ
坊さん来てもらったら、結構なお金をあげないといけないイメージ
お坊さんが派手な格好をしてるイメージ
どんな行事があるかいまいち不鮮明
コンビニより数があるのにほとんどいかない、行く機会がない
コンビニみたいにコンビニエンスではない
そこにある意味、理由があんまり分らない
まだ神社のほうが活気があるイメージがある。

お寺と一緒にこんなことをやってみたい!

お経コンテスト

お経書初め

お寺ゲームでお寺の勉強(全国のお寺の神経衰弱とかカードゲーム、百人一首的なゲーム)

町の商店の露天、祭り

バザー

フリーマーケット

座禅大会

修行体験

いろんな対戦や大会

人道のマナー教室

修行で学んできたことを教えて欲しい

盆や供養の時だけでなく、もっと説教して欲しい

いろんな業界の人をイベントとしてお寺に来てもらって、講習やセミナーみたいに関心のある人の説教もお坊さんの説教と一緒に聞いてみたい。

落語家や芸能人をよんでのイベント

お寺のこと知りたい

実はみんなお寺のこと、もっとちゃんと知りたいはず。
今はお寺のことを教えてくれる人が少なくなったから。
逆に今はインターネットや情報社会。メディアやテクノロジーを利用して、お寺だからこそ、時代をこえていってほしい。

なぜ、そこにお寺が建ったのか
どうやって、何年に、誰が、誰のためにつくったのか?

どれぐらいかかってつくったのか?
そこにある人の紹介、像の紹介などをわかりやすく、手軽に知りたい、教えてほしい。
お寺と神社の違いとは何か?
その歴史など。

そのほかに
修行ってどう?
修行でつらかったこと
お坊さんになってよかったこと
などあまり知られてないことなど

お寺の強み、魅力

全国にある
たくさんある
建造物
歴史
仏教、文化
ネットワーク

歴史と繋がっているところ
多くのお寺が昔からそこにある＝
その土地のことを一番知ってる、
一番の地元の人である

無宗教や異教の人でも、きがるに行けるし、行事でいけること

お寺にしかできないこと

和尚の教え、説教(心が洗われる)
供養
ご先祖様との架け橋

など、まだまだあるとは思いますが、あまり知らないのだから

お寺への提案

お寺にやってもらいたいこと

お寺をもう少し昔のようにカジュアルな場所にする

お寺と神社の協力

宗派を超えたつながり

他宗教への理解しているところをアピール

ただの宗教団体ではないことをアピール

お寺を活性化することとは、忙しくなること、それをお寺の人間は十分踏まえてやってほしい。逆にそれを嬉しく思えない怠け者の人はどうかと思う。
人が来ても、忙しがらずに接して欲しい

ゴスペルの教会などは顔見知りの人たちが定期的に通い、歌って踊って祈りをささげているまるで若者がクラブへ行くような感覚に見える(本当はちがうが、やってることは一緒なきがする。。)そんなお寺があってもいいと思う

地域から個人へ	地域から世界へ	「活性化」	38才	女性
NO.103	P3	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／土地を貸す／まつり型イベント／情報発信／紹介所／寺院ネットワーク／地域ネットワーク		
				⇒ジャンルへ

お寺でこんなことをやったら、地域が活性する！ 1

子供

保育園、幼稚園、学童、小学校からの社会見学、実習の場として定期的に行くところ
社会、歴史、文化、宗教の時間
香道、着物、かるた大会、など
遊び感覚で学べる場としての利用

親子の公園デビューのような感覚でお寺デビュー

その地域で生まれた子供の命名を和尚さんにかいてもらう

大人

ほやきのコーナーを設ける
ご意見箱のようなもの
そこから和尚が毎週、毎月、披露し、それについて語り、意見を聞く
和尚は毎週、本部へ、またはネットで報告すること

サークルの集まり場
こんなサークル、集まりをつくりたいといったことの掲示板をつくる
がんばってる人の報告など
例：スポーツクラブでこんなイベントがある、したい。人数確保が必要な場合など

マナー教室
マナーや道徳についてのお説教
例：ペットブームですが、犬の糞の始末。

地域の問題を一緒に考える会
お互いに意見を出し合い
試してみる。
次の会でどういう結果や思いが芽生えたのか話合う
日々の生活、1つ1つを意識して生活するようになる
問題ばかりに着目するのではなく、いい所はどんどん伸ばして行き、他の地域の見本になれるように、前面にだしていく

老人

集いの場所として
みんなでいろいろもってきてお茶する

将棋、囲碁の大会場所

老人ができる労働の機会の場(情報交換、求人、など、お寺が親会社として機会を考える)

小話大会
お坊さんの修行のちょっとした話、お年寄りの昔のちょっとした話、(落語やよせ話みたいな感じで)

がんばっている老人の自慢大会
がんばっている老人に聞こう！

老人が多い時代
お寺が老人がつどえる所、活動の情報交換の場になれば。
最近ではジムで元気なご老人達が生き生きと仲良く励みあって健康を維持している姿をよくみかける。
今まで一生懸命日本を支えてきた年代の人々の中で、暇をもてあましてる人も多い、ほそぼそと暮らしている人も多いと思う。
もう、何もしたくない人達はそれでいいのかもしれないが、私の目にはただ死ぬのをまっているようにしかみえない。
人それぞれ、いろいろな問題や事情があるとは思いますが、個人的にはまだまだがんばってほしい。
がんばっている老人がいるならそれをもっとサポートしてあげれるシステムをつくりたい。

お寺でこんなことをやったら、地域が活性する！ 2

地域で

これからのリサイクルやエコの中心的な場所として、寺がリサイクルの業者と地域の住民との架け橋というのが当たり前の状態になってほしい。(これからどんどんリサイクルや環境についてのビジネスが増えていく。
その中でお寺が物の大切さやなどを教えると同時に先頭にたって、日本の地域のリサイクル事情をまとめ、事業を展開する。それは地域密着型のお寺が出来ることだと思う。
さらにお寺は全国にネットワークがあるメリットがあるので、情報を提供、共有、できるので、地域の声が全国に繁栄しやすい

バザー、物々交換の場

商店街限定の出店(出店専用の店は限定で)
新商品の紹介などをかねて、宣伝、お寺に行くとお得なお店のクーポンがもらえる
お寺を通して現地特産物の宣伝(観光産業としても)

地域の団体同志の集会場として、
(町内会、自治会、商店会、政治家の事務所、など)(この会では今こんな活動をしています、商店街の売り上げが先月は赤字でしたとか、1つの団体が抱えている企画や問題などを違う団体同士で話しあい、意見交換の場としてお寺は最適な場所やポジションではないだろうか？政治で言う国会みたいな場所、でも決めるのは各自)

全国で

インターネット、メディアを通してつながる
お寺同志の情報交換、競い合い。
例：日蓮宗本部主催 かるた選手権、剣道選手権など
地方のお寺から代表出て、優勝争いする)

お寺のブログ(今日の和尚の一言とか今日のイベントの告知、感想など)
もうちょっと、地方のホームページを見やすく、わかりやすく、また各お寺がホームページに書き込みやすくてできるよう提供する

お寺ラリー
お寺スタンプ
お寺おたく(電車オタクのような感じ。(けっこういるので、そういう人をメディアをつかって出すのもよし))
イベントを増やし、今日はここのお寺でスイカ割り大会があるから、ここの寺に行ってみようみたいなこと

世界で

交換留学生
仏教の修行を経験したい外国人、英語圏の人
仕事として英語を教えたり、英語のブログを書いてもらって世界との交流。(ただ何を書いたか英語がチェックできる人が必要)
修行もおこなってもらう

「可愛い子には旅をさせろ」プロジェクト
これから留学したい学生へのスポンサー活動や協力や教育
例：仏教信者の大学生へ1年間語学留学への夢の手伝い
逆に学生は仏教の教えを広める。その学生はお寺に留学の目的、仏教活動の企画、計画書などの提出

地域住民同士の関係が疎遠になりがちな今、
お寺をコミュニティの場として利用し、
地域住民同士の交流を深める。
そのために2ヶ月に一度お寺の日を作り、
餅つき大会や花火大会等のイベントを開催する。
イベントを通して地域住民の交流を深め、
人と人のつながりの大切さを再認識する。

お寺を活かした つながる暮らし

"つながる暮らし"とは

地域住民同士の関係が疎遠になりがちな今、
お寺をコミュニティの場として利用し、
地域住民同士の交流を深める。
そのために2ヶ月に一度お寺の日を作り、
餅つき大会や花火大会等のイベントを開催する。

回覧板やイベントスケジュールのチラシを作ったり、地域の町内会等に協力を求め、地域住民に向けてイベントの告知をする。子供を中心とした幅広い年齢の人に集まりやすいイベントにし、お寺の存在を身近なものにする。最近近所付き合いが疎遠になっている地域が増えていて、近くに住んでいるのにあいさつをした事が無かったり、どんな人が近くに住んでいるのかも分からない人が多い。これを機に地域住民の交流を深め、人と人のつながりの大切さを再認識する。

タイトルについて

"つながる暮らし"という優しく安心感のある言葉を使い、お寺の持つ"教養が高い""ゆい場所"など、良いイメージを少しでも整くした。

いもちがつ

1月 餅つき体験

今の子供(大人も含めて)は餅つきをほとんどした事が無いと思うので、みんなで餅つきを体験して盛り上がる。自分たちでついた餅を食べながら住民同士のコミュニケーションを図る。

いこがつ

5月 和の空間でお茶を飲もう

最近の住宅は和室がなかったり、和の空間に行く機会が少ない。そこで、お寺の一堂で和菓子を食べ、お茶を飲めるようにする。日常の生活では味わいにくい和の空間で楽しくお茶を飲める場所を提供する。

いこがつ

9月 むかしの遊びを体験しよう

カルタ・ペーゴマ・手回し外れではあるが利用など。今の子供たちがあまりしなくなった遊びを体験してもらう。遊び方は地域の大人の大人たちに教えてもらう。大人も子供の頃に買った気持ちで一嬉に子供たちとふれあいがら遊ぶ事ができる。



いさんがつ

3月 地元の人にこあいさつ

学校を卒業したり、新社会人に向けて準備をしたりする年度末。地域住民で集まって近況を報告したり、"ありがとう""これからよろしくね"など日頃の感謝の気持ちを気軽に言い合えるような場を作る。お茶やお菓子を提供し、お酒も有料で提供する。

いひちがつ

7月 フチ花火大会

夏の季節に花火大会を行う。打ち上げ花火ではなく手持ち花火を中心に行う事。地域住民のコミュニケーションをとりやすくする。打ち上げ花火に比べ、花火のコストも下げることができる。

いとしの月

11月 地元の歴史に詳しくなるう

以外と知らない地元の歴史。地元の武将や起こった戦の経緯や、"30年前この辺は田んぼだった"など少し前の歴史など、写真がある人は持って来てもらう。地域の住民にもっと地元を知ってもらい、愛着をもってもらう。

気軽に参加をしてもらえようにする。

親が自分の子供を連れて公園に行くような感じで参加できるようにする。

イベントに参加した子供が大人になったときに、

自分の子供を連れてまたお寺に来たくなるようなサイクルをつくる。

イベントを通して地域住民の交流を深め、人と人の繋がりを大切にする。

テラ+ママ＝地域が元気に！		35 才	女性
NO.110	P1	修行／真剣な話し合い／境内・伽藍の開放／体験型イベント	
			⇒ジャンルへ

<タイトル>

テラ+ママ＝地域が元気に！-ママは美しく、家族は元気に。お寺の地域応援プログラム-

<概要>

お寺には本来の法務だけでなく少なくとも二つの資源があります。本堂と境内という非日常的かつ魅力的な空間。そして僧侶がもつ檀家さんをはじめ様々な知恵や経験、職能をもつ地域の人々とのつながりです。その空間資源と人的資源を開いていくことで、地域に住まう人々を元気にできると考えます。その糸口は地域に住むママたち。お寺にママが関わることでその背景にあるパパや子供など家族が関わるきっかけとなります。そしてそのお寺は地域とつながる窓口。ママとお寺のパワーで日本の家族と地域を元気にしましょう。

テラ+ママ＝地域が元気に！-ママは美しく、家族は元気に。お寺の地域応援プログラム-

お寺には本来の法務だけでなく少なくとも二つの資源があります。本堂と境内という非日常的かつ魅力的な空間。そして僧侶がもつ檀家さんをはじめ様々な知恵や経験、職能をもつ地域の人々とのつながりです。その空間資源と人的資源を開いていくことで、地域に住まう人々を元気にできると考えます。その糸口は地域に住むママたち。ママがお寺に関わることで、パパや子供など家族、さらには背後にある地域もお寺と関わるきっかけが生まれます。ママはお寺と地域をつなげる窓口。ママとお寺のパワーで日本の家族と地域を元気にしましょう。

作戦その壱 ママをお寺に引っ張り出す

健美プログラム-自分の内側を見つめ心身共にリセットしよう-

東日本大震災以降、自分、家族、地域の存在やそのあり方を問い直す人が増えている中、子育て期の母親はそんな機会になかなか恵まれません。さらに核家族化がすすみ子育てに疲れても共有したり助けたりしてくれる人が身近におらず孤立感や閉塞感すら感じているのです。そこでコンビニよりたくさんあるといわれるお寺がママたちの思いを受け止める受け皿になるとすれば・・・

日頃の家事育児から解放され心身共にリセットすることで、本来の自分を取り戻しながらさらに健康に美しくなるママ。その機会と空間をお寺は提供します。

<内容>

- ① 瞑想：僧侶指導のもと座禅をくみ内なる自分を見つける
- ② ヨガ：講師を招き自分の身体と対話をしながら身体を動かす
- ③ ランチ：境内の菜園でとれた無農薬野菜を使ったマクロビオティック

マクロビオティック＝正食は、日本に古くから伝わる食養生。今「食育」として注目されている石塚左玄の考えを引き継ぎ、さらに東洋の深い知恵「易」の原理を加え、桜沢如一氏が「無双原理」として確立、世界に広めた新しい生活法です。最近海外からの密輸入で、言葉としては「マクロビオティック」として知られるようになりましたが、その根底には「玄米正食」という自然に則した食事法があります。「マクロ」は大きなとか全体的なことを意味し、「バイオ」とはいのちのことです。「ティック」は柄や字を取ります。つまり「生命（いのち）を大きな視点で捉え、自然のリズムの中で自分を生かす生活法」です。玄米はもちろん、日本でも、生活に取り入れる人が多くなってきました。（引用：正食協会HP）



←マクロビオティックランチのメニュー例

- ・ふゆ野菜がんと
- ・大根とこんにゃくのきんぴら
- ・にんじんスープ カブチーノ風
- ・しゃきしゃき有機野菜サラダ
- ・かぶらの一夜漬け
- ・厚布の佃煮
- ・もっちり玄米

（引用：Mecco Café ブログ）



作戦その貳 パパと子供をお寺に引っ張り出す

楽学保育プログラムー子供と共に学ぼうー

健美プログラムに参加するママたちだけでなく、パパや子供も参加できるプログラム。
ママがキレイになっている間に、ぼくもわたしも楽しく学ぼう！

<内容>

① 食育：植家さん等で菜園づくりの得意な人の助けを借り、境内の一部などお寺の所有する土地を菜園として活用し、保育中の子供とともに野菜やお米を育てます。また収穫した野菜やお米を使って調理を行い子供にお寺の食文化を伝えましょう。ちなみにこの食材は母親が食べるマクロビオティックランチにも使用します。この料理のレシピは地域に情報発信しましょう。

② 日本の伝統建築に触れる：普段触れることの少なくなった日本の伝統建築。その代表格であるお寺の本堂の維持管理（ほごりはらい、床掃除、障子張り、季節のしつらえ等）のお手伝いを行い、お寺と自分自身との新たなつながりを構築、再認識します。お寺、ひいては地域への愛着心を育てることにつながるでしょう。また建物や庭の維持管理を行う職人の仕事を見学したりお手伝いすることで、職人の伝統技術に触れる機会ともなります。



作戦その参 ママと家族がお寺と地域をつなげる

お祭り開催プログラムー地域とのつながりを確認しようー

健美プログラム参加を軸に家族でお寺に関わった集大成として、お祭りを開催しましょう。

<内容>

① フードフェス

食育プログラムで収穫した野菜と、その野菜を使った料理のレシピを多くの地域の人々に知ってもらいお寺の取り組みを広く知ってもらうきっかけにしましょう。

② 野外ヨガフェス

日頃お手入れのお手伝いをしているお寺の境内で野外ヨガを行います。澄み渡る空気にふれながら家族みんなでヨガを体験し家族のつながり、地域とのつながりを実感しましょう。

③ デザインフェス

地域の絆を象徴したデザインの法被や手ぬぐいなどを作成しお祭りで着用。デザインを通して新たな地域と自分との関係性を可視化しましょう。

お寺パーク DE 子どもフェスティバル		56 才	女性
NO.112	P1	修行／境内・伽藍の開放／まつり型イベント	
			⇒ジャンルへ

内容

四国出身のわたし。子どもの頃、村に1軒のお寺があり、そこが子どもたちの遊び場のひとつでした。毎日のようにお寺に出かけ、日が暮れるまで境内や庭で遊んでおりましたから、お寺はとても身近な存在でした。

大人になると観光地のお寺にくらいしか行かなくなりましたが、コンビニ以上にたくさんあるとのこと。確かにありますが、東京に出てきてから、お寺はあまり身近ではありません。そこでお寺でできることを考えてみました。大きく2つあると思います。

1、自分を見つめること

座禅や写経は、ある意味、一般人にとっては非日常です。オン、オフを切り替えるように日常では味わえない非日常を体験をすることで、心身をよみがえらせることができます。体験の際、料金をいただくことで、お寺の活性化にもつながると思います。

2、広い場所を利用して、みんなが交流すること。

地域やコミュニティの活性化を考えるなら、やはりみんなが集まり交流できるイベントでしょう。なんといってもお寺には広いスペースがあります。でも節分の豆まきには、人は集まりますが、交流はさほど生まれません。これではコミュニティの目的が果たせません。

わたしは昔の自分を思い出してみました。

お寺で何して遊んだか？

- ・ケンパ（チョークはお寺の白壁、石はお寺の瓦）
- ・ダルマさんがころんだ
- ・ゴム飛び
- ・色水（おしろい花があつて、それを水に溶かして色を出す）
- ・かくれんぼ
- ・ボール投げ（お寺の屋根に投げあげて、落ちてきたのを受け取る）

そんな感じ・・・。

昔は子どもだけで遊んだのですが、今の子どもは大人とか教えてくれる人がいないと、うまく遊べなさそう。

そこで、**地域の活性化を考えて**

遊びのワークショップをお寺でやろう！っていうのがアイデアです。

お寺パーク DE 子どもフェスティバル		56 才	女性
NO.112	P2	修行／境内・伽藍の開放／まつり型イベント	
			⇒ジャンルへ

ワークショップの内容は

- ・ケンパ
- ・だるまさんがころんだ
- ・ゴム飛び
- ・凧揚げ
- ・コマ
- ・折り紙
- ・竹馬 etc

以上のような昔の遊びを、境内にテントなど張って、学生のお兄さんやパパ、ママが先生となって子どもたちに教えながら遊びます。

スタンプラリーのやり方で、できるだけいろいろな遊びを体験するのが目的。

昔の遊びだけでなく、お祭りのお囃子や太鼓、大道芸、手品などボランティアで出演していただける方にご協力いただき、イベントとして盛り上げたい。

お寺の活性化のために資金集め

お寺もいろいろ。裕福なお寺もあれば、そうでないお寺も多いのです。やはり資金集めは欠かせません。一日遊べるので、参加費をいただきます。子どもも大人も一人300円。おなかもすくので出店OK。ただし出店の場所代として1日2000円。といった形で料金をいただきお寺に寄付。

イベントの回数

月に1回、日曜日

第〇日曜日は、いつもやってるという定着化が必要です。

わらしべフリーマーケット		35 才	女性
NO.113	P1	土地を貸す	
			⇒ジャンルへ

<コンセプト>

寺院を拠点にして「ご縁」を結ぶフリーマーケットを行う。

物々・サービス交換を奨励し、金銭だけを介すのではない「交換」を通して、日頃なじんでいる価値観を見直すとともに、地域の人と人の縁を楽しみながら広げていく。

<概要>

全国の寺院で一種のフリーマーケットを行います。フリーマーケットや骨董市といった催しは様々な寺院で開かれています。が、「わらしべフリーマーケット」が一般のフリーマーケットと異なるのは、参加者が「物々交換」や「サービスの交換」を通して、全員出品者となり、また購入者となる点です。

このマーケットに参加する人は、まず、自分が交換できる価値＝「交換財」を最低ひとつ提供します。一般的な古着や雑貨などの出品も可能ですが、物に限らず、様々な「サービス」も出品できます。たとえば、「買った荷物を運ぶ」「肩たたき」「話し相手になる」「体験談を語る」など、自分の提供できることを申請します。

参加者は、自分の交換財を他のサービスや物をもつ参加者と交渉して交換することができます。金銭も交換財の“一つ”と考えてもいいでしょう。

交換したサービスや物を生かして、「わらしべ長者」のようにさらに次々に交換していくことができ、最終的に自分のもっていた価値がどんなものになるのかを楽しむことができます。

たとえば、子どもが「話し相手になる」という価値を、手作りのおにぎりを出品しているおばあさんのおにぎりと交換したり、そのおにぎりで古着を1着買うことができるかもしれません。

また、イベントを盛り上げる仕掛けとして、「わらしべ長者」コンテストを行います。最初の自分がもっていた価値が、最終的に何に交換されたのかを発表し、もっともユニークなもの、意外なもの、夢のふくらむもの、などを皆で共有します。このマーケットでの交換が縁で、友達や結婚相手を手に入れました、なんていうこともあるかもしれません。

金銭ですべての価値を交換するのではなく、人と人が出会い、お互いの持つ価値をお互いが納得し合いながら交換することで、自分たちの価値、財産がなんなのか見直すことにもつながります。

そして、大規模なフリーマーケットを大きな見本市や商店街で行うのではなく、ひとつひとつの寺院は広くなくても、全国の寺院で一斉に行うことで、インパクトが生まれます。

地域に根ざしている寺院を拠点として「ご縁」を結んでもらい、地域の、そして日本の元気のもとになることを期待します。

自分で作るお守り「十分間写経」		62 才	男性
NO.119	P1	体験型イベント	
			⇒ジャンルへ

タイトル 自分で作るお守り「十分間写経」

目的 お寺に足を運ぶ。

対象 一般

活動概要 一回 十分間の写経をする。

自我偈や観音経の一節つつ

1日目 空のお守り袋に、住職が一変主題
を書いた紙を入れて渡す。

「自我得佛來。所經諸劫數。
無量百千萬。億載阿僧祇。」を書写
して、お題目と一緒に入れる。

2日目「常説法教化。無數億衆生。

令入於佛道。爾來無量劫。」を書写

一寺院で実施する場合は、次々と進める。

他の寺に行ってもよい。その場合は、次を渡す。

現在私の寺院でしております。

いつでも始められる。時間が短い。
と、好評です。

復興の灯明まつり『銀河鉄道の夜』事業			不明	男性
NO.124	P1	まつり型イベント		
				⇒ジャンルへ

復興の灯明まつり『銀河鉄道の夜』事業 概要

事業名	復興の灯明まつり『銀河鉄道の夜』事業
実施地域	身延山久遠寺および日蓮宗全国寺院
事業の目的	東日本大震災以降、宮澤賢治の『アメノモマケズ』が全世界的に読まれ、多くの人々に共感と癒しを与え続けている。言うまでもなく宮澤賢治の作品には法華経による衆生救済の精神が織り込まれており、昨年9月に行われた全国教研会議でも賢治のデクノボー精神を活かした寺院活性化(寺院を核にした地域コミュニティの再生)が話し合われたところである。復興の灯明まつり『銀河鉄道の夜』事業では、宮澤賢治の作品をテーマにした芸術祭を賢治の碑がたつ身延山久遠寺に総登詣して、東日本大震災死没者、復興殉難死者追悼・復興祈念法要とともに実施する。宗門が伝統的に持つ『絆』(全国ネットワークと地域寺院コミュニティ)を賢治芸術の具現化で再認識する。み仏の子たる被災地の子ども達に本当の笑顔が戻るまで継続することを目標に盛り上げていきたい。
事業の基本設計	<p>【ステップ1】全国 5000 カ寺から灯明を募集 奉納料 1,000 円 目 標 16,000 個(東日本大震災死没者、復興殉難死者) 灯明台紙は宗務所経由で各寺院に配布。 回収は宗務所単位でとりまとめ奉納料とともに宗務院へ。</p> <p>【ステップ2】防災の日に身延山久遠寺追悼・復興祈念法要を営む。 復興の灯明を(商店街、菩提梯 287 段、久遠寺境内等で)点火。 設置点火のイーハトーブ・ボランティアを全国寺院・檀信徒から募る。 宮澤和樹氏の講演会、宮澤賢治作品の朗読会、音楽会、イーハトーブ作品展を行う。(協力:林風舎、ハート・エンジェル)</p> <p>【ステップ3】被災地寺院のコミュニティ再生を全国寺院が支援 奉納料は必要経費を差し引き、宮澤賢治文庫として宮澤賢治の童話のほか子ども向け絵本を被災地寺院へ贈る。希望寺院には朗読会費用の助成をする。</p>
事業効果	<p>●全国 5000 カ寺から灯明を募集することにより</p> <ol style="list-style-type: none"> ①宗門ネットワークと地域寺院コミュニティが活性化する。 ②日蓮宗新聞や宗門 HP を通じて灯明募集を周知することで、宗門・寺院・檀信徒の『絆』を創発する効果が見込まれる。 <p>●防災の日に身延山久遠寺追悼・復興祈念法要を営むことにより</p> <ol style="list-style-type: none"> ①身延山総登詣のきっかけとなり、参詣者や地域協力者の防災意識の向上が見込まれる。 ②講演会、宮澤賢治作品の朗読会、音楽会、イーハトーブ作品展を通じて、芸術活動と宗門運動を連動させた布教手法が確立する。 <p>●被災地寺院のコミュニティ再生を全国寺院が支援 被災地への関心の風化が懸念される今日、「ほんとうの復興の日」まで支援を全国寺院が継続する営みは、宗門のみならず「世界ぜんたい」から共感を得るものであり、霊山往詣の旅をテーマにした作品『銀河鉄道の夜』における宮澤賢治の主張とも一致する。願わくば、人(地域)→寺院→宗門→寺院→人(地域)の循環型コミュニティを復興支援に繋げたい。</p>

お寺の活性化の可能性		不明	男性
NO.125	P1	境内・伽藍の開放／土地を貸す／公園化／相談窓口／本格経営／キャラもの／情報発信／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

現状

お寺の規模は様々ですが、ある程度の大きさの敷地があって周りは塀に囲まれていて、門を入ると本堂らしき瓦屋根が見え、参道の左右にはお墓があり、あまり手入れが行き届いていない庭が広がっているというのがごく一般的なお寺の作りといえるでしょう。少し奥には庫裡があってガレージから車が覗いていたり洗濯物が見えたりします。さらに「信徒会館」などという名前のついた、お金のかかった感じの新しい建物が建っていたりします。しかし、家のお墓でもない限りそのお寺をわざわざ訪ねることはまずないでしょう。訪ねるのは、知人の葬儀がたまたまそこで執り行われたときだけになるはずです。

お寺の施設もその運営も我々の日常生活からはかなり離れたところに漂っています。

施設

お寺は建築基準法では、建築物の用途の区分コード番号 08160、「神社、寺院、教会その他これらに類するもの」として扱われていて、避難設備や防火設備や消防設備を基準通り備え、都市計画法による規制を満たせば建築が可能になります。しかし、例えば本堂の設計上の使用人数を 200 としても実際にそれだけの人が集まるのは年に数えるほどで、「伽藍堂」にそれだけの消防設備が本当に必要なのかと不思議になるほどです。お寺をもっと活用してもらうためにはお寺はもっと多目的化しなければならないというわけで、いわゆる「多目的室」を準備しても実際はごく限られた檀家の方がたまに利用する程度になりがちです。

多目的化を探るためにお寺という施設に合いそうな建物を建築物の用途の区分から順に見ていくと、「一戸建ての住宅」はすでに庫裡がありますから実現しているといえます。「長屋」、「共同住宅」、「寄宿舍」、「下宿」、これらは僧坊という形で過去には一般的であったといえるでしょう。現在ではお寺の「アパート経営」ということになるでしょう。少子化のいま、「幼稚園」からはお寺は撤退しつつあります。「小学校」から「各種学校」までの教育機関は各宗派として取り組んでいます、個々のお寺としては難しいでしょう。「図書館その他これに類するもの」はお寺の所蔵または死蔵図書を気軽に閲覧できるようにするなどしてすぐにできそうです。さらに「博物館その他これに類するもの」もたとえ文化財に値しないお仏像であっても縁起などを丁寧に説明すれば魅力のあるものになるのではないのでしょうか。「老人ホーム、身体障害者福祉ホームその他これに類するもの」は宗教的に是非取り組みたい施設ですが、現実の管理業務まではとても手が回らないので敷地の一部を提供するというような方法になりそうです。ただ、定期的にお年寄りや障害者を訪問してお話しをすることはできそうです。「保育所その他これに類するもの」も幼稚園と似てはい

お寺の活性化の可能性		不明	男性
NO.125	P2	境内・伽藍の開放／土地を貸す／公園化／相談窓口／本格経営／キャラもの／情報発信／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

ますが、働く女性のためにこれからいっそう需要が増え、法規制上の問題が整理できればお寺が取り組みやすく直接社会貢献できる施設といえます。「児童福祉施設等」も境内にはそのまま作りにくいですが、お寺の存在理由を高めることにはつながりそうです。「公衆浴場（個室付浴場業に係る公衆浴場を除く）」は、例えば境内に温泉が湧いたりすればもっとも有効なコミュニティ形成のツールになります。「診療所」も「病院」も直接は手をだせませんし、縁起が悪いと言われがちですがホスピスを見舞うなどしてお寺の活動範囲を広げることはできます。「公衆便所、休憩所又は路線バスの停留所の上屋」はどうでしょうか。観光寺には付き物です。「体育館又はスポーツの練習場」は、サッカーグラウンドは無理でしょうが、ちょっとした平らな芝生を提供するだけでも子供たちがボール持って遊びに来るのではないのでしょうか。（日本ではサッカーは泥土の上でやるらしい、と言われていいますから。）「ホテル又は旅館」は宿坊としては馴染みが深いですが小さなお寺でも「ペンション」程度はできそうです。朽ちそうな山寺の冷え切った部屋で一晩過ごすのもおつなものでしょう。「日用品の販売を主たる目的とする店舗」はおみやげやお守りやお札を売れるお寺にはすでにありますが、これから名物を作るのでは不自然です。それでもちょっとしたお寺グッズを用意すると「普通の人々」がお寺に行くきっかけになるはずです。「飲食店」「食堂又は喫茶店」は、企画次第ではかなり成功しそうです。精進料理だけでは競争力はありませんが、スイーツも用意して、ゆったりとした落ち着いた空間に「日蓮文集」などがさりげなく置いてあれば忙しいサラリーマンでも週末など偶然手に取って自分の日常を振り返るきっかけになるはずです。そのほかの店舗類では、馴染み易いのは本屋ぐらいでしょう。自家販売の豆腐なども「お寺お寺し過ぎる」とはいえ座りやすいもののひとつでしょう。「学習塾、華道教室、囲碁教室その他これに類する施設」はすぐにでもできそうです。機能的かつおしゃれなモダンジャパニーズのスタイルで小さな庭と小さな建物を提供すれば裏原宿にも負けない集客力がありそうです。華やかな青山、表参道、原宿にも行き場のない人はかなりいるのです。行き場のない人が行き倒れにならない場を提供するのは店舗企画業者ではなくて本来お寺であるはずで。

さて、「映画スタジオ又はテレビスタジオ」は一見唐突ですがその地域だけをカバーするFM局を立ち上げるのはその気になればできそうですし発信能力は抜群です。当然その局のサイトも立ち上げて寂しい少年少女に自殺を思いとどまらせることもできます。「自動車車庫」はもうすでにお寺のトレードマークです。企画力がなくても土地さえあればできるたんなる収益事業です。「自転車駐車場」はパークアンドライドが進めば駅近のお寺であれば人が立ち寄ってくれるきっかけにはなりそうです。またこどもの自転車の練習場に境内を使わせるくらいの度量はほしいものです。「倉庫業を営まない倉庫」も土地さえあればすぐにできますが何も生まないでしょう。「劇場、映画館又は演芸場」はすでに昨今のお寺の定番となりつつあります。本堂などでコンサートや寄席や社会派ドキュメンタリー映画会を開催するのがはやっていますが、本格的なプロを呼ぶような興業は税制上の問題もあって難しいのでどうしても発表会のようなレベルに成りがちで観客層の広がりにはつながりに

お寺の活性化の可能性		不明	男性
NO.125	P3	境内・伽藍の開放／土地を貸す／公園化／相談窓口／本格経営／キャラもの／情報発信／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

くいようです。「公会堂又は集会場」はまさに本来のお寺の機能でしょう。ただすでにずっと本格的な設備を備えた公共あるいは民間の施設が十二分にある時代では普通のお寺ではそれに対抗できる施設で勝負はできません。対抗できるのはその中身で、法話のレベルや討論会の企画ということになるでしょう。「展示場」は比較的大きな空間のあるお寺としては内容によってはその場を貸して、例えば仏具展などを催してもいいのではないのでしょうか。

「ダンスホール」も無理がありそうですが、ソーシャルダンスを練習できるホールはそんなに多くはないのでフローリングの床が無駄に広がっているようでしたら貸してもいいのではないのでしょうか。「火葬場又はと畜場、汚物処理場、ごみ焼却場その他の施設」については、まずはこのカテゴリー分けに愕然とせざるを得ないとともに建築基準法の教養のなさに呆れる他はないのではないのでしょうか。お寺に火葬場が併設されていること自体は自然ではあるかもしれませんが普通のお寺が自前で火葬場を持つことはまずはないでしょう。

ところで、お寺の多目的化によって実現されるはずだと考えられているコミュニティーとは一体何なのでしょう？

コミュニティー

コミュニティーという外来語が何を意味するのかを理解するのは容易ではないようですが、何か共通の課題や作業や時間を持つことによって仲間意識が生まれて共同社会が形成されていくことをどうやら意味しているようです。具体的にはスポーツ、趣味、芸能、お祭り、学校、生産活動（工場など）、一緒にお買い物、一緒に旅行、一緒に宴会などがそのきっかけになるのではないのでしょうか。簡単にいえばお金や地位にしばられて損得勘定で成り立つ社会とは別の共同体（Gemeinde）ということになるのでしょうか。この 21 世紀に損得勘定以外の集まりが可能なのか疑問ではありますがリタイアすると突然、利益社会（Gesellschaft）から切り離されて行き場のない老人になる人が増えています。それだけ見ても何らかのコミュニティーすなわちゲマインデ（Gemeinde）が求められているようですが果たしてそれをお寺が多少でも提供できるのでしょうか。

Gemeinde というドイツ語は、カタカナ日本語のコミュニティーに相当するだけでなく、とりも直さず教会の信徒の集まりのことにほかなりません。日本でいえば従来の檀家のことです。信徒あるいは檀家は利益社会から離れて共同体（Gemeinde）を形成しそれが教会やお寺を支えているということです。したがってお寺が檀家で成り立っている以上、鼻からそこにコミュニティーすなわちゲマインデ（Gemeinde）が成立していなければならないのです。にもかかわらずお寺にコミュニティーがない、すなわちゲマインデがない、それは檀家がないということです。檀家がいても檀家だけの仲間意識で固まってしまって「普通のひと」と気軽にコミュニティーが持てない村社会になっているようです。ですから「檀家の力で建てた会館」は「普通の人」にただで使わせるわけにはいかないというような意見がまかり通るのです。そこにはすでに利益社会が垣間見えています。

Gemeinde の発祥の地、ドイツではどんな様子なのでしょう？

お寺の活性化の可能性		不明	男性
NO.125	P4	境内・伽藍の開放／土地を貸す／公園化／相談窓口／本格経営／キャラもの／情報発信／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

隣の芝生

ドイツのごく一般的なプロテスタントの教会は街や村の比較的真ん中に他の建物にごくなじんで自然に建っています。お寺では本堂の前の底の下まではいけませんが気軽にずかずかと内部にはいつても中に入れます。教会にはふつう塀はなく昼間は扉に鍵はかかっておらずいつでも中に入れます。キリスト像を盗んでいく族はそうはいないようです。回廊などがない小さな教会では建物はその教会堂それっきりです。牧師の住む牧師館はふつう道路を挟んで反対側のごく近くに建っています。それとは別に信徒会館(Gemeindehaus ゲマインデハウス、カタカナ英語ではコミュニティーホール)が近くにあります。これは信徒(檀家)が中心となって様々な宗教活動を行うごく質素な建物です。そこには受付と事務所を兼ねたような部屋とクローゼット、集会室、図書室、いくつかの小部屋、地下に倉庫やトイレが備えられています。簡単な宿泊も可能です。牧師館が近くにない場合にはそこにお悩み相談の部屋があります。誰にも言えない悩み事や繰り言を、アポをとってから牧師に相談しに行くのです。牧師は必要な場合には精神科医を紹介し、警察や弁護士や市の福祉係などに連絡します。牧師には当然守秘義務があります。

信徒会館を切り盛りするのはだいたいご近所のご婦人方です。若者の教会離れは著しくてゲマインデはどこも老人会と化しています。70年代には若者を呼び寄せるために教会ロックコンサートが盛んに開かれましたが、それはとてもクールとは言えないレベルの音楽だったので特効薬にはなりませんでした。信者の減った教会は文化センターなどに改装されています。

墓地は教会に併設されている場合もありますがだいたいは市立の共同墓地でいずれにせよ墓地の管理は牧師の仕事ではありません。牧師の仕事は埋葬までです。したがって墓地からの収入はありません。教会は教会税と寄付金によって運営されています。牧師は教区から派遣されてくる一種の公務員で、新任にあたってはゲマインデによる面接があります。ゲマインデが牧師を選ぶのです。牧師の人柄も大事ですが、説教の内容が大きな決め手のようです。聖書の一節を引用しながらヴィヴィッドな政治問題や人権問題をとりあげて論じるような説教が多いようです。例えばもうすでに50人以上もの兵が亡くなったアフガニスタンでのドイツの軍事活動をどう考えるかというような差し迫った話題です。

個人経営商店のお寺とはまったく違って牧師は経営について頭を悩ます必要はありません。ただこの教会離れを止めたいとは思うでしょうが、当然ながら基本的には個々人の問題であって宗教者が直接左右できるものではないことは明らかです。それでも少なくとも結婚式、洗礼式、堅信礼式、復活祭、クリスマス、葬式には教会は欠かせません。また、もともと教会には音楽は付き物です。パイプオルガンが鳴り響いてゲマインデのコーラスが歌えば教会はすぐにコンサートホールに変わります。管弦楽や子供たちの聖楽隊などの演奏会が開かれることも多いので教会まで足を運ぶ機会はお寺に比べると多いようです。ゲマインデの総代には地域の有力者がつくことが多く教会の維持に尽力している様子はお

お寺の活性化の可能性		不明	男性
NO.125	P5	境内・伽藍の開放／土地を貸す／公園化／相談窓口／本格経営／キャラもの／情報発信／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

寺と同じでしょう。

イスラム諸国ではまだ宗教の影響力が強くて日常を支配しているように見えますがその中でも最も近代化に成功しつつあるトルコの大都会イスタンブールでは金曜ごとにモスクに行く若者は減ってきています。観光モスク以外のこじんまりしたモスクもふつういつでも扉はあいていて好きな時にお祈りができます。大きな音の掃除機でじゅうたんを掃除中でも気軽に入れるのです。

東部の田舎からドイツに出稼ぎに来ているトルコ人たちはおしなべて信心深く宗教に寛容な政策をとっているドイツにはモスクがかなり建ちはじめています。それには驚くほどの寄付金が集まるのです。信者減少に苦しむ教会から見たらうらやましい限りでしょう。外国人労働者としての悲哀を共有する彼らにはまさにコミュニティが必要です。言語、モラル、食事、娯楽など日常の広い範囲にわたってゲマインデを形成します。ドイツのモスクの中には一階がトルコ食品のスーパー、二階がモスクという建物もあるくらいです。それはトルコ人の団結を強めますが、あくまでドイツ人社会とは統合していかないという意味表明にもなります。そうであればただ金を稼ぐためにドイツに留まっていってほしくないという感情がドイツ人たちの間に生まれるのも自然です。しかしそうしたゲマインデに固執しないで個人として自立して生きていく二世や三世のなかにはすでにドイツ社会で重要な地位をしめているひとたくさんいます。彼らはむしろ利益社会でのびのびと育っていくのです。

精神性

ところがその利益社会で成功してもあるいは思い通りにいかなくても、いずれにせよ人は非物質的なものになんらかの価値を見出しているようです。インドの不可解な臭いやダライラマの意外な現実主義やタイの小乗仏教に魅力を感じる人だけでなく、アユールヴェーダやヨガに頼ろうとする健康オタクや環境問題や自然保護活動に身を投じる人などにもスピリチュアルなものに価値を置こうとする姿勢があります。

やはりお寺はこのスピリチュアルなものに価値を置こうとする姿勢に答えていくことをおろそかにしては存続する意味がないのではないのでしょうか？

資金があればお寺はいくらでも施設を充実できます。飲食店、物販店、音楽ホール、ホテル、貸事務所、ブティック、スタジオ、バー、シネコンなどの一大複合商業施設のなかに申し訳程度のご本堂を残して経営基盤を強化することもできますが、それはもうすでにお寺ではないでしょう。かつて建築は宗教建築と世俗建築の二つに大きく区分されていて施設自体の規模や魅力度は圧倒的に宗教建築が勝っていました。宗教は施設自体の魅力で人を呼ぶことができましたし、そこにはディズニーランドにも劣らない仕掛けがあって一日ゆっくり楽しめたのです。現生のご利益を約束してくれるお札やお守りは一年しか効き目はありませんよ、といわれればどうしてもリピーターが増える道理だったのです。お参りといえば物見遊山を兼ねた一大娯楽でした。いまのお寺がまたこのような複合施設とし

お寺の活性化の可能性		不明	男性
NO.125	P6	境内・伽藍の開放／土地を貸す／公園化／相談窓口／本格経営／キャラもの／情報発信／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

て民間の世俗建築に対抗できる娯楽を提供できる環境にあるとは到底いえません。

そこで残るは当たり前ながら日々の地道な布教活動だけになります。とはいえこのままではジリ貧は目に見えていますからいくつかの改善策が必要です。

ともかくお寺に立ち寄ってもらうためにお寺が何をやっているかを伝えるホームページの充実は最低限必要でしょう。基本的にはメールでほとんどすべてのやり取りができるようにしてお寺への要望なども簡単にメールで送れる双方向システムとし、住職や世話人の顔写真、意見などもたくさん入れてまずは敷居を低くしておく必要があるでしょう。

たとえお寺に立ち寄っても本堂の軒先くらいまでしか入れないような施設ではちょっと雨でも降れば誰も行きません。気軽に入れるロビーのような空間が必要です。入ろうかどうかと迷わせるような豪華な造りではなくて散歩の途中に休憩するようなおしゃれなカフェや甘味処といった感じでしょうか。もちろん施錠などされていないで、土足のまま入ってそこからまた扉を開けて出ていけば釈迦堂や祖師堂に向かえるお寺のエントランス空間です。そこにいきなり住職がでてきても構えてしまいますから、だれもいなくていいのです。身延ではあまりに気軽にどんどん奥まで自由に入っていきますから、かえってこんな管理でいいのかなと不安に思えるくらいですが、なんだかほっとして、また来てみようかと思わせる雰囲気があります。教会でもモスクでも基本的には施錠されていない内部空間が用意されています。できれば釈迦堂にも祖師堂にも入れるようにしてせめて外陣からでもお像を近くで眺められるようにしたいものです。軒先で追い返すのはお寺だけです。

檀家制度で経営していく以上、墓地はお寺の生命線ですから古い墓地を整理したり新しい区画を作ったりして販売し新しい檀家を増やしていく作業を厭うわけにはいきません。その際できればただ単に空いているところを墓石で埋めていくようなレイアウトにするのではなく、なんらかの軸線を基準にするなり、ところどころベンチを設けるなり、水屋をデザインするなりして、墓地自身にほっとする空間を作り上げたいものです。郊外の公園墓地はきれいですがまったく宗教性が感じられません。寺墓地はやはり歴史と精神性を感じられるとともに、お水とお花とお線香をあげたらそそくさと退散したくなるような場所ではなく、しばらくじっと想いを巡らせられるような雰囲気になりたいものです。それだけでも「普通の人」はもう少し頻繁にお寺を訪れるはずです。

たまには住職の話でも聞いてみようと思ってもまとまった法話が聞けるのが平日の昼間だったり早朝のお勤めのときだったりして普通の人には到底スケジュールの調整は不可能です。日曜日は法事などで稼ぎ時ですから普通の人相手の相手をしている暇はないようです。これに比べてもともと日曜日という制度を決めたキリスト教はこの日を有効に使って、もうあまり人が集まらないとはいえ毎週必ず説教を行うわけですから普通の人にとってずっと楽なスケジュールを提供しています。時間の有り余っている年金生活者のスケジュールではなく、一般勤労者にも配慮したイベントの提供が必要です。例えば毎週末に瞑想の時間を提供したり、お教を聞く会などを開けば少なからず人は集まりそうです。就業時間の短いドイツでは夕方の6時くらいから2時間ほどいろいろなシンポジウムなどを企画し

お寺の活性化の可能性		不明	男性
NO.125	P7	境内・伽藍の開放／土地を貸す／公園化／相談窓口／本格経営／キャラもの／情報発信／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

て討論の機会を作っています。ちょっとしたサンドイッチとミネラルウォーターくらいでよく仕事の後に集まれるなと思いますがこれがコミュニティを生んでいくのです。

たとえ古臭い言葉で書いてあっても聖書は読めば何かが書いてあるかわかりますが、お教はそのままでは理解不能です。現代語訳なら当然わかるのですが普段耳にしている響きとは似ても似つかないので応用が利かないのです。そしてその内容が簡単すぎてあまり有難味を感じられなくなります。漢文の読み下しくらいがちょうどいい重みでしょうか。仏教に興味を持っている人は実際たくさんいます。皆密かに一人で本を読みながらそれなりに考えていますが今一歩進んでもっと深く知りたいと思っても尋ねる相手がいないのです。教えられて学んで考えるのが仏教ではなく実践そのものだなどといわれても普段の日常でそんな時間はありません。お寺にいても住職は頼りになりそうにもないか、恐れ多くてつまらない質問をしにくいと思うほど愛想がなかったりして結局適当なところでお茶を濁している人は多いのではないのでしょうか。各自のレベルと興味に応じた仏教講座をおしゃれに展開すれば相当のひとが集まるはずです。

住職に魅力があって熱心に活動していればそのお寺には地域の人が集まりコミュニティが生まれて Gemeinde（檀家）は盛んになるという、なんの変哲もない結論に至ることになりました。

子供相談箱 おみくじ券 宝探し キャンプ 豆まき		不明	男性
NO.126 NO.129	P1	相談窓口／スタンプラリー／体験型イベント／芸能人／ボランティア支援	
			⇒ジャンルへ

○子供たちを笑顔にするために子供相談箱を設置。

相談したい子供が相談用紙に悩み等を書いてお坊さんがその用紙に返答を書いて掲示板に張りつけ回答するという物です。相談者は個人情報もあるので相性とか偽名で書けば掲示板に返答があれば本人だけ分かります。いたずらで書かれないように相談用紙は目の届くところにおいて相談者が確実に子供か判断します。

恋の悩みとかおもちゃを買ってもらえないとかほのぼのしてかわかいい相談も来て返答するお坊さんもほのぼのしてかわかいい繋がりが出来るかもしれません。お坊さんのお言葉は大人でもありがたいものですので子供にはさらにありがたいものになるはずです。

もし、いじめ等、深い内容の物があれば相談者に直に話を聞いたり家族、学校への対応を依頼したり出来ると思います。

○子供たちがお寺をレジ袋一枚分のゴミを掃除するとおみくじ券がもらえる。

おみくじも子供のお小遣いにしてはそれなりにするので。

○お寺で宝探し。

お寺の歴史をヒントにお宝にありつく。お寺の歴史の勉強に自然になります。

○お寺でキャンプ。

宿泊所はあると思いますがあえてテントをはってキャンプ。お坊さんによる怖い話を聞いた後、恐怖肝試しとか境内でプロジェクターを使ってアニメ観賞会とか企画はいろいろ考えられます。都会のお寺とか住宅街のお寺とか普段キャンプ出来ない場所でのキャンプは面白そうです。

○豆まき券。有名人と一緒に豆まきと記念撮影。ミーハーなのでこれが一番したいです。

説法が単位に	新人研修	合コン	会談会	修行	年越し	34才	男性
NO.127	P1	勉強会／交流が目的の会／仏教年中行事／体験型イベント／その他 2					
							⇒ジャンルへ

私の住んでいる東京都世田谷区の北烏山はお寺が多く、静かでとても雰囲気の良い町です。

でも、いつも横を通り過ぎるばかりで、なかなかお寺と関わることもなく、ちょっと残念な気持ちもありました。

そう感じている中、今回の様なコンクールを知り、とても興味深く感じてます。知恵足らずかも知れませんが自分なりに真剣に考えてみました。

私自身は仏教徒ではありませんが、宗教という枠を超えて、お寺というものにはどこことなく親近感・安心感があります。

今回の自分の案が採用に足るものかどうかは別にして、お寺というものが身近になることは、多くの人にとってとても良い事だと思います。

近年、インターネット上での仮想的な繋がりがもてはやされていますが、実際に人々が顔を合わせて団欒する、そんな場所・空間は今後も必須だと思います。

お寺がそのような多くの人のコミュニケーションの基点になればいいですね。

それでは

瑣末ですが、以下に案を幾つか列挙させていただきます。

□ 『お寺での講義(説法)が大学の授業の一部(単位)になる！』

お寺で住職さんの講義(説法)を大学に関連させてはどうでしょうか？

すぐに思いつくのは宗教・仏教関連の講義ですが…

例えば『文化人類学』『倫理学』や近年の生命科学と命の尊厳を論じる『バイオエシックス』『生命倫理』などの理系の分野でも、仏教における死生観・生命観は一つの重要な視点になるのではないのでしょうか？(この部分に関してだけは、仏教というものを前面に押し出した方が好ましい気がします)

住職の方が大学に赴いて講義するのも良いかも知れませんが学生にとっては受身になってしまい真剣さが十分ではなくなるかも知れません。

むしろ、学生の方がお寺に足を運んで聴講するほうがお寺の活気にもつながるでしょうし、聴く学生の方もより真剣に取り組み、結果、身につくのではないのでしょうか？

平日だけでなく休日にも開講できたら喜ぶ学生もいるかも知れませんね。

□ 『企業や官公庁などの新人研修サービス』

どのような組織であっても、ある程度発展してくると人材の育成は避けて通れない問題だと

説法が単位に	新人研修	合コン	会談会	修行	年越し	34才	男性
NO.127	P2	勉強会／交流が目的の会／仏教年中行事／体験型イベント／その他 2					
							⇒ジャンルへ

思います。組織によっては教育体系が整備されているケースもありますが、多くの組織では直属の上司任せという場合も多いかと思います。

上司が直にいいにくい事や会社ではやりにくい事、でもぜひ新人君たちにはぶつけておきたいこと、身につけて欲しい事をお寺で若者に教授する。

『寺が、和尚が貴社の代わりに嫌われ役になります』とかのキャッチコピーはいかがでしょう？(笑)

お寺で少しきつい目に遭えば、その後の会社での苦難にも立ち向かえる精神的な強さも身につくでしょう。

それに、そのような若者が育てば、受注先の企業・官公庁にとってだけでなく、日本全体にとって良いことなのではないでしょうか？

研修内容は仏教にあまりこだわらず、世間一般的な作法から始まり、例えば礼法など上流向けの内容を教授すべきかも知れません。その方が、研修を依頼する側も、研修を受ける若者にとっても受け入れやすいと思います。

世の中には富士山の麓で受講者に、ただただ精神的な苦痛を与えて、そこからの開放感を枷にして5万/日という非常識な研修も多く世には存在します。そのような営利研修よりも、本当に若者を育成できる機関が台頭すべきだと強く感じています。

寺院はそれを担えるでしょうか…？

私は期待しております。

□ 『お寺で合コン（お見合い会）』

不謹慎かも知れなくてすみません。

でも…

お寺が真面目な出会いを求めている人達の出会いの場にならないか？

→ちょっとありかも知れないと思っています。

一般的な合コンのノリはついていけないのもっと落ち着いた感じがいいな、という多くの悩める人々に好適だと思います。

世の合コンは大抵、どこかの飲み屋かバーで、基本喧騒にまみれています。

単に目立つだけの人が勝つ場合も多いです。

一方、そのような中では自分本来の魅力を発揮できない方も多いのではないかと思います。そのような中、寺院の落ち着いた雰囲気や男女が互いの伴侶を真剣に探し求めるのはとても素敵ではないでしょうか？

単に出会い場や飲食を提供するに留まらず、合い間合い間に、今一歩踏み出せない人への和尚さんがフォローに入ってみるとかも？

お寺なら、縁起も良さそうですね。

単に飲食をして会話を楽しむというスタイルでは差別化も図りにくいし、お寺では限界があるかもしれないので…

精進料理を参加者の男女が共同で作る、とかどうでしょうか？

それだけでなく、一緒に境内の掃除等の共同作業を設けてみるなど『共同作業』というキーワードで、色々具体的な事は膨らませそうです。

世の男女は出会いに悩んでいます。

最近では多くの出会い系サービス、婚活サイトが増していますがそれだけ、要望があるとい

説法が単位に	新人研修	合コン	会談会	修行	年越し	34才	男性
NO.127	P3	勉強会／交流が目的の会／仏教年中行事／体験型イベント／その他 2					
							⇒ジャンルへ

うことなのでしょう。

ぜひお寺のポテンシャルを活かして、一組でも多くの男女を幸せな縁に導いて下さい。

□ 『お寺で怪談会！！』

（またまた不謹慎ですみません）

しかし、これは怖い！ まじで怖いです！

臨場感は最大級です。そのインパクトは絶大です。

設備投資が少なくて済むのが他の案より優れていると思います。

一般参加だけでなく、親子会談会とかターゲット層を分けて種々の時間帯で設けてもいいかも知れませんね。

ともし火は蠟燭がいいと思います（防災上の課題をクリアした上で）。

不謹慎さへの懸念は会談の内容を精査することで解決出来ると思います。

□ 『お寺で修行』

この『修行』というのは仏門に関するものを一般の人が体験、というのではないです。

武術です。

座禅などの精神的なものも良いのですが…

お寺の僧侶さんは屈強なイメージがありますよね（有名なのは弁慶）。

歴史的な経緯はよく知らないのですが、寺院には武術の素養も要求されたこともあるのではないのでしょうか？

もしそうなのであれば…街の道場で習うのもいいけど、もし可能ならお寺で習いたい。

お寺で習えれば生徒も、より荘厳な気持ちになれる筈です。

これが自尊心にも繋がり、実際の修練の結果にもつながると思います。

個人的には徒手武術だけでなく、棒術・槍術を習いたいですね。

少年部なら平日の夕方など、お寺なら親御さんも子供の健全な成長を信じる事が出来、安心にして任せてくれるでしょうし、社会人も土日はお寺で武道、とうのは、やや世間を離れた気風も出て良いのではないのでしょうか？

行く行くは、お寺同士の対抗武術大会だなんて素敵だと思います。

話題性も十二分です。

少林寺だけに武術寺院の地位を任せなくてもいいのではないのでしょうか。

日本人の中にも、寺院で習う拳法・武術に憧れる男は多いのでは。

□ 『お寺で団欒な年越し』

年越し、お蕎麦をみなで（勿論、見知らぬ人同士でも）囲みながら団欒出来たらいいですね。

お寺の中で団をとりながらみんなで和尚さんのお話をききながら、間近で除夜の鐘を聴く。

そのお寺ならではの蕎麦とか、鍋料理とかを出せばもっとお客さん喜ぶはず。

ただ、テレビ番組が観られないのが寂しいと思う人多いかも知れないので、テレビをみんなで見ながら、という部屋を別に用意する必要があるかも知れませんね。

雰囲気としてはこれが一番いい感じだと思います。

三祭災宅		47 才	男性
NO.135	P1	一般年中行事／まつり型イベント	
			⇒ジャンルへ

神事を意識せず、みんながお祭りを楽しみに集まるように、
楽しみとしての防災訓練の実施。

1.ノミの市

不要品などのノミの市は一般的なノミの市としてだけでなく、
支援物資を集めたり、それを仕分け義援金を集めたりの予習として。

2.炊き出し屋台村。

買い食いを楽しむ屋台村は、被災時の炊き出し訓練。
実費+@程度の安価で商品として提供、
頻繁に行う事で「炊き出し」を超えたメニューなどの工夫を促す。

3.講話会

被災後はもちろん、その備えとしての命や死への向き合い。
心のケアとしての講話会。

「来るかもわからないものへの備え」や、「やらなければいけない義務」
の防災訓練、一時避難所運営訓練を、
「主催側参加側の楽しみ」として反復出来る「祭り」として恒例化。

万が一発災時の、三車火宅。

平時の、みんなが楽しめる防災寺子屋としての現代の「祭り」を。

合掌 境内の開放 慰霊		32 才	男性
NO.136 NO.137	P1	スタンプラリー	
			⇒ジャンルへ

お寺へ入れば参拝というのが当たり前ですが、それすらできてない人が最近時々見受けられるのがとても残念です。特に観光寺で多く、ただ境内や堂内を徘徊や、写真を撮るだけ・・・

私が考えるお寺といえば、まず仏様と「向き合ったら手を合わせる」ここからだと思います。お経などは後からでも自然とうまく読めたり覚えたりするものです。

昔は役所、寺子屋など小さな子供からお年寄りまで全ての方々がお寺に来られていたようですが、合掌は最低限していたはず。合掌ができない、やらないのならお寺での最低限のマナーだと思います。仏の道というものを宗派問わず全てのお坊さんから教えてあげて欲しいです。次は本堂の開放してもらえることです。最近では物騒で仏像の盗難が多いと残念な話題を耳にします。警備が整っていないお寺では厳しいかもしれませんが、やはり仏様の見える所での参拝をしたいものです。また期間の短い七福神巡りのご朱印押印期間の延長などもご検討願いたいです。

あとは、各々の親、子だけでなく、それぞれの先祖のお参りと供養をしないといけないこともできていない方々が多いのではないのでしょうか？特に戦争で亡くなった多くの方々の供養は戦争を知らない我々はもちろんです。これからも戦争は二度と起こしてはならない、今の日本は戦争で命をかけて守って下さった方々のおかげなんだということを伝えていかなくてはならないと思います。

今回のテーマとは話しはそれでしたが、お寺が変わるだけでなく、今仏の道を忘れている日本人が変わらなくてはならないと思います。

日蓮巫女キャラ巡り		17 才	男性
NO.138	P1	キャラもの	
			⇒ジャンルへ

概要…日本全国のお寺に、それぞれの巫女さんのイメージキャラクターをつくる。そして、そのキャラクターたちにちなんだオリジナルグッズを製作して販売したり、スタンプラリー等の企画を設けて、参拝者に楽しんでもらう。イメージキャラクターは、一般公募することによってさらに地域活性化に繋がる。

クリーンアップオリエン寺 ing		42 才	女性
NO.141	P1	スタンプラリー	
			⇒ジャンルへ

概要:お寺ってどこ？まずは場所がわからないと地域の人も気軽に寄れません。じゃあ、オリエンテーリングしながらお寺まで行ってみよう(^-^)\あれ？道端のゴミが気になるなあ…

イメージ:

1 駅や公園からスタート。チェックポイント地図をもらう。小さな子は親とペアに。軍手とビニールを持ってスタート！目についたゴミを拾う。但し危険そうなものにはさわらないでね！

2 各ポイントでmeet お坊さん！ゴミと交換でスタンプやキーワード等をもらうと次に進めるよ！

3 数々のポイントを進めばゴールはもちろんお寺だよ！さあゴミはどのくらい集まったかな？町も綺麗になるし、運動不足も解消。ありがたい講話も聞けるチャンス！

堂本剛君の LIVE		24 才	女性
NO.142	P1	芸能人	
			⇒ジャンルへ

堂本剛君の LIVE、寺の前に。

子供と地域の住民の交流の場 伝統芸能のワークショップ		40 才	女性
NO.147	P1	同じ趣味の会／交流が目的の会／体験型イベント	
			⇒ジャンルへ

① **その壱** 放課後や週末の 子供と地域の住民の交流の場
昔の行事 や 遊び(囲碁 将棋 オセロ カルタ等)
絵本よみきかせ 等の 寺子屋 的な 場にする。

その貳 伝統芸能 のワークショップ
お寺で、狂言 仕舞 小鼓 笛
お茶 お花 香堂 友禅 等
日本古来の芸能を学べる場にする。

その集大成で発表会っていうのもいいかも！

地域のつながり 文化のつながり 「和」をつなぐお寺であってほしい。

仏前ブライダル	コンサート	カルチャースクール	ぶち修行	34 才	女性
NO.151	P1	勉強会／セレモニー／芸能人			
					⇒ジャンルへ

★仏前ブライダル!!!

知人がお寺で結婚式を挙げました。お寺と
いうと白黒、お葬式というイメージがありますが、この時は紅白で、おめでとう！という祝福の言葉が飛び交い、笑顔、賑や
かな雰囲気にお寺が包まれていました。
紅白の幕とお寺とがとても新鮮でした。
お葬式や暗いイメージを持っている人は多いと思います。結婚式などお祝い事ができることを知らない人が多いと思います。
それがもったいなく思います。

今、人と違うことがしたい、変わったことがしたいと思う人が多いので、寺院での結婚式はもっと人気が出ることと思います。

★コンサート

京都でお寺が開催した、お月見会に参加しました。住職のお話、お弁当、ハーブのコンサートがありました。
コンサートホールよりも落ち着きとても良かったです。住職のお話も良かったです。

★カルチャースクール

日本伝統に触れる教室
書道、お琴、俳句など。

★ぶち修行 大人向け寺子屋

子供たちには夏休みに寺子屋というのがありますが、大人向けの1泊2日の寺子屋があれば参加してみたいと思っていま
した。

和菓子で元気に！		37 才	女性
NO.156	P1	まつり型イベント	
			⇒ジャンルへ

地域を活性化させるのに まず必要なのは商店街が元気になることだと思います。
私は和菓子舗にパート勤めをしておりますので、和菓子でそれが出来たらと思います。

私の勤めている店では、非常に頻繁にお菓子(特に上生菓子)の入れ替えを行います。

「四季」を感じられるようにです。

ほとんど毎週替わるので働いていても楽しみです。

例えば、年末には鏡餅はもちろん、一月には初釜で使われる花びらもちや松竹梅の生菓子、おひな祭りには自家製ひなあられ、初節句祝いには菱餅をお返しするのだとか…

まだ勤めて数ヶ月ですが、今まで知らなかった四季折々のその土地のしきたりや伝統を学べて本当に楽しいです。そして、それをご存知のお客様がちゃんと買いにいらしてくださると感動すら覚えます。

四季をお菓子に表現するのは、日本人ならではの楽しみです。

そういう伝統や文化を勉強しつつ、和菓子を職人さんと一緒に作って食べてみるワークショップをお寺で出来れば素敵だと思います。

店の宣伝のみならず、地域との結びつきも強まると思います。

お年寄り懐かしいし、子供たちはちゃんとしきたりや伝統を学んで後世に伝えていくことが出来、おまけに美味しいお菓子付きです。

そしてゆくゆくは和菓子だけでなく、他の商店さんにもその輪を広げていけたらいいなと思います。

お経コンサート		40 才	女性
NO.158	P1	芸能人	
			⇒ジャンルへ

お経コンサート(フィルムコンサートでも)
 いろんなジャンルの方と一緒にお経を唱えることが出来る。
 皆で楽しみながら唱えたら幸せになれそう。
 由紀さおり
 みうらじゅん
 美輪明宏
 笑い飯・哲夫
 須藤元氣 etc.

空けましてお説法		66 才	女性
NO.159	P1	仏教年中行事	
			⇒ジャンルへ

初詣をし、新年の新たな始まりに、日頃は聞く機会のあまりない法話を聞く催しを開きます。

神社に行かれる方も、お寺に行かれる方も、ご近所にあるお寺で法話を聞いて、心新たに一年をスタートするきっかけにいただければと思います。

お寺で遊ぼう		37 才	男性
NO.162	P1	同じ趣味の会／境内・伽藍の開放／一般年中行事／仏教年中行事	
			⇒ジャンルへ

■タイトル:お寺で遊ぼう

概要:かつて、寺院は、何かにつけて人々が集まる場所であり、情報交換や教えを乞う場所でもあった。しかし、現代では、お墓参りが関の山である。しかも都会の人々は、お墓が近くになくともあって、寺院からはかなり遠ざかっている。

そこで、集まる場所、遊ぶ場所もない都会の子供たち向けの、「遊び場」「情報交換の場」があってもよいのではないかということから思いついた。

月代わりで、現代の遊びと昔の遊びをする場として「寺院」を提供する。

たとえば、

- 1月 カルタや百人一首大会
- 2月 カードゲーム大会
- 3月 竹馬体験・竹馬競技
- 4月 ミニ4区大会
- 5月 俳句や川柳を詠む会
- 6月 ボードゲーム大会
- 7月 氷細工を作る会
- 8月 水鉄砲でのバトル大会
- 9月 おはじき大会
- 10月 ベーゴマ大会・現代ベーゴマ大会
- 11月 焼き芋大会
- 12月 持ちつき大会

各回に大人も混ざると、世代を超えたコミュニケーションができると思う。

みんなでお坊さんになろう！		20 才	女性
NO.166	P1	体験型イベント	
			⇒ジャンルへ

概要: 坊主体験として参加者に坊主のかつらを配り、お坊さんの気持ちを体験していただくというものです。かつらだけでなく袈裟をきたり、座禅を組んだりなどお坊さんになりきれる体験をもらい、関心をもってもらおうという狙いがあります。家族だけでなく友人同士でもかつらをかぶっていっぱい笑ってたくさん笑顔になつてもらえたらいいと思い、考案しました。ユニークなアイデアかもしれませんが、子供からお年寄りまで楽しんで、かつ日蓮宗のことを知るきっかけができればいいと思い、考えました。

要約

「今迄寺院で培われた精進料理を弁当として、院内又は門前で弁当として販売する事です。」

現今、不景気の中、サラリーマンの多くは、小遣の減少に遭遇しているのが実状です。その為、昼の弁当代を減らしている人が大部分です。それ等の人々の為、寺で今迄に培かれた精進料理、或いは精進料理風の弁当を格安で販売されたら地域の皆様に喜ばれるのではないかと思っております。また、その地域が観光地であれば、観光客の弁当として、或は土産品としても喜ばれる事と思えます。

そして、一寺だけでなく、ある程度のグループで作って頂ければ経費も安くなる事です。販売買もアルバイトを利用すれば、雇用の場を提供出来るのではないでしうか。(地域の仕出屋を利用して良し悪しではないか) いずれにせよ伝統ある精進料理を弁当として、しかも格安に食する事が出来れば、地域社会との交流の幅も広がり、地域の活性化にも貢献出来る事と信じてをります。是非、実行をお願いします。

精進料理	乳幼児祈願	老人臨終正念	観光	防災拠点など	70才	男性
NO.171	P2	同じ趣味の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／本格経営				⇒ジャンルへ

その他のアイデアとして、

1. 寺院の何かのイベントの際、新生児や一才児の健康と成長を祈願する日を作ってはいかがでしょうか。
2. 同じように、老人達の為、安寧に成仏出来る祈の日を造らねてはいかがでしょうか。

3. 地域の観光旅行会社とタイアップして、有名寺院の観光をバス旅行として企画されてはいかがでしょうか。

4. 防災拠点として適地であれば、食料品、水、自家発電機等の備蓄をされ、地域の人々に提供されたらいかがでしょうか。

5. 発表の場の少ない学生さんや趣味家の発表の場の提供

6. 老人達の交歓の場として、ラジオ体操や講演会などの会場の提供

7. 地産品の販売の場として朝市など

8. 市町村の粗大ゴミから良品を選び、保持して

いる市町村のリサイクル品の販売の場を提供する
9. 遊地の図書館の場を作る。

以上の様な事を思いつきました。お役に立てれば幸いです。

家族葬がふえたり、お葬式をしない方が増えたり、最近ではお坊さんもいない、自分で吹き込んだお経を流した、お葬式もメディアでとりあげられていました。

日蓮上人様が切り開いてくださった法華経をもっとひろめたい、また仏教を身近に感じてもらいたいと願っています。そこで日常考えていること、これからやりたいことを書き出してみました。

1、お釈迦さまの日を盛大に！

クリスマスはご存じのように、イエス・キリストの生まれた日です。

この日はキリスト教ではない方も1年に一度のお楽しみ行事になっています。

そこで4月8日を和菓子屋さんとタイアップして、大々的にイベントに育て上げます。

桜の開花と重なるので、桜のイメージのお菓子を作ったり、また若い人に感心をもってもらうためにアニメやコスプレの退会を開いたり。

お釈迦さまのかわいいグッズや日蓮上人のグッズを開発したり、楽しいイベントになるよう小物でも盛り上げます。

2、結婚コンシェルジュ養成

「寺院での結婚は福と御利益のもと！！」

ファミリー結婚など、家族だけの結婚式から町をあげての結婚式まで。

結婚式場で結婚式をすると特定の方にしか、花嫁衣装や幸せの姿を見て頂けませんが、お寺で結婚式をするとまわりの方や檀家さん、町の方にも見て頂けるので、とっても印象深い式になるはず。

お寺で結婚式を行えることを広くアピールして、葬式だけではないイメージを抱いてもらうねらいがあります。

日蓮宗公認結婚コンシェルジュを養成し、さまざまなお寺に派遣する。

もちろん寺族がその資格をとっても良いのです。

それによってお寺には縁がないと思っている若い方々にもきていただけるのです。

私自身もお寺で式を挙げて頂きましたが、とても良い思い出に残っています。

3、寺で葬儀を執り行う

「ご葬儀をお寺の力にしよう」

葬儀は今やホールでやるのがほとんどです。

亡くなると寺よりもまず、葬儀会社に相談する方がほとんどです。

そこでは人が亡くなるということがベルトコンベアーのように、

亡くなられた方との思い出を味わうことよりも式が無事おわることに終始しているようです。

昔のように、家でお通夜をしたら、在りし日の故人をより思い出すでしょう。

ご葬儀もお寺ですることによる、メリットもたくさんあるでしょう。

まず祭壇がそのまま使えるということです。

他にも檀家さまの負担が少なくなることがあるのではないのでしょうか？

お寺に葬儀をとりもどしたら、お寺の存在価値もグッとアップするでしょう。

4、寺の駅

「道の駅ならぬ、寺の駅」

その寺の檀家さんのなかで、自慢の品やそこにしかないものを作っている方をネットで紹介する。草の根的な細かい情報はお寺さんやご住職ならではのもの。

宗務院のホームページから全国の寺院を紹介するとともに、檀家様のネットワークを広げること、一般の方も日蓮宗に興味をもってくれるのではないでしょか？

見て楽しいホームページなら宗教に縁のない人との縁をつなぐことができます。

5、会社の里親になる

―社会とより絆を強めていくためにできること―

悲しいことに

自殺する方は戦後3度目のピークに達している。

また女性より男性の方が、圧倒的に多いという。

自殺の理由は「健康的な理由」が第一。

次に不況などによる「経済的理由」があげられるとのことです。

理由は様々あるけれど、どんな困難にも立ち向かう心を育てることが解決につながるのではないのでしょうか？

それらの理由から自殺者を救うのは、これからは「寺」や「僧侶」で合って欲しいと願います。

たとえば、1年に何度か、お寺に行く日を会社ごとにつくってもらう。

スケジュールの例

朝のお勤め、清掃、昼（精進料理）、写経、法話、などなど。

会社と相互に協力することによって、檀家さんしか交流がないところのお寺も活性化する。

6. エコリサイクルの拠点になる。

①寺家発電しよう

原発の事故によって未曾有の大災難がおきました。

日蓮上人様のご覚悟にははるかに及ばないながらも、さらなる意識の向上が望まれます。

同じ人災を繰り返さないためにも、原発の勉強やクリーンエネルギーの推進が必要不可欠だと思います。

身近なところからいえば電気をなるべく使わないようにするなど、できることはたくさんあるでしょう。

先日NHKで太陽光照明をとりあげていました。お寺は電気の消費量も多いと思いますので、クリーンエネルギーを率先して実行することにより、お寺への尊敬と親密さはますますでしょう。

資料添付

②リサイクルをお寺から

比較的広い敷地があればそれを利用して、フリーマーケットや衣類交換会、食器の交換会など行くと、社会に貢献できます。

ソーラーカーや廃油で走る車なども寺家用車にするなども考えられます。

お寺ワールドを広げよう！！		52 才	女性
NO.172	P3	同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／会場提供／置場提供／土地を貸す／販売コーナー／まつり型イベント／キャラもの	
			⇒ジャンルへ

またお寺にあげていただく果物かごはプラスチック製で使い捨てられている現状です。
それをリサイクルにして、循環するなど、お寺からエネルギーの啓蒙をはかる。

7, 親族を亡くした方を心理的かつ具体的にサポートする日

親族たとえばお子様を亡くされた方はその悲しみをずっとかかえていらっしゃいます。
時には必要以上にご自分を責めたり、そのために離婚したり、さまざまな問題を抱えていらっしゃいます。

お経を唱え冥福を祈りましょう。と言葉で伝えてもなかなかむずかしいのではないのでしょうか？
そういう方たちのために、

「お子様を亡くされた方の親の会」

「パートナーを亡くされた方の会」

など作って参加者みんなと一緒に悩み、話を聞いてあげるとそれだけでとても楽になると思います。

お坊様の経験を最大限活かして、心理カウンセラーの役割を担います。

こころが軽くなる認知行動療法 → <http://www.cbtjp.net/>

などを取り入れると、有効であるようです。

このように具体的に助けるためには、毎月の勉強会をかさねていくことが望ましいと思います。

7, その他

食べるものの大事さ。

ジャンクなものやインスタントのものがたくさん生活に入り込んでいますが、そういうものを常食していると、いわゆる「きれやすい」子供たちにつながることもあるそうです。

お袋の味がおいしいのは我が子のためにつくる。愛情の気持ちがいっているからです。

そういうものなしに育った子供たちは自分の子供ができて愛することができないでしょう。

やはり食べるものは大事だとおもいます。

私の地区では毎年2回、「お寺参り」という行事がありますが、なるべく手をかけて、食育的な啓蒙をしています。

お出ししたお料理のレシピをお配りして、家でも作って頂けるようにしました。

またお料理教室やヨガ教室も開催し、檀家様や一般の方にも開かれた寺院をめざしております。

年中行事 ペット供養 避難訓練 剣道 諸道 そば教室ほか			39 才	女性
NO.177	P1	同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／土地を貸す／一般年中行事／仏教年中行事／本格経営		
				⇒ジャンルへ

- ・お寺の行事
- ・年中行事に参加 1月～12月迄。
- ① 第1分 豆まき
 - のり巻作り 一般の人たちがのり巻を作る(恵方巻)
 - (みんなで作って、いけどき、おれどき(持ち帰って。))
- 3月 雛祭 つま雛飾りの作り方を学ぶ。
- つま雛の中に願いを書いて、つやす。
- 4月 おしゃや葉の誕生を学ぶ。
- 和芝居で一生を見せ、後で「みんなで」カレーを食べる。
- お寺で作る。みんなで「持ち帰る」。
- 5月 こどもの日 → みんなで「魚」を作ってふるまえる。 子どもの作り方を学ぶ。
- 7月 セタ → みんなで「おかし」を作る。 その中で「お寺のそと」。
- 9月 十五夜 } 農作物などに感謝
- 10月 十三夜 } すきとすき等の和とおまんこを食べる。
- 12月 忘年会 → 年に1度 背負ったものを忘れる日
- つかない暮らしを願い、人並みに悩みや苦しめ、悲しみを和らげ、毎日を生きている。
- ★ 中には、大切な家族を病気や事故等で「なくし、深い悲しみの中で、誰にも話す人もいない方もいます。
- 動物を亡くした方もハートロスで「なかなか、落ち込んで、なかなか、元の毎日にもどすのは、たいへんなことです。
- (動物の法要をする。人間も宗教関係なく。)
- 手を合わせると持ちか、一緒だもん。
- ★ ストレス解消法 → 各地に人に聞く、落ち込んだときにも、
- 「お寺」にリフレッシュ出来るかも知れません。
- ★ 地震の避難訓練
- 実際は、そのようにいかなくても 日頃、やっていけば、体が動くから。
- お寺は、広いお庭だから。
- ★ 剣道教室
- ★ 書道教室 → 心をみかへく。今の気持ちを題材にする。
- ★ 日曜日の朝 美しい音楽とコーヒータイム
- 午前10:00～正午くらい
- ★ 1週間ごと、1箇月ごと。
- 「何か今までは」謝辞にきたものを、心を込めて贈る。
- 過去のものでも。
- ★ そば教室
- 出来上がった、仏様にめしあげて、いただき、その後、私たちがいただく。
- ★ お寺めぐりなど。 フリーマーケット・お祭りなど。
- 歴史を学ぶ。

行けば、ご縁と笑顔がある		41才	女性
NO.180	P1	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

地域社会のためのお寺の活用アイデア

(1) タイトル「行けば、ご縁と笑顔がある」

概要「目標は、お寺は、誰でも立ち寄り受け入れてくれる場所として認識してもらう。目的は、1年後、地域の皆さんで行事をよりいいものに作り替え、自分達の手で『わくわくカレンダー』を創り、継続していく」



(2) アイデアのコンセプト「全国のお寺どこでも、どのお坊さんでも低予算ででき、お坊さんも楽しめる」



参考資料の留意点

- 日付、費用、内容、名称等は、自由に変更可能
- 初めは馴染みがある行事から行っていき、お寺に慣れて頂く
- お寺の仕事や自分に差し支えない範囲で行う
- もし可能であれば、行事に「説法」の時間を取り入れる
- お寺やスタッフの方は、「笑顔」と「元気な挨拶」で迎える
- 別紙のカレンダーは、インターネットから無料ダウンロードのため、自分達で作成できる

行けば、ご縁と笑顔がある		41 才	女性
NO.180	P2	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

通年

クリーン・アップ(清掃活動)

第3土曜日 毎月1回。掃除は作務(さむ)の一つで「塵を払い、垢を除く」ことで心(自己)も磨くことにつながる

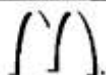


- お寺の役割: 行事の主催。作務(さむ)に関する説法を説く
- 費用: 無料
- 用意するもの
 - ほうき
 - ちりとり
 - トング
 - ごみ袋
- 必要なこと: 出勤の記録、管理

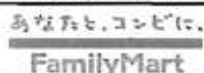
【協力企業】

お近くの店舗もしくは企業の CRS 担当まで、直接お問い合わせ願います。企業によっては、清掃終了後、飲み物を提供して頂ける場合もあるかも。

マクドナルド



ファミリーマート



ドコモ



スターバックス



JT



アルミ缶の値段

アルミ缶



100円/1g

- 洗う必要はありません。
- 缶の形状は、丸缶のままでも潰しても結構です。

《重さの目安》

45Lのゴミ袋に一杯詰めたとして

・丸缶の状態で 約1.5kg

・潰した状態で 約3kg

※スチール缶は買取出来ませんが、無料回収致します。



アルミ缶のタブだけを集めると何かもらえるってホント？

「アルミ缶のタブ(とって)を集めると車輪子がもらえるという話がありますか、どこへ持参したらいいですか？」という問い合わせがありますが、当協会では、そのような事業に関係していません。下記の理由により、タブだけを集めるような事は賛成していません。

理由①タブを無様に取り外そうとするとケガをする恐れがあります。

理由②アルミは重量で取り扱われるので、タブだけを集めるより「アルミ製丸ごと」集めたほうが何十倍もリサイクル価値があります。

理由③タブだけを集めるのは、協会、コンビニから、コダレ様になります。

タブを取り外してアルミ製丸ごとリサイクルした方が安全で効率的です。もし、知り合いにタブだけを集めている方がいたら、アルミ缶そのものをリサイクルするようすすめてみてください。

出所: アルミ缶 リサイクル協会

レンタル・サイクル(観光用)

毎日
または土日

お寺の駐車場を利用し、地元の自治体へ協力し、観光へ貢献する。また、観光客も自然と来てくれる



- お寺の役割: 駐車場の提供
- 費用: 無料もしくは有料(自治体による)
- 用意するもの
 - なし

⇒ジャンルへ

お取り寄せ会

毎月1回。ネットから皆の人気の高いお取り寄せを取り寄せ、皆でワイワイ楽しく頂く。家族のみでは送料がかかる、食べきれない、けど、食べたいという要望を満たす



- お寺の役割: 行事の主催。場所の提供
- 費用: 有料(実費を参加者人数で割り勘)
- 用意するもの
 - PC
 - お茶
 - 紙皿、紙コップ(持参でもOK)

コーラス、演奏、バンドをされる方に練習の場を提供



- お寺の役割: 場所の提供
- 費用: 有料(1 時間 1,000 円)
- 用意するもの
— なし

お寺の掲示板の一部を利用し、下記を通じて、物を大切にし、ご縁を結ぶ



- お寺の役割: 掲示板の提供
- 費用: 無料もしくは有料(1枚 50円)
- 用意するもの
— 掲示板

※責任は、当事者間で取る

- 94

行けば、ご縁と笑顔がある

41 才

女性

NO.180

P4

修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力

[⇒ジャンルへ](#)

1 月

七草がゆ

7 日

一年の無病息災を願って食べる。御節料理で疲れた胃を休める



- お寺の役割: 行事の主催。会場の提供
- 費用: 有料(材料費+水道代 50~100 円)
 - お茶碗、箸は、エコ推進のため持参
- 用意するもの
 - 下記の材料
 - 調理なべ(参加者の家庭から借りる等)
 - 割り箸(忘れた方用。参加者からの寄付)
 - 台所スポンジ(参加者からの寄付)

材料(4人分)

米	1 合(180ml)
七草	適量
塩	少々
白ごま	適量
黒ごま	適量

作り方

1. 米はといで、水900mlとともに土鍋に入れて、沸騰したら弱火にし30~40分ほど炊く。途中ふきこぼれそうになったら、ふたをずらして蒸気を逃がす。
2. 七草は細かく刻む。
3. おかゆが炊きあがる5分前に、塩少々をふり入れて七草全体に混ぜる。器に盛って白ごま、黒ごまをふる。



セリ



ナズナ



ゴギョウ



ハコベラ



ホトケノザ



スズナ



スズシロ

出所: キッコーマン株式会社

成人の日

第 2 月曜日 大人になったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます



- お寺の役割: 着付けの場所として提供(美容室は狭いのと、着付けは広い場所が必要なため)
- 費用: 有料(人件費+会場代 500~1,000 円)
 - 着付けのみ。着付けに必要なものは持参
- 用意するもの
 - 着付けができる方
 - タオル(雨・雪だった場合に濡れた箇所を拭うため)

行けば、ご縁と笑顔がある

41 才

女性

NO.180

P5

修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力

[⇒ジャンルへ](#)

2 月

豆まき

3 日

春が来る季節の変わり目に豆を撒いて邪気を追い払い、無病息災を願う風習



- お寺の役割: 行事の主催。会場の提供
- 費用: 無料(毎年無料で行っていると思われるため)
- 用意するもの
 - 鬼のお面
 - 福豆
 - みかん
 - 袴(着衣しなくても OK)

恵方巻き

3 日

節分の夜にその年の恵方に向かって目を閉じて一言も喋らず、願い事を思い浮かべながら太巻きを丸かじり(丸かぶり)するのが習わし



- お寺の役割: 行事の主催。会場の提供
- 費用: 有料(材料費＋水道代 50～100 円)
- 用意するもの
 - 下記の材料(参加者に具を一部分づつ調理、持参してもらい、お寺では巻くのみ)
 - 巻きすも持参
 - 濡れタオル(お手吹き用)

材料(2人分)

ご飯(温かいもの)	2カップ
かんぴょう	約50cm
生しいたけ	3枚
卵焼き(市販)	80g
かに風味かまぼこ	3本
きゅうり	1/2本
焼きたまご(Ａ)	2枚
酢	大さじ1と1/3
砂糖	小さじ2
塩	少々
きゅうり(Ｂ)	大さじ2
水	大さじ4

作り方

1. ご飯に(Ａ)の合わせ酢を加え混ぜる。
2. かんぴょうは塩少々(分量外)をまぶしてもみ、水洗いし、2等分して熱湯で5分ゆでる。
3. 生しいたけは軸を切る。
4. なべにご飯をぎった(2)、(3)、(Ｂ)を入れて中火で煮て味を含ませる。生しいたけは薄切りにし、かんぴょうとともにご飯をきる。
5. 卵焼きは1cm角の棒状に切る。
6. きゅうりは縦半分に切り、さらに縦4～6つ切りにする。
7. 巻きすにのりをおき、(1)を平らに広げる。のりの手前1cm、奥3cmは、ご飯を広げず、残しておく。
8. ご飯の中央に、しいたけ、かに風味かまぼこ、かんぴょう、卵焼き、きゅうりの順に並べる。
9. 具が動かないように指でかるく押さえながら、巻きすごとくまりと巻く。

2012 年の恵方の方向は、おおよそ北北西(北微西。北北西やや右)正確には壬



出典: キッコーマン株式会社

行けば、ご縁と笑顔がある		41 才	女性
NO.180	P6	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

3 月

ひな祭り

3 日

赤ちゃん・子どもの健やかな成長と厄除けを願う行事

※2 月、節分、立春を過ぎた大安、友引に飾り、3 月 3 日夕方から片付け



- お寺の役割: 行事の主催。会場の提供(各家にある雛人形をまとめて飾る場として提供)
- 費用: 有料(ひなあられ代 50~100 円+甘酒 100 円)
- 用意するもの
 - 雛人形(もし、お寺にあればそちらを飾る)
 - ひなあられ
 - 甘酒

【Q&A】

- 左大臣が右で、右大臣が左なのはなぜ？
雛人形は、お内裏様とお雛様に対して、それ以下の段にいる人たちが向き合った設定になっています。つまり、お内裏様、お雛様以外の人たちは実際と左右が逆になっているのです。
- 白い顔の人と赤い顔の人がいるのはなぜ？
位の高い貴族は、男性でも化粧をしていたので、白い顔をしています。泣き上戸の顔が白いのは、お化粧をしているからではなく、顔色が悪いため。
- お雛様は何歳？
お雛様のお顔は、18 歳のときの顔で作られています。最近人気のある木目込み人形の雛人形は、赤ちゃんや子どもの顔で作られているので、雰囲気はかなり違いますね。
- お内裏様が持っているものは何？
お内裏様が手に持っているものは「笏(しゃく)」と言い、朝廷の式次第を書いた台本のことです。
- お道具は何を意味しているの？
鏡台や茶道具、重箱などのお道具は、結納の品です。余談ですが、雛人形にはお道具や飾り物が多く、しもうときにわからなくなってしまうことも多いので、飾る前に収納時の写真を撮っておくと、片付けるときにどれがどの箱なのかわかるのでおすすめです。
- 雛人形の雛壇が赤い理由は？
赤は血の色。神社の鳥居が赤いのと同じく、魔よけの意味があります。そのため、雛人形の雛壇には赤い毛氈を敷くのです。
- 立ち雛はなぜお道具がないの？
お道具や飾りのたくさんあるお雛様と比べて、お道具がない立ち雛。これは、お内裏様とお雛様が表を歩いている設定のためです。

出所: All About 田中 梨香さん

行けば、ご縁と笑顔がある

41才

女性

NO.180

P7

修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力

[⇒ジャンルへ](#)

3月

東日本大震災供養のための写経

11日

または土・日

東日本大震災の犠牲者を供養するため、般若心経を写経する



- お寺の役割: 行事の主催。会場の提供
- 費用: 無料もしくは有料(500～1,000円)
郵送料(山形県へ送付する場合のみ)
- 用意するもの
 - 左の見本(BA)
 - 筆(筆ペンでも代用可能)
 - 墨
 - 紙
 - 机
 - 座布団
 - 封筒(山形県へ送付する場合のみ)

【一萬の祈り】

2011年10月9日、計1万2,463枚の写経を山形県の月山の経塚へ山伏らによって埋設しました。2012年も9月か10月に実施予定です。写経にご協力頂ける場合は、写経の郵送先を教示致します。また、お坊さんや参加者の方々が写経を動行し、月山の頂上まで運んで頂くことも可能です。(宿坊は用意させて頂きませんが、交通費、宿泊費等全て自費となります。お布施等で集められてもよろしいかと思います)。なかなかお寺から離れられないお坊さんにとって、出かける機会となり、他のお坊さんとものご縁も結ばれるきっかけになれば幸いです。ちなみに、月山は映画「おくりびと」の舞台になったところでもあり、「死と再生の聖なる山」と崇められています。

月山山頂に震災の犠牲者供養の経塚建立

山形新聞

Yamagata News Online

2011年10月09日 21:51

東日本大震災の犠牲者を供養しようと、庄内と内陸にまたがる月山(1984メートル)山頂に9日、経塚が建立された。全国各地や海外から寄せられた1万枚を超える般若心経の写経を、それぞれに込められた思いとともに霊峰の頂に収めた。

出羽三山の主峰月山は古来、死者の霊が集まる場所とされている。犠牲者を供養するとともに、震災の教訓を後世に伝えようと、羽黒山伏らで実行委員会(星野文雄委員長)を組織し、5月から写経を募り始めた。海外の26カ国からも約3800枚が寄せられ、先月中旬に目標の1万枚を突破。計1万2463枚が集まり、山伏たちが動行で一枚一枚を読み上げた。

この日朝、実行委員会のメンバーら約20人が手分けして写経を背負い、鶴岡市側の合目を出発。午前11時ごろ山頂に到着した一行は、月山神社裏に設けられた塚に写経を埋め、建立祭を行った。澄み渡る青空の下、山伏たちが一心に祝詞を唱え、犠牲者の冥福と被災地の一日も早い復興を祈っていた。星野委員長は「犠牲者の魂が集まる場所で、供養とともに復興祈願への思いを発信していくことが重要だと思う」と経塚への思いを語っていた。



完成した経塚の前で、震災犠牲者の冥福や被災地の復興を祈る山伏たち。月山山頂



出所:「山形新聞」、映画「おくりびと」



行けば、ご縁と笑顔がある

41才

女性

NO.180

P8

修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力

[⇒ジャンルへ](#)

4月

子ども110番

入学式後の
中旬

児童等が助けを求めることができる民間協力の拠点「子ども110番」の人や場所(施設)の把握

子ども110番のいえ

助けを求めたことがあったときは
ここに助けを求めましょう



小平市立
小・中学校
小・中 携



- お寺の役割: 行事の主催。「子ども110番」への参加により地域の安全に貢献。登録は、各自治体、最寄りの警察署にご相談下さい
- 費用: ステッカーは無料配布(※地域で定着しているマークを使用)
- 用意するもの
— 「子ども110番」の地図があれば、それを配布。なければ独自に作成(コピーは学校へ依頼)
- 協力者: 学校、PTA、警察、駅、タクシー、「子ども110番」のいえの方

小学生6年生が入園・入学した子供を連れて、「子ども110番」の家、お店、駅、タクシー、お寺を巡り、人や場所(施設)を把握

【例】

平成19年(2007年)7月

東丘小学校 安心・安全マップ

図	説 明
①	メジロ千手D33~D7 2号車 3A41~44 アール・シー・エフ
②	バー・イン・ザ・ビル
③	ウオ・メジロ
④	東丘A32~A36 スチール・ライフ
⑤	ローレルコートあかしやの庄
⑥	東丘1~50
⑦	東丘11~131
⑧	東丘メジロ・イン・ザ・ビル (1~4番線)
⑨	東丘メジロ・イン・ザ・ビル (5~7番線)
⑩	東丘C1~C30



出所: 沼中市新千原町

⇒ジャンルへ

行けば、ご縁と笑顔がある

41才

女性

NO.180

P10

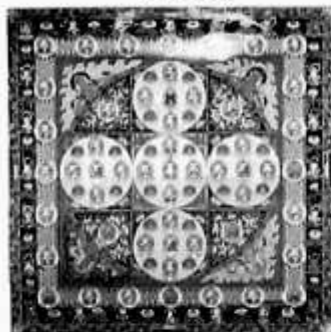
修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力

[⇒ジャンルへ](#)

6月

曼荼羅(まんだら)づくり

仏教の世界観を表現した絵画「曼荼羅」を自分で作成することにより、仏教への理解を促す。給食の牛乳瓶のふたの裏を利用し、仏様の画像を貼るか梵字を書く。子供は、夏休みの自由課題として提出できる



※金剛界曼荼羅(あくまでも例です)



牛乳瓶のふたで作成するためエコ

■ お寺の役割: 行事の主催。曼荼羅の配置図と説明

■ 費用: 無料(できれば)

■ 用意するもの

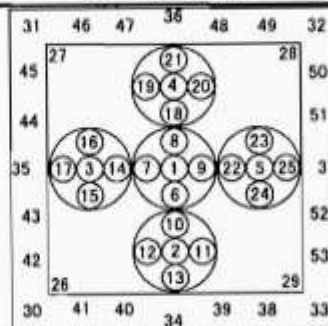
- 給食の牛乳瓶のふた
- 各仏様の画像
- のり
- 下図のような配置図
- 背景のための厚紙もしくは画用紙。自由に絵を描いてもらう
- 梵字の場合は、筆、墨が必要

少ない(4~8)場合



1人で作成可能

多い(53)場合



5つの円、外側、背景の絵など、作成パーツ分けて、クラスみんなで作成

五仏	十六大菩薩	内の四供養菩薩	賢劫十六尊
1 大日	10 金剛薩埵	26 金剛嬉	38 弥勒
2 阿閼	11 金剛王	27 金剛鬘	39 不空見
3 宝生	12 金剛愛	28 金剛歌	40 滅惡趣
4 阿弥陀	13 金剛喜	29 金剛舞	41 除憂闇
5 不空成就	14 金剛宝	外の四供養菩薩	
四波羅蜜		30 金剛香	42 善象
6 薩埵金剛女	15 金剛光	31 金剛華	43 大精進
7 宝金剛女	16 金剛幢	32 金剛燈	44 虚空蔵
8 法金剛女	17 金剛笑	33 金剛塗	45 智幢
9 業金剛女	18 金剛法	34 金剛鈎	46 無量光
	19 金剛利	35 金剛索	47 月光
	20 金剛因	36 金剛鐺	48 賢護
	21 金剛語	37 金剛鈴	49 光網
	22 金剛業		50 金剛藏
	23 金剛護		51 無尽慧
	24 金剛牙		52 弁積
	25 金剛拳		53 普賢

出所: 金剛界曼荼羅 <http://www.igoch.co.jp/html/igmethod/new/mandala/kongo/index.htm>

行けば、ご縁と笑顔がある		41 才	女性
NO.180	P11	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

7 月

石文(いしぶみ)

土・日

石文(いしぶみ)とは、人が言葉を持たなかったころ、自分の想いを相手に伝えるために、石を渡した。もらった人は、その石で、相手の感情を読み取る。親子、友達、初めてあった人などで手軽に楽しめる






出所:映画「おくりびと」



- お寺の役割: 行事の主催。相手を想う大切さを説く
- 費用: 無料
- 用意するもの
 - 石
- 必要なこと: 石がある所への移動(川、山、公園等)

※図書館で映画「おくりびと」の DVD を借り、図書館や区・市民館でご覧になるか、プロジェクターを借りられれば、お寺での上映後に実行されることが望ましい

7 月 27 日～
8 月 12 日

ロンドン・オリンピックが開催される。なでしこジャパンを皆で楽しんで応援しよう!




- お寺の役割: 行事の主催。会場とテレビの提供
- 費用: 無料
- 用意するもの
 - テレビ
- 必要なこと: お知らせ

試合開催日

野球、サッカーの日本シリーズを皆で楽しんで応援しよう!




- お寺の役割: 行事の主催。会場とテレビの提供
- 費用: 無料
- 用意するもの
 - テレビ
- 必要なこと: お知らせ

NO.180	P12	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力	⇒ジャンルへ
--------	-----	---	--------

7月

家紋

土・日

家紋から自分のルーツを知る。お墓の家紋を調べるために、お墓参りすることを促し、お墓参りの作法を知り、先祖に想いを寄せることの大切さに気づいてもらう

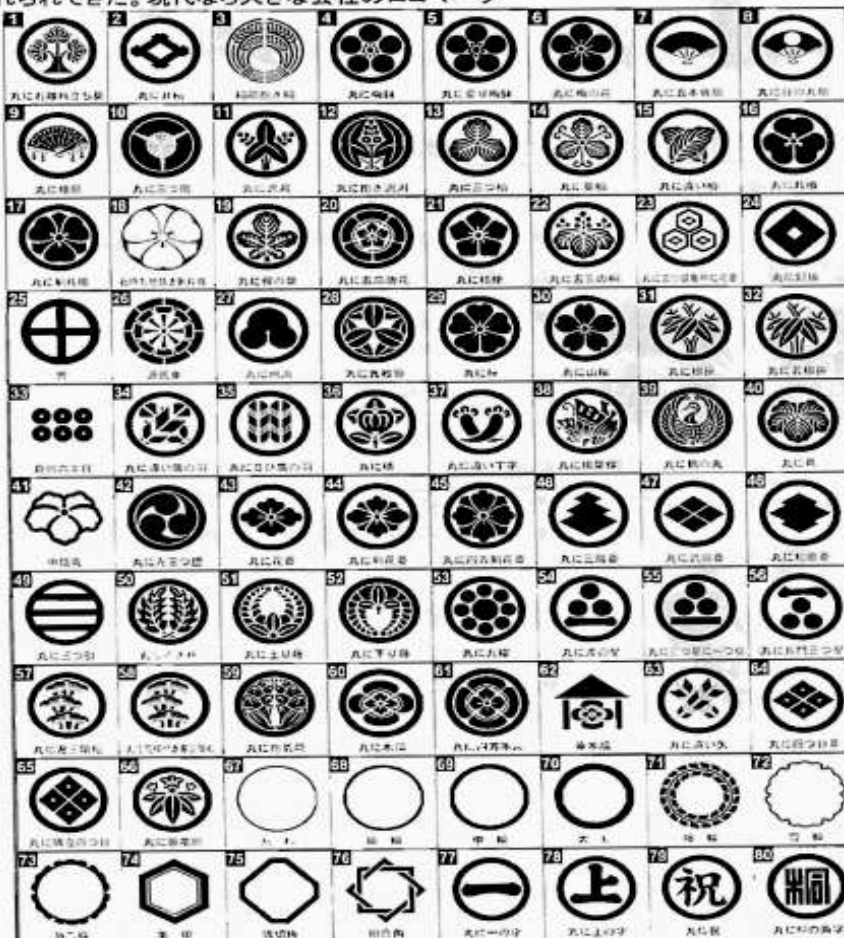


丸に三つ葵(まるにみつあおい)
徳川家の紋。ドラマ水戸黄門の印籠にも使用

- お寺の役割: 行事の主催。家紋の由来やそれぞれ意味を説明。またお墓参りの作法を教え、先祖供養の大切さを説く
- 費用: 無料もしくは有料(コピー代など実費のみ)
- 用意するもの
— 家紋の一覧表
- 必要なこと: 自分のお墓の家紋を調べる

【家紋】

およそ2万点あり、家系・血統・家柄・地位といった自分の出自を表すために、平安時代頃から使われてきた紋章のこと。読み書きができない人でも一目で見分けることのできるため、衣服や調度品など、生活の様々な場面で取り入れられてきた。現代なら大きな会社のロゴマーク



出所: 家紋一覽表 (<http://www.cats-eye.co.jp/koinobori/kamon.htm>)

行けば、ご縁と笑顔がある		41 才	女性
NO.180	P13	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

8 月

お盆のためお休み

15 日 本業が忙しいと思われるため、お休み
※旧暦、新暦で 7 月の地方もあります。適宜、ご調整ください。

時間的な余裕がありましたら・・・

お盆の風習

土・日 地元の風習のやり方をまとめた用紙を配布もしくは掲示板に掲示



「精霊馬」(しょうりょううま)

故人の靈魂がこの世とあの世を行き来するための乗り物

- お寺の役割: 先祖供養の大切さを説く
- 費用: 無料
- 用意するもの
— 地元の風習のやり方をまとめた用紙の作成

釜蓋朔日



1 日を釜蓋朔日(かまがたついでち)といい、地獄の釜の蓋が開く日であり一般的に 1 日からお盆である。この日を境に墓参などして、ご先祖様等をお迎えし始める。地域によっては山や川より里へ通じる道の草刈りをするが、これは故人が山や川に居るという文化に則り、その彼岸からお還りになる故人が通りやすいように行う。また、地域によっては言い伝えて『地獄の釜の開く時期は、池や川などの水源にはむやみに近付いてはならない』というものもある

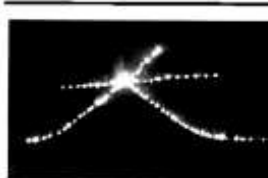
出所: ウィキペディア

迎え火



13 日夕刻の野火を迎え火(むかえび)と呼ぶ。以後、精霊棚の故人へ色々なお供え物をする。地方によっては、「留守参り」をすることもある。留守参りとは、故人がいない墓に行き掃除などをすることをいう。御招霊など大がかりな迎え火も行われる

送り火



16 日の野火を送り火(おくりび)と呼ぶ。京都の五山送り火が有名である。15 日に送り火を行うところも多い

初盆・新盆



人が亡くなり 49 日法要が終わってから次に迎える最初のお盆を特に初盆(はつぽん)または新盆(しんぽん、にいぽん、あらぽん)と呼び、特に厚く供養する風習がある。これも地方によって異なるが、初盆の家の人は門口や仏壇、お墓に白一色の盆提灯を立てたり、初盆の家の人にそういった提灯を贈ったりして特別の儀礼を行ない、また初盆以外の時には、模様のある盆提灯やお墓には白と赤の色が入った提灯を立てたりする

9月

防災訓練

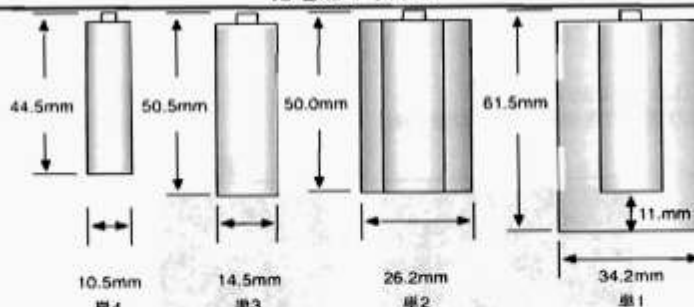
1日 大震災についての認識を深め、対処する心構えを準備する。今回は、非常用電池の作り方を学ぶ
または土・日



※あくまでも「緊急用のアイデア」です

- お寺の役割: 行事の主催。大震災への実用的な備えを教える
- 費用: 無料もしくは有料(コピー代など実費のみ)
- 用意するもの
 - 単3乾電池(参加者の持参)
 - A4用紙(チラシでも印刷されていてもOK)
 - 1円玉8枚、アルミホイル、パチンコ玉
 - はさみ
 - 作成手順を記載した用紙

乾電池のサイズ



A4用紙



A4用紙は297×210なので二つ折りにして、1円玉の大きさ(20ミリ)だけずらして四つ折りにし、はみ出た分を切り落とすと紙の幅は42.5ミリになる。これを2枚分巻くとだいたい単2電池と同じサイズになる。

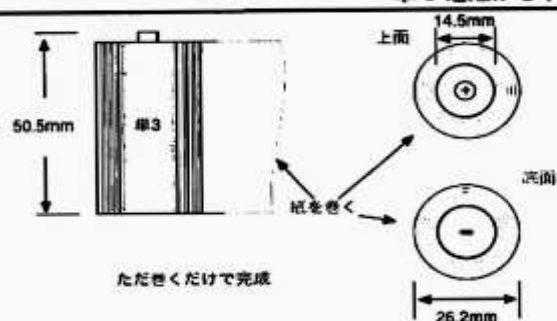
なお、あまりいい加減に巻いたり、実際の単2電池の直径(26.2ミリ)より太くなってしまうと懐中電灯などだと取り出せなくなるので注意。また、巻き始めを電池にセロテープで固定してしまうと後から電池が抜けなくなりますので固定しないように。(スペーサーは使い回せるため)

A4用紙は297×210なので縦長に四つ折りにすると幅が52.5ミリになる。

単3電池の下に(別に上でも良いが)パチンコ玉を挟んだ状態で紙(5枚分)を適当に巻き付けると緊急仕様の単1電池のできあがり。

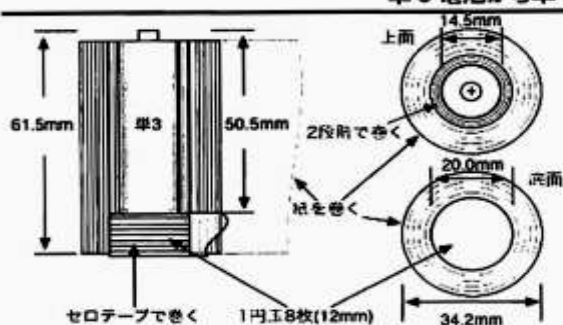
紙幅が若干狭い方が電極に干渉しないので良い。逆に紙がはみ出ていると電極が正しく接触しないなどの問題が出る。

単 3 電池から単 2 電池を作る方法



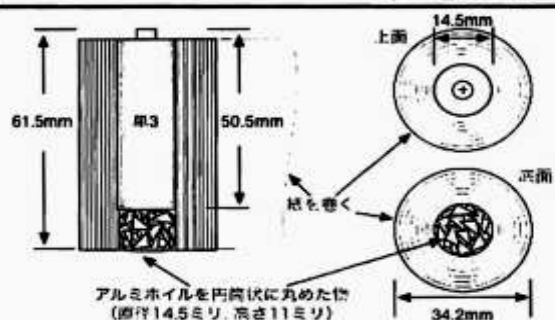
単 3 と単 2 は長さが(ほぼ)同じなので、紙などを巻い
 て 14.5mm を 26.2mm にまで太らせればよい。
 巻き方は各自で工夫するように

単 3 電池から単 1 電池を作る方法①



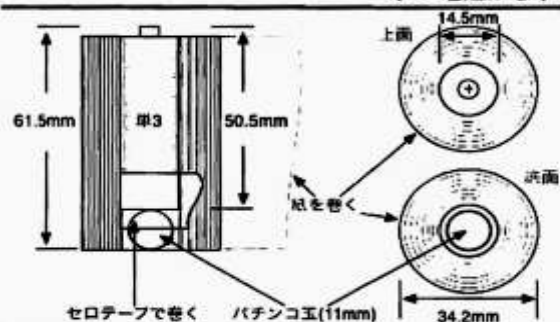
1 円玉を 8 枚(12mm)をセロテープなどで固定し、紙な
 どを巻いて 14.5mm を 34.2mm にまで太らせればよ
 い。
 巻き方は各自で工夫するように
 ※なおこれは貨幣損壊には該当しない

単 3 電池から単 1 電池を作る方法②



アルミホイルを円筒状(電池と同じ太さ、高さ 11 ミリ)に
 固く丸めてゲタにし、電池と共に紙などを巻いて 14.5 ミ
 リを 34.2 ミリにまで太らせればよい。
 巻き方は各自で工夫するように

単 3 電池から単 1 電池を作る方法③



パチンコ玉(11mm)をセロテープなどで固定し、紙などを
 巻いて 14.5mm を 34.2mm にまで太らせればよい。
 巻き方は各自で工夫するように

行けば、ご縁と笑顔がある

41 才

女性

NO.180

P16

修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力

[⇒ジャンルへ](#)

10 月

終活(しゅうかつ)

いつでも 「人生の終わりのための活動」の略。人生の最期を自分の望むように準備することで、例えば葬儀の
または土・日 内容やお墓のことを事前に決めておく、遺産相続を円滑に進められるための計画を立てておく



- お寺の役割: 行事の主催。終活を通じて、死や人生を見つめなおす機会を提供
- 費用: 無料もしくは有料(テキスト代など実費のみ)
- 用意するもの
— テキストやパンフレット(葬儀、お墓、遺産相続、仏壇)
- 協力者: 知り合いの葬儀屋さん、墓石屋さん、司法書士、お仏壇のはせがわ等

【終活の本】

遺言・葬儀・相続の
すべてがわかる本



いざ、というときのために知
っておきたい大切なことが図
解を見て簡単に理解でき
る！「終活」を始めたい方に
も最適!!

おひとりさまの終活



自分らしい老後と最後の準備

葬式は必要!



最期の儀式に迷う日本人のた
めに

わたしの葬式自分のお墓



よりよく今を生きるために、人
生の最後を考える終活マニ
アル

【お仏壇のはせがわ】

△ はせがわ 祈り・供養・感謝

☎0120-558-594

365日24時間対応致します。

※サービスは、現在 1 都 7 県(東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、茨城県、群馬県、栃木県、山梨県)にお住まいの方に限らせていただいております。

お仏壇・お墓についてのお問い合わせ 受付時間 10:00～18:00 不定休

東日本 **☎ 0120-11-7676** 西日本 **☎ 0120-76-3976**
フリーコール フリーコール

お葬式についてのお問い合わせ・ご相談 受付時間 24時間 365日

☎ 0120-558-594 ここは こくよう
フリーコール 東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、茨城県、
群馬県、栃木県、山梨県にお住まいの方に
限らせて頂いております。

出所: お仏壇のはせがわ(<http://sougi.kuyou.com/>)

行けば、ご縁と笑顔がある

41 才

女性

NO.180

P17

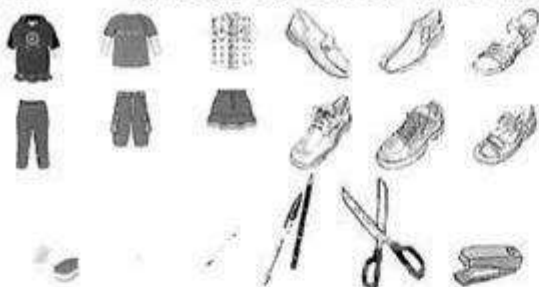
修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力

[⇒ジャンルへ](#)

11 月

エコ交換

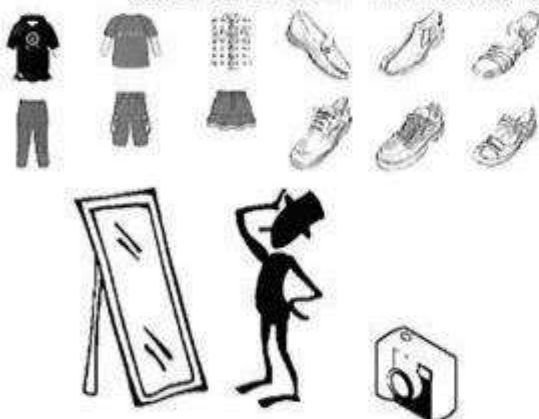
土・日 物々交換。リサイクルし、「もったいない」精神を育む



- お寺の役割: 行事の主催。場所の提供
- 費用: 無料
- 用意するもの
 - まだ使用可能な品物(洋服、靴、傘、文房具、CD、ゲーム、台所用品、タオル等、持ち帰るものに限定)
- 必要なこと: お知らせ

Re・コーディネート(リユース(Reuse・再使用)の「リ」)

土・日 タンスの肥やしになっている洋服やエコ交換で交換した服や靴などを洋服販売の方にコーディネート提案してもらい、リユース(再使用)する



- お寺の役割: 行事の主催。場所の提供
- 費用: 無料もしくは有料(洋服販売の方への謝礼)
- 用意するもの
 - タンスの肥やしになっている洋服
 - エコ交換で交換した服や靴
 - 鏡(ない場合は、携帯のカメラ撮影で確認)
 - 携帯もしくはデジカメ
- 必要なこと: 洋服販売の方(デパートや商店街の方)

12 月

クリーン・アップ(清掃活動)の慰労会

第 3 土曜日 毎月 1 回行っているクリーン・アップの方々の交流を持ち、皆勤者には景品を贈呈



- お寺の役割: 場所の提供、作務(さむ)に関する説法を説く
- 費用: 有料(飲食代など実費のみ)
- 用意するもの
 - 景品(区・市役所など、もしくは参加企業から寄付してもらう)
- 必要なこと: 出勤の記録、管理

その一
要約「寺の一部分に図書室を作って頂き、地域の皆さんに利用して頂く事です。」

避地の町村には図書館の無い所や、有っても遠方で利用しづらい地区が沢山あります。その様な所で寺院内に図書室を作って頂き、地域の皆さんに利用していただく場を、提供して頂きたいのです。

本は、地区の方々の不用のものや、寺や僧侶の皆さんの不用品を集め、用にあてるのです。当然、不足のジャンルも出てくると思います。

その様な本は全国的に古本のチェーン店「ブックオフ」を利用していたらいいと思います。どの店でも百円均一のコーナーが有り、なかなかの良い本も並んでいます。一般の古書店でも均一コーナーが有り、それ等を利用して頂ければいいと思います。

なお、収蔵書の三分の一ほどは、子供向けの絵本や児童書、それに赤ちゃん向けの料理・育児などの本や雑誌も用意して頂ければいいと思います。

図書が貸し出しなどの管理はボランティアの方や利用者の自主管理をお願いすると思っています。

いずれにせよ、実験的にまずは実施されてほしい。提案させて頂きました。

曾侶の方の趣味を利用した教室をと思っています。
 時に、無趣味の方の参加出来る「漢字教室」の場を
 設けて頂ければと思っています。

「漢字教室」は、雑誌「漢字王」や「漢字百選」など、市販で
 売っている漢字クロスワードを利用したもので、それ等の本をテキ
 ストとして、特定の日には集まって頂き、皆さんと共に
 解答を考えるサークルの場を提供して頂きたいです。
 テキストに使う漢字クロスワードなどは五百円前後で毎月売
 られていますので皆さん、同一のものを購入して頂き、暇な時に
 考え、不明な所を皆さんが集まる時に埋めて行くといった
 方法でやって頂き、解答用のハガキは十枚ほど雑誌に
 綴じられています。そして各自が送って頂ければ、いろいろ
 な賞品や現金、商品券が抽選で当たるといった楽しみが有リ
 ます。クロスワードの問題も初歩から超難問まで有ります。
 し、同時に、自選でもパズルを作る事をやってゆけば、
 いつ迄も続けられるサークルではないかと思っております。
 特に高齢者の方には良い趣味となり、ボケ防止の
 効果も有ると思っています。
 「漢字教室」を寺院内に作って頂き、地域の方々の
 交流の場とされてはと思ひ、提案させて頂きました。

その三

要約

「古衣料のリサイクル品を寺内の一部に置かれ、特定の日に皆様に利用して頂く場の提供をお願いしたいのです」

私の住む市では、月に二度ほど資源ゴミの回収があり、さすがに山積みにはされ棄てられる衣料が目につきます。中には新品も有ります。その様な状態ですから、古衣料の寄贈を地区の皆さんや、寺院の発行される機関紙や雑誌などで皆様のうらにお願ひすれば、沢山集まるのではないかと考えています。その中の良品も展示し、例えば十枚綴りのチケットを三百円とか五百円で買って頂き、一点が三十円、五十円で手に入れば、大変喜ばれると思います。まず、収入は、アルバイトの方の給金とし、又ボランティアの方の食事代などに使って頂き、残ったお金で地域の為に例えば年末に餅搗き、大会に使う頂くとか方法はいろいろ考えられます。

皆さんの協力の結果を公表されれば、一つの輪となり、寺の存在も大きく映るのではないかと思います。提案いたします。

その他に、《災害時、帰宅困難者の休憩の場の提供です。その様な場である事も、ポスターなどで明示し、周知されれば万一の場合に役立つのではないかと考えています。一つでも活用して頂ければ幸いです。

要約

「なでしこ寺」を造ってください。

「あじさい寺」「ぼたん寺」など 日本各地に苑の寺として知られた所が有りますが、「なでしこの寺」は聞いた事がありません。

それに「なでしこの名は聞いて知っているか、どんな花か知らない」そんな声も多く耳にします。

そこで花やガーデニング好きな住民さんの寺に境内の一角でも良いので「なでしこを群生させ地域の人人が見学に来られる様」育成させて頂きたいのです。出来れば一県に一寺以上を願っています。

これか今回の私の提案です。その他に「薬草の寺」や「香草の寺」なども良いのではと思っています。

『修業スタンプラリー』

いろんなお寺をまわり、
修業をしたりしてスタンプを集めていく。



お寺はたくさんあるけれど、行ったことのあるお寺は、ほんの少しだけどこにあるのが、かたてに入っているのがよく分からない。
でも、こんなスタンプブックがあったら、きっと楽しく、いろいろなお寺に行けるのになあと思って考えました。

スタンプブック



- ・県ごとに1さつ発売
- ・580円くらい
- ・首から下げられるヒモつき

1～2ページ目

ねがいごと	① おやくそく ・お寺でさわるな ・きちんとあいさつする ・かたてにさわらない
住所	
名前	

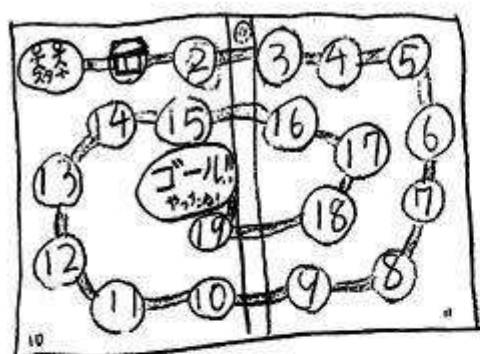
3ページ目～

お寺しょうがい(スタンプポイント)

① お寺の名前 住所 電話 Pお	④
②	⑤
③	⑥

修業スタンプラリー		10才	男性
NO.186	P3	スタンプラリー	
			⇒ジャンルへ

(10～11ページ目)



3ページからのお寺しょうかいをさんこうにして、お寺をまわり、スタンプを集める。

(12ページ目～)

修業チャレンジ

修業体験をしてスタンプを集める。

(修業プラン)

- ・ざせん
- ・お坊さんのためになる話
- ・お坊さんのごはん、いし、にらみてみよう。
- ・お寺のそと体験
- ・お寺で書道
- ・お寺でお茶 などなど

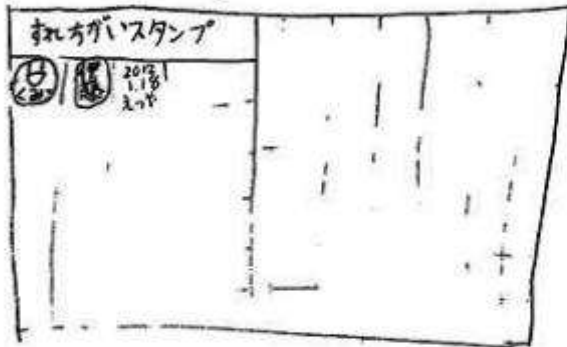
(体験料)

0円～1000円くらい

※ 体験してるお寺や、曜日、時間帯も書いてある。

20~21
ページ目

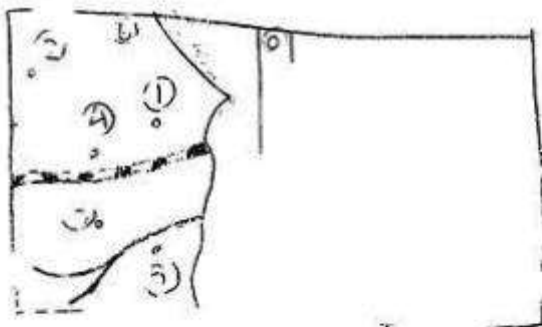
すれちがいスタンプ



お寺めぐりや作業中に、同じ
スタンプ/ノックを待った人とすれち
がったら、スタンプブックにサインし合
う(スタンプでもシールでもサインでもOK)

22~23ページ目

お寺マップ



市ごとお寺のマップ

スタンプを全キ、ハッテ... (すれちがいスタンプは...) /



とにんていしょがもらえるよ!

終わり

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P1	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

1. はじめに

今回の「地域社会のためのお寺の活用アイディア募集」というコンペにあたり、アイディアの募集とあったが、実際にそれらを活用しようとした時にアイディアだけでは不十分と考え、このような形で応募させていただいた。

地域にしても、お寺にしても、そのあり方には種々様々な形態がある。その為、地域やお寺の特性を十分に考慮に入れなければ、様々なアイディアも十分に活用しきれないと考えられる。そこで様々なアイディアを十分に活用するための前提として、地域やお寺のあり方やその分類について、論じさせていただいき、その後「地域社会のためのお寺の活用アイディア」を列挙させていただく。

2. 地域社会のためのお寺活用について

1) 現状

現在、日本の社会は、総人口うち65歳以上の占める割合が7～14%を占める高齢化社会をさらに越え、その割合が21%を越える超高齢化社会となっている。また、その歪な人口構成を正すための対策も遅々として進まず、その割合は、これからも増加の一途を辿ると考えられる。また、一方で日本は少子社会でもある。少子社会とは、高齢者人口（65歳以上人口）よりも子どもの数が少なくなった社会と定義され、日本は1997年より少子社会になっている。また、2005年には、日本の総人口が戦後初めて自然減少した。

また、個人主義を中心にした社会の発展は、生活の上で他者に頼らなくても生きていける便利な社会を生み出した反面、他者に頼ることで生まれる「つながり」を軽視する生活スタイルを生み出した。

このような人口構成の異常、個人主義中心の社会の発展は、都市や田舎といった地域社会そのものの、あるいは、それぞれの人が拠り所としている家族、あるいは様々な人間関係にも多大な影響を及ぼしている。即ち無縁社会という言葉に表されるような、人と人とのつながりの希薄化、あるいはつながりそのものの欠如である。

3月11日に起きた東日本大震災により、日本全国で絆という言葉が大きくクローズアップされた。しかし、逆に考えれば、それまでは絆がまったく気にされない社会だったともいえるのではないだろうか。

そのような、つながりの希薄化の実例を上げれば、日本において60%近くを占める核家族世帯、隣に誰が住んでいるかも分からないマンション・アパートの生活、ニート・引きこもりと呼ばれる人々の増加、限界集落と呼ばれる地域の増加などのように、枚挙にいとまがない。

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P2	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

そもそも、つながりとは仏教においては「縁起」のことであり、人間の本质、社会の本质であると説くほど重要なものなのである。しかし、今の社会ではそのつながりが欠如し、まるで一人だけでも生きていけるかのような錯覚を、与えているのである。

つながりの欠如・希薄化は間違いなく、日本の社会に悪い影響を与えている。例えば、年間自殺者数3万人という異常事態が毎年のように続く社会や、孤独死なる現象が現れ、無縁社会と呼ばれるようになっていく社会の現状、生活困窮者の増加、結婚してもすぐに離婚してしまう夫婦、幼児虐待、高齢者虐待と、様々な社会問題が起きているが、これらの多くは人と人とのつながりの希薄化・欠如が原因であり、遠因となっている。

現在の日本社会を一言で表すなら、本来欠くことのできない、人と人とのつながりが欠けてしまった社会なのである。

多くの地域社会では、上記に上げたような問題を抱えつつも、それぞれの地域の活性化を重要な課題として認識し、様々な取り組みを実行している。ではそのように様々な取り組みられる地域活性化とは、いったい何なのであろうか。前述したつながりの欠如した現代社会をふまえて表せば、地域活性化系とは、つながりを再度認識し、より強固に結び直したり、新たなつながりを結ぶことにある。その為に、地域活性化の名の下に、対外・対内に向けて様々な活動・イベントが催されているのだ。

さて、地域活性化とは、このように意図され、行われるわけだが、一口に地域活性化といっても、その地域が抱えている課題・問題は千差万別である。人の多い都市部もあれば、限界集落と呼ばれるような地域もある。農業や漁業を主要産業にしている地域、工場の多い工業地帯等々。その地域地域によって生活スタイル、人とのつながり方、風習、慣習、伝統と様々な要因によって、生まれてくる課題や問題も全く異なるものになる。

そこで次章では、まず、全体的な視点から地域社会とその中のお寺について、を論じさせていただく。次いで、具体的なお寺活用のアイデアをリストアップし、最後にまとめを書いていく。

2) 地域社会とお寺の分析

一言に地域社会といっても前節で述べたように、その場所ごとに生活スタイル、産業構造、習慣、風習、そして抱えている課題や問題は様々である。また、その中にあるお寺に関しても、檀家寺、祈祷寺、あるいは観光寺の違いや、檀家の数、その地域の中での立場など様々である。そのため、日本各地にある全てのお寺に適用でき、かつ有効に使えるようなお寺の活用方法などというものは存在しない。

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P3	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

そこで、必要となってくるのは、その地域の状況を十分に理解し、お寺の持っている資産・潜在力をきちんと把握することである。その二つが十分に理解できたなら、自ずとその地域が抱えている問題が見えてくるだろうし、その問題が起きている原因も見えてくるだろう。そして、同時に、その問題に対してお寺が持っている潜在力をいかに使えば効果的なのが見えてくる。そこまで分かれば、あとは実際に、行動を起こせばよいのである。

以上のことをふまえた上で、本章では地域社会、お寺について、私なりの分析・分類を行っていく。

・地域社会の分析と分類

まず、地域社会の分析であるが、地域社会は大きく都市部と農村部に分けることができよう。東京や大阪といった都市部と私が住んでいる熊野地方では、その生活スタイルも必要とするものも、全く異なる。さらに、都市部、農村部それぞれの中においてもお店や商店が集まる商業地区なのか、住居の多い居住地区なのか、田んぼや畑の多い農業地区なのか、工場の多い工業地区なのか、あるいはオフィス街、繁華街、また学校といったように、その場所や建物の機能によって地域社会を分類できる。以上は、場所や施設、建物の観点からおこなった地域社会の分析である。

続いては、人口、あるいは人口構成である。

その地域には何人の人が住んでいるのか。そして、その内、男女の比率はどのくらいなのか、あるいは、子どもはどれくらいの割合で、大人はどれくらい、老人はどれくらいなのか。このようなことも十分に把握しておかなければならない。

年代や男女の割合と同時に大切なことが、それぞれの人がついている職業である。学生であるか、仕事をしているか、仕事をしていないのか。仕事をしている場合にはさらに詳しく知る必要があるであろう。職業はもちろん、できるならば職業形態もふまえて、どのような仕事をしている人が、どのくらいの割合でその地域にいるのか、これらも分析する内容に含まれる。

以上は、人という観点からおこなった地域社会の分析である。

最後に、時間の流れからみた地域社会の分析である。

どのような地域であれ、そこに人がおり生活や仕事を行っている地域には、時間の経過による大小様々なサイクルが存在する。例えば、一日のサイクル、1ヶ月のサイクル、一年のサイクル。その他にも、伊勢神宮で行われる20年ごとの式年遷宮のような、その地域独特のサイクルも存在するだろう。このサイクルを把握することも地域を分析する上で大変重要なことである。例えば政治家は選挙期間中、通勤時間に駅に立って街頭演説をする事が多い。これはそこに住む人々の一日のサイクルを把握しており、その時間、その場所に人が多く集まることを知っているからである。

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P4	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

その地域の中で一日のサイクルはどのように動いているのか、あるいは一ヶ月のサイクルの中で行われる行事や集まりのようなものはあるのか、あるいは一年ごとのサイクルで行われる行事や催し物は何なのか、そして、その中で人々はどのように動いているのか、しっかり把握されなければならない。

以上が、時間のながれという観点からの地域の分析である。

最後に社会全体・地域固有の動勢、流行、ニーズといったものも、常に考慮に入れておかなければいけない。今社会が何を求めているのか、また、地域の人々が興味を持つものは何なのか、それらは社会の動きと共に、常に変化し続けている。上記の場所・人・時間の分析をふまえた上で、社会の動勢の把握も、地域社会を分析するさい、重要なポイントとなるであろう

・お寺の分析と分類

次にお寺の分析について述べていく。

お寺にどれほどの潜在力があるのか。これはお寺で生まれ、そこで育った人ほど分かりにくいのではないだろうか。お寺やその周辺が日常になりすぎていて、何が特別なのか気づけないのだ。地域社会のためのお寺活用といわれても、お寺の何が地域社会の役に立つのか気づけなくなってしまうのだ。そこで、地域社会の分析と同様、お寺自身についての分析も必要になってくる。

さて、お寺というものを考えた時、まず大きく、施設の側面と人のつながりという側面に分けることができよう。

施設の側面から見たお寺の潜在力の分析とは、文字通り、建物や周辺状況について把握することである。設備はどのようなものがあるのか。本堂の広さ、本堂内部の配置、本堂以外の部屋はどれくらいあり、どんな配置か、水回りはどうなっているか。また、境内についても、広さ、諸堂の有無、植えられている木や花は何で季節によってどう変化するか、石畳なのか芝生なのか、この他にも気づいたことは何でも分析・分類の対象となるであろう。お寺そのものの以外にも、お寺の立地状況、周りにどのくらい建物があるのか、お寺までのアクセス情報、お寺周辺の道路事情等々、地域社会の中でお寺がどのような位置にあるのかも重要な分析・分類の項目となる。以上が施設の側面からのお寺の分析・分類である。

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P5	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

次いで、お寺を中心とした人のつながりという側面からの分析である。お寺を地域社会のために役立てようとする時、この人のつながりこそが、最重要のポイントとなるのではないだろうか。何となれば、どんな活動、集まりも人によって行われるものであり、人のつながり無くしては成立しないのであるから。さて、その人とのつながりであるが、お寺という組織は人とのつながりという点において、他の商店や会社のような組織にはない大きなアドバンテージを持っている。それは、つながりの深さである。お店や会社におけるつながりとは、基本的には物の売買を通してのお客さんと組織・お店というつながりである。そのため、そのつながりの深浅は、組織内部の社員や店主のそれぞれの接客態度や資質による。しかし、お寺の場合のつながりは、その人の生老病死、それぞれの人生の岐路に深く関わることを前提としており、おのずからお寺と人とのつながりが深いものとなりやすく、家族ぐるみでつながることも稀ではない。これこそが、他にはないお寺のアドバンテージであり、地域社会に役立つなにかの活動をする際の強力な武器となる。

では、お寺と人とのつながりというものを分析するとどうなるであろうか。先ず大きく、①お寺を信仰の対象とする檀家・信者、②お寺を生活の場とする寺族や僧侶同士、そして、③その他の出入りの業者や観光客、散歩に立ち寄る人等に分けられる。このうち、なんらかの活動をする際に、最も力になってくれるのは①、②に属する人たちとのつながりであろう。それでは、以下よりそれぞれの分類について細かく述べていく。

先ず、①お寺を信仰の対象とする檀家・信者に属する人たちについてである。この分類に属する人たちは、お寺という組織を日常的に支えてくれている人たちでもあり、お寺自身にとっても最も重要な人たちである。であるから、檀家・信者について、できる限り詳細な情報を得ておくことは、何を置いても最優先されなくてはならない。そして、同時にその情報は常に更新し続けていかなければならない。人は時間の経過と共に、常に変化していくものであり、抱えている悩みや苦しみ、問題や課題も常に変化しているのだから。そこで役に立つのが、昨今言われるようになった現在帳であろう。現在帳を作ること、檀家・信者の動勢を視覚化し、きちんと把握しておく。そして、その変化を常時更新することで、最新の情報として管理しておく。これがきちんと行われているなら、お寺と檀家・信者とのつながりは、自然に太く、深いものとなり、お互いがお互いの存在を身近に感じることだろう。現在帳の作成は地域社会に役立つお寺を考える際にも、強力な武器となるのだ。

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P6	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

そこで現在帳を作る上で、書かれるべきである情報の項目例も以下に列挙しておく。

【現在帳項目例】

氏名、住所、電話、fax、お寺から家までの地図、家族構成（同居人、親戚等）、誕生日、学校、学歴、仕事、職歴、過去帳的項目（故人、年齢、法号、祥月命日、葬儀日時、法話内容、場所）、お見舞い・法事・葬儀の記録（月日、法事の内容、法話内容、備考）、人生相談の記録（月日、内容、指導内容、結果、備考）

以上、上げた項目は、あくまで必要最低限と考えられるものである。その他、その人について気づいたことがあれば何でも記録しておくべきだ。その情報の積み重ねこそが、実際に活動する時の大きな力となる。また、何度も書くが、これらの情報は常に更新を続けなくてはならない。それこそがお寺と人とのつながりの強化であり、深化なのである。

次いで、②お寺を生活の場とする寺族や僧侶同士のつながりについてである。この分類に属する人とのつながりは、①の分類の人たちとは別の側面で、大きな力となる。①に属する人たちが、お寺から見て対外的な側面が強いのに対して、②に属する人たちは対内的側面が強いのだ。では、具体的に②に属する人たちとはどのような人たちであろうか。まず上げられるのは、お寺に住んでいる住職とその家族、そして、その親戚たちである。場合によってはつながりの深くなった檀家・信者がこの分類に入ることもある。これらの人たちこそが、お寺が何か活動をおこなう際の中核となる。次いで、僧侶同士のつながりである。同じ地域に住む同業者、隣町のお寺さん、同じ県内のお寺さん、あるいは、大学や修行場で苦楽をともにした旧友。このような同業者のつながりも、同業者であるがゆえに、様々な悩みや困難を共有でき、助け合っていくことができる大切なつながりである。以上のように、①に属する人たちがお寺で行う活動の対象になることが多いのに比べて、②に属する人たちは様々な活動を行う時に頼もしいバックアップとなることが多いのだ。

最後は、③その他である。この分類に属する人たちとしては、様々な活動に際して初めてお寺に来る人や観光客、散歩に立ち寄る人、出入りの業者等があげられる。これらの人たちは、①、②に属する人たちに比べて、お寺とのつながりが薄い、あるいは全く無いことが特徴となる。その為、宣伝・広告等を何も行わなかった場合、もっともつながりが作りにくい人たちである。しかし、その困難を乗り越えることができたなら、地域にとっても、お寺にとっても非常に大きな可能性となる。であるから、地域社会の活性化のため、お寺が対外的な活動をおこなう際には、広告・宣伝にも気を使い、この分類に属する人たちにも、十分気を配る必要がある。

以上、お寺の持つ資産・潜在力ということについて、人とのつながりという側面からの分析をおこなった。

次章では、具体的なお寺活用のアイデアを列挙していく。

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P7	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

3. お寺活用アイデア

1) お寺活用アイデアについて

本章では、お寺を地域活性化のために利用するための様々な活動・イベントについての具体的なアイデアを列挙していく。それぞれのアイデアには、そのアイデアの概要、目的、期待される効果、おおよその期間、対象となる人々の年代を記してあるので、実際に活動される際には参考にされたい。

なお、これらアイデアはあくまで、活動・イベントの核にしかすぎない。場合によっては他のアイデアと組み合わせたり、内容をアレンジしたりすることも十分にできるので、前章のような分析に基づいた各地域やお寺の状況・状態に合わせ、それぞれのアイデアを自由にアレンジしていただきたい。

2) お寺活用アイデア一覧

1 【お寺でコンサート】

概要：本堂を使用しておこなう様々な楽器によるコンサート。

例…クラシック、民族舞踊、ジャズ等のコンサート

目的：お寺という場に親しみを持ってもらう。

効果：本堂という通常とは違う雰囲気の中で音楽を聴いてもらうことで、一般のコンサートホールやライブハウスにはない独特な空気を作り出すことができ、新鮮な体験を味わってもらうことができる。これにより、会場のお寺に従来までの近寄りがたい、や敷居が高いといったイメージを変え、より地域の中に密着したものに変わることができる。また、演奏家側にも通常とは違う場所でのコンサートに、お寺への親しみ、演奏家自身の新しいイメージを生み出すことができる。

期間：半日、御会式、お施餓鬼等の法要の後の数時間

対象：全年齢

2 【学習塾】

概要：本堂、あるいは客間等を使用した学習塾。形態として受験を目標にした形態、学校での授業の補習を目標にした形態が考えられる。

目的：勉強を教えていく過程で、学校、通常の塾では軽視されがちな、倫理道德、モラル等も指導する。また、子ども、学生といった若い世代に、お寺に親しんでもらう。

効果：子どもの成長の中にお寺の存在を加えることができる。また、お寺を支えていく信徒青年団へと繋げていくこともできる。

期間：1年～

対象：10～20代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P8	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

3【図書館、図書スペースの設置】

概要：本堂、あるいはお寺内の一室、一面に図書ブースを作る。そして、仏教書、一般書等を並べた本棚を設置し、本の閲覧・貸出を自由に行う。また、その一部として閲覧・自習スペースを設けることも考えられる。

目的：檀家、一般地域住民の知識向上。知的好奇心の発育。また、お寺に足を向ける理由にもなる。

効果：身近にあるお寺に、簡単に閲覧することができる本があることにより、それまで本を読まなかったような人にも手に取ってもらいやすくなり、また本を読むことにより知識の向上を図ることができる。仏教書のみならず、一般書を置くことで、新たな興味を持ってもらえる。さらに設置する本に漫画、絵本、ライトノベルのような子ども向けの本も含めることで、子どもにまで対象を広げることできる。

期間：無期限

対象：全年齢

4【お茶会・カフェスペース・喫茶ブース・ラウンジ・オープンテラス】

概要：本堂、境内を使い、お茶会を開く。あるいは常設型のカフェ・喫茶スペースを設置する。

目的：人の集まりやすい場所、集まりたい場所を、本堂、境内を開放して設置し、様々な人を集める。そして、お茶と共にゆっくりした時間と参加者同士の交流・会話を楽しんでもらう。

効果：お茶と共にまじわされる会話により、コミュニティ内部のつながりの強化が考えられる。また雑談等の中から地域社会内部の様々な情報を得ることもできる。

期間：無期限

対象：20～50代

5【放課後の遊び場】

概要：小学校、中学校、高校の授業終了後の遊び場、勉強の場所として境内を開放する。

目的：安全な境内を遊び場とすることで、親や子どもが安心して遊べる場を提供する。

効果：子ども達に仏教に基づく倫理道徳を学ばせることができる。子ども同士の、学校を越えてのつながりができる。子どもの成長過程にお寺が関わるきっかけとなり、よりモラルの高い青少年育成に繋がる。

期間：無期限

対象：10～20代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P9	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

6 【カルチャースクール】

概要：お寺の持つ人脈を生かし、様々な文化・教養を持つ人を講師に定期的なカルチャースクール、講習会を行う。

例…茶道、華道、ビジネスマナー、地域の歴史、パソコン教室、ヨガ、英会話、写真講座、囲碁、将棋、書道等

目的：お寺の人脈を地域に住む人々と繋げ、それぞれの人に有意義に活用してもらう。

効果：お寺の、これまでとは違った側面を見せることができる。様々な文化を学ぶことに対して、移動や資金の面であきらめていた人々に、敷居を低くして参加してもらうことで、新しい事を学ぶ満足感を得てもらうことができる。

期間：3ヶ月～1年

対象：20～70代

7 【修行会・修行道場】

概要：短期間、短時間で簡易的な修行体験を行う。

修行例…勤行、唱題行、写経、作務、水行、

目的：癒しというような心の安心が求められることが多かった昨今、修行を通して、心に平安、平穏を取り戻してもらい、それからの日々の生活の助けとしてもらう。

普段なじみのない仏教とその実践に触れてもらうことで、仏教に興味を持ってもらい、また、仏教が日々の生活に役立つことを感じてもらう。

効果：それぞれの生活の中に仏教とその実践を取り入れるきっかけとなり、心安らかに日々を送るきっかけとなる。お寺、僧侶とのつながりができることで、それからの法事や葬式、お寺での行事への取り組み方も変化してくる。

期間：1日～1週間

対象：20代～

8 【朗読会・読み聞かせ会】

概要：本の朗読会、また、幼児、小学生対象の読み聞かせ会を本堂でおこなう。

目的：知育、知識向上。普段本に接することが少ない人に物語の面白さ、楽しさに触れてもらう。また、普段本を読む人にも、耳から物語を聞くという新しい体験を経験してもらう。

効果：物語の内容、面白さが耳から直接伝わることで、それまで本に接することが少なかった人も、本を読むきっかけとなる。ひいては知的好奇心の増進、知識の向上にも繋がる。

期間：半日

対象：全年齢

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P10	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

9【写経・写仏・仏像制作の会】

概要：お経を自らの手で書き上げる写経や、仏の絵を書く写仏、また彫刻刀で自ら仏を作る仏像制作等の行為を、本堂という場で行う。

目的：写経、写仏、仏像制作を通して、自らと向き合い、乱れた心を整え、心の平安を取り戻す。

効果：お経や仏像と真剣に向き合うことで、それまでとは違った見方が、お経や仏像に対してできるようになる。よりお経、仏像を身近なものとして感じられるようになる。

期間：半日～1日

対象：20代～

10【アマチュア趣味人の展示会、各人の趣味紹介】

概要：お寺を展示会場と見立て、様々なアマチュア趣味人の展示会を行う。また同時に展示を行った本人による講習会、体験会等を行う。

発表・展示例…写真、絵、陶芸、アロマテラピー、書道、詩、活け花、水墨画、彫刻等

目的：同好の志の交流。その趣味に興味を持っている人には、より詳しく知ってもらえる場となる。また、全く知らなかった人にも興味を持ってもらう。地域社会内の趣味を通したつながり作り。

効果：色々な人の色々な趣味を展示・発表する場を提供することで、発表者は刺激と向上心を得られ、見に来てくれる人には、自分の知らなかった趣味との出会いとなる。趣味を紹介することで、お互い同士をより深く知り合える。

期間：1日～1週間

対象：10代後半～

11【田舎暮らし移住支援・移住体験】

概要：田舎に暮らしてみたい、農家になりたいといった人を対象にした、衣食住から人付き合い、田舎暮らしのノウハウまで含めた移住支援。あるいは、田舎暮らし、農家体験。

目的：田舎暮らしをしたいが、不安だという人に、様々なサポートを行うことで、より長く、安心して田舎に移住してもらい、その地域の活性化に繋げる。

効果：閉塞感の強い農村部に他の地域から人を迎えることで、新しい変化をもたらす。田舎移住を考えている人には、安心感を与え新しい一歩を踏み出す後押しになる。同時に迎える側も、それまでのマンネリ化した生活から、新しいつながりを育て、成長させる生活に変化し、日々の生活に意欲が生まれメリハリを与え、より生き甲斐のある生活になる。

期間：半年～数年

対象：30～60代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P11	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

12【農業体験】

概要：檀家、あるいはお寺周辺の農家と協力して、それまで農業体験をしたことがない人々に畑を耕す、種を植える、収穫する等の農業体験をしてもらう。

目的：普段食べている野菜や果物がどのように収穫されるのか体験してもらう。食べ物のありがたさの再確認。いただきますの心を取り戻す。

効果：食べ物の大切さを再認識できる。

期間：半日～1日

対象：10～60代

13【お葬式セミナー・臨終行儀・エンディングノート作成】

概要：お葬式そのものの意味や読まれるお経の内容、祭壇に飾られる様々なものの意味をセミナー、講習会の形で説明する会。また、実際にお葬式を体験する体験型セミナー、講習会。その一環として自分自身の死に対しての終活支援（エンディングノートの作成等）を行う。

目的：お葬式やそれに付随する様々な儀式の意義、必要性、大切さを理解させる。避けることのできない死について、きちんと考える時間を持つ。

効果：普段考えることのない死について、考えるきっかけとなる。死を実感、体験することで周囲に対する優しさ、思いやりが生まれるまた自分自身の生活においても、死を意識することでメリハリが生まれてくる。

期間：半日～1日

対象：20～60代

14【スポーツチャンバラ】

概要：境内を開放して行うスポーツチャンバラ。あるいは新聞紙等を丸めて作った紙製刀によるチャンバラごっこ。

目的：スポーツ振興。子ども達の体力・健康の増進。子ども同士のつながりを広げ、深める。

効果：外で走り回って遊ぶ子どもが少なくなった昨今、チャンバラという単純ながらも、熱中できるスポーツを通して体力の増強、健康の促進を図れる。また団体戦形式で遊ぶことで、子ども同士のコミュニケーションが深まる。

期間：1時間～半日

対象：10代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P12	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

15【町内清掃】

概要：お寺周辺、あるいは地域全体の清掃作業を地域住民と共に定期的に行う。

目的：周辺地域をきれいに保つ。また同じ作業を共同して行うことで地域社会の中での人と人のつながりを再確認する。

効果：町がきれいに維持されることで、そこに住む人の意識も健康に保たれる。またそれらを自分の手で行うことで地域社会への愛着、周辺住民との深いつながりを感じることができる。

期間：無期限

対象：全年齢

16【手製お守り作り】

概要：参加者自身に一からお守りを作ってもらい、その場で参加者と一緒にお経を唱え、ご祈祷をしてお守りを以て帰ってもらう。

目的：普段持つお守りにより愛着を持ってもらう。自分が持つお守りにはお経が読まれていることを自覚してもらう。

効果：普段何気なく買ったりするお守りを、一から自分の手で作ることで、お守り、ひいてはご祈祷をする仏さまにより親しみ、愛着が持てるようになる。そして、お守りの加護をより感じられることで、日々の生活に安心を感じられる。

期間：1時間～半日

対象：20～70代

17【タイムカプセル】

概要：境内の一面に、希望者の記念品などを入れたタイムカプセルを埋め、石碑、記念碑を立てて数年後～十数年後に開封する。

目的：子どもの頃の思い出、夢を、境内に保存することで、その周辺地域への愛着を持たせる。また、その地域に対して、タイムカプセルを何年後かに開封するというつながりを持つってもらう。

効果：タイムカプセルというつながりを持つことで、成長過程において地域に対して愛着、親しみを持つことができる。実際にタイムカプセルを開封した時に、子どもの時のつながりを再度結べたり、過去とのつながりを結び直すことができる。

期間：数年～十数年

対象：10代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P13	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

18 【職業紹介・講習、体験】

概要：それぞれが就いている職業の紹介。あるいはその職業技術で生活に役立つものを講習形式で教えてもらう。

目的：互いの職業理解。より深いコミュニケーション。

効果：それぞれが就いている仕事について理解することで、お互いの理解が深まり、より深いコミュニケーションを行える。また自分が就いている仕事を他者に紹介することで、自分自身もそれまで気づかなかった新たな側面を発見できる。講習を聞いた側は専門家から学べるので知識向上にも繋がる。

期間：半日～一日

対象：30～60代

19 【精進料理、郷土料理教室】

概要：精進料理、あるいはその地域に伝わる郷土料理を教わる料理教室。

目的：精進料理教室を通して仏教の精神を学ぶ。郷土料理教室を通して、その地方の歴史や伝統を学び継承していく。参加者同士の交流。

効果：精進料理を学ぶことで、普段の食も変化していき、食、ひいては健康に対する意識を変えることができる。

伝統料理に触れることで、郷土愛、地元への愛着を生み、また先人から学ぶということを通じてコミュニティのつながり強化になる。

期間：半日～一日

対象：20～30代

20 【瞑想】

概要：ヴィパッサナー瞑想、マインドフルネス瞑想法、チベット仏教の瞑想法等を本堂のような清浄な空間で行う。

目的：瞑想を行うことで、日常生活で見過ごしている様々な気づきを得て、心の平静を取り戻す。

効果：心に平静、安心が戻ることで、日々積み重なる様々なストレスの軽減になる。

期間：1時間～一日

対象：10～60代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P14	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

2 1 【朝夕の声かけ活動】

概要：朝夕の通学時間に、お寺の前や周辺で通学中の学生達に声かけを行う。

目的：地域の安全向上。学生のモラル向上と同時に、学生達とのつながりを結ぶ。

効果：大人の目が子供に向けられていることをしっかりと形で表すことで周辺地域の安全性が上昇し、学生、またその親たちも安心して生活できる。大人達の目がきちんと自分（学生）に向いていることを自覚し、支えられている、繋がっているという安心感と同時に学生自身のモラル向上になる。

期間：毎日

対象：学生全般

2 2 【ペットパーク・広場】

概要：境内の一部を解放し、ペットを自由に遊ばせることのできるフリースペースにする。

目的：ペットの運動場。飼い主同士の交流。

効果：ペットの運動不足解消。飼い主同士がコミュニケーションを取ることで、様々な情報交換ができ、地域のつながり強化にもなる。子どもにも開放することで、ペットと触れ合える場にもなる。

期間：毎日

対象：10～60代

2 3 【墓地ガーデニング】

概要：各家の墓地区画それぞれにプランター等を置いてガーデニングが可能なようにし、希望する家庭には自由にガーデニングを行ってもらう。また、お寺側は、ガーデニングの管理のバックアップや、共同して使える資器材の管理を行う。

目的：お墓に定期的に通ってもらう。ガーデニングを通して、土いじり、自然とのふれ合いを体験してもらう。

効果：お墓に定期的に通うことによって、家族のつながりの強化になる。また、お墓でも生花やお菓子をお供えすることが規制されている昨今、お墓を飾る彩りとなる。

期間：1年

対象：20～70代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P15	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

24【境内ガーデニングスペース】

概要：境内の一区画をガーデニングスペースとして、開放し希望者に自由にガーデニングをしてもらう。あるいはお寺側が指揮しガーデニングスペースを管理し、ガーデニングスペースの花が見頃の時期には人を集め観覧会、散歩会等を行う。

目的：共同作業を通しての地域社会のつながり強化。景観美化。花と接することによる癒しの体験。

効果：マンションやアパート住まいで庭を持っていない人でも気軽にガーデニングを楽しむことができる。また花の生長に合わせて様々な作業を行わなければいけないため定期的にガーデニングスペースにて作業を行う必要があり、様々な人と接する機会にもなる。

地域社会の景観に彩りを添える一助にも成る。

期間：1年

対象：20～70代

25【フリーマーケット、物産展】

概要：本堂、境内を開放し、フリーマーケットや物産展等の会場とする。

目的：地域社会の活性化。様々な物品を、必要のない人から必要のある人へ結びつける場。

効果：様々な人が色々な物を持ち寄り、売り買いすることで地域全体に活気が広がる。地域社会のつながりが強化される。

まだまだ使える物の有効活用ができる。もったいないという精神が育成される。

期間：半日～1日

対象：10～60代

26【境内散歩の会、森林浴】

概要：ある程度境内が広い場合は境内内をゆっくり歩行による瞑想を意識しつつ散歩する。また地域内に自然公園や遊歩道がある場合でも、同じようにその中を、歩行による瞑想を意識しつつ散歩を行う。

目的：散歩による地域の自然の再認識。散歩による癒し・リラクゼーション。

効果：散歩をしながらの交流で参加者同士の親交が深まる。また、いつもは通り過ぎるだけの風景を、ゆっくり散歩をしながら眺めることで違った視点で見ることができ、気づきのきっかけになる。地域のことを知ることで、その地域への愛着が増す。

期間：1時間～半日

対象：20代～60代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P16	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

27【異業種交流会】

概要：お寺周辺の地域で、様々な職業に就いている人たちを集め交流会を行う。

目的：お互いの職業について理解を深める。他者の職業を知ること、その人のことをより詳しく知り、つながりを深める。

効果：異業種間で交流を深めることで様々な視点、価値観を得ることができ、参加者それぞれがスキルアップを図れる。地域の人たちと交流することで、地域の理解が進み、より愛着がわく。

期間：1時間～半日

対象：20～40代

28【仏教に基づく生活講座】

概要：仏教経済学、少欲知足、地産地消、自給自足など仏教に基づく生活を実践するための講習会。

目的：生活のスタイルを見直すきっかけ。エコロジー等が盛んに言われる現代において、仏教的見地から見た自然に優しい循環型の生活を紹介する。

効果：仏教の教理を学ぶと同時に、その実践方法として環境負荷の少ない生活スタイルを学ぶことができる。自分の生活がいかに関や自然とのつながりの上で成り立っているのか、再確認ができ、過度な欲望を抑え、自然に自然や社会に優しい生活へと変化できる。

期間：1時間～半日

対象：20～40代

29【断食体験】

概要：きちんと計画され、管理された断食を行うことで、身体に負担が少ない形で内部から身体がきれいになることを実践する。

目的：身体を内部からきれいにする。食に対する欲望を制御、我慢することを通して精神修養をはかる。食のありがたさの再認識。

効果：身体が中身からきれいになることを実感すると同時に、普段の食生活がいかに関自身自身の身体に汚れを与えているのかを感じることができる。食べ物のありがたさ、それを用意してくれる全ての人に対する感謝の心がおきる。

期間：1日～10数日

対象：20～40代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35才	男性
NO.189	P17	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

30【人材スキルマッチング】

概要：あるスキルを持つ人と、そのスキルを必要としている人たちをマッチングさせる、登録制のシステムをお寺で管理運営する。マッチングの際、お金を介在させないというシステムの組み方も考えられる。

目的：人と人との交流の促進。お金依存型社会からの脱却。

効果：人に頼り、頼られるという関係が自然にでき、地域社会のつながりをより実感できる。同じ地域に住む他人がどんな職業に就いているのか知るきっかけになる。

期間：半日～数日

対象：20～70代

31【家系図作り】

概要：家系図を作るための様式・テンプレートを用意し、家族参加のワーク形式、あるいは、それを渡し帰宅後それぞれに作業をしてもらう形で、各家庭の家系図を自分で作ってもらい、自分のルーツ、家族のルーツを理解してもらう。

目的：自分自身のルーツを知る。家族のつながりの再確認。先祖の大切さの再確認。

効果：両親はもちろん祖父母やその父母を家系図という図にしてまとめることで、自分が一人で生きているのではなく、つながりの中で生きていることを実感できる。家族間で会話を促進するきっかけとなる。法事やお盆に対する意識も変化し、より積極的になる。

期間：半日～1日

対象：10～30代

32【目標実現のための誓いと実現過程報告の会】

概要：目標実現のためのワークグループを作り、を本堂等にメンバーを集め、定期的な会を実施する。具体的な内容は、ある一定の期間を定め、その日までに叶えたい目標を発表し、その実現のためにこれからどのようなスケジュールを行っていくのかを皆の前で発表しあう。そして、その期間までの間に定期的にメンバーが集まり目標達成までどれだけ進んでいるのかを発表しあう。聞いている方は、発表の中で気づいた問題点を指摘したり、より有効なアドバイスをを行い、発表者の目標実現までをしっかり見守っていく。そして、最終的に定められた期日までに目標を実現していく、というもの。

目的：各人の目標を実現することで、より充実した人生を歩んでもらう。目標を複数の人とで共有することで目標実現の可能性を高める。

効果：一人では諦めてしまう目標でも、他人と共有することで高いモチベーションを維持でき目標実現につながる。また目標実現に向けて前向きに日々を送ることができるため、生活そのものの質も向上し、ひいては地域社会全体の活性化にもつながる。

期間：1年間～5年間

対象：20～40代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P18	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

33 【家族・友人への手紙のすすめ】

概要：遠くに離れて暮らしている家族や友人に季節の便りや手紙を定期的を送ることをすすめる。その為の手紙のテンプレート作成や配布、皆で集まり手紙を書く会のような集まりをお寺で行う。

目的：進学や仕事等で家族の元を離れることになった家族や、遠くにいる友人とのつながりの維持。地域の情報の発信。

効果：地域から離れてしまった人でも、手紙や便りをもらうことで、その地域のことを思い出す。また、遠く離れていても自分は一人ではない、ちゃんとつながりがあるんだと自覚することができる。

期間：1時間～半日

対象：10～70代

34 【お寺・地域の新聞の発行】

概要：地域に関連するニュースを発行し、道の駅、観光スポット等に置かせてもらう。また元々その地域に住んでいた人などにも郵送し、地域のことに関心を持ってもらう。記事内容等は地域に住んでいる人たちにお話し書いてもらう。

目的：地域の情報の発信。地域とのつながりが疎遠になってしまった人に、再度地域に関心を持ってもらう。地域の魅力の再発見。

効果：地域に住んでいる人ならではの情報を発信することで、その地域の魅力が広まる。その地域を離れてしまった人にも、地域の変化を伝え、郷愁を呼び起こし地域に関心を持つようになる。その地域の人たちが自ら新聞を作ることで、当たり前のことや日常だったものに新たな気づきを得ることができる。

期間：1ヶ月～数ヶ月おきに定期的

対象：全年齢

35 【作務衣・着物・浴衣作り】

概要：作務衣や着物、浴衣を自分の手で作る集まり。その会場として本堂やお寺の一室を開放する。

目的：同じ作業を一緒にすることによる交流。伝統文化の継承。服作りを通してリサイクル、「もったいない」の精神を感じる。

効果：服作りを一緒に行うことで交流が深まり、参加者同士のつながりが深まる。作務衣や着物、浴衣を自作することで、それらを着る機会が少ない人にも興味を持ってもらえる。着なくなった着物を再利用することでリサイクルの実践になり、また、それを残してくれた人たちとのつながりを実感する機会にもなる。

期間：1時間～半日の会を定期的に

対象：10～40代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P19	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

36 【マイお経本作り】

概要：白紙のお経本、あるいはルーズリーフのようなお経本を使い、自分で写経をしたお経本を作る会を定期的に行う。その際、お経の意味や仏教の思想の解説等を行うのも良い。

目的：お経本作りを通して、その内容や仏教思想の勉強を行う。お経、あるいはそれを読むことに親しみを持ってもらう。

効果：自分でお経本を作り、それを持って法事や行事に出ることでお経を読む時の気持ちや法事や行事にのぞむ姿勢がより積極的になる。また、定期的集まりを行うことで、参加者の交流が深まる。

期間：1時間～半日の会を定期的に。

対象：30～70代

37 【昔語りの会】

概要：その地域に長い間住んでいた年配の方に昔、その地域でどんなことがあったのかお話ししてもらう。数人で座談会のような形でおこなってもよい。できるだけ年配の方々が自然に話せるような場を作る工夫が必要。

目的：地域の歴史を知ることによる、地域とのつながり強化。年配の方が持つ潜在力の発揮。年配の方と若い世代の橋渡し。

効果：地域の歴史をじかに聞くことにより、自分たちの住む地域により愛着が湧く。それまで接することの少なかった年配の方と接することで、新しいつながりが生まれ、地域が活性化するきっかけとなる。。

期間：1時間～半日

対象：10～80代

38 【自分の戒名を考えよう】

概要：自分の死後、つけられる戒名を自分で考える会、あつまり。年一回のように定期的におこない、自分の人生を振り返る機会にしてもよい。

目的：戒名の本来の意味を理解する。死を身近に考えることによって生を充実させる。

効果：自ら戒名をつけることで戒名に関心を持つようになる。自分の死後を考えることで、死の準備、心構えが養われる。また、死の実感、生の実感にもつながり、日々の生活を瑞々しく輝かせる。

期間：1時間～半日

対象：40～80代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35才	男性
NO.189	P20	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

39【アナログゲーム交流会】

概要：将棋や囲碁、麻雀、あるいはモノポリーのようなボードゲームのようなアナログゲーム遊ぶ会、あつまりを本堂、お寺の一部屋等を使い開く。

目的：ゲームを通して人と人との交流をはかる。伝統的な遊びの継承。

効果：顔を合わせてゲームをすることで交流が深まり、地域社会のつながりの強化になる。子どもも参加させることで、老人から子どもへ遊び文化の継承がおこなわれる。また、デジタルなゲームしか知らない子どもにとっては、新鮮な面白さとなる。

期間：半日～1日、定期的に

対象：10～70代

40【無人市場】

概要：境内の一画に無人市場用のスペース、売り場を設置し、お寺で管理する。

目的：新鮮な野菜の流通。農家が収穫した野菜等の売り場確保。

効果：定期的に無人市を開くことで、周辺の人々の食生活の向上に役立つ。また農家にとっても売り場が増えるので、やる気と共に生活の質も向上する。

期間：毎日、週一回、のように定期的におこなう。

対象：30～70代

41【中学・高校・大学の部活・サークル対象の精神修養】

概要：中学・高校の部活（運動部系など）や大学の運動部系サークルを対象に唱題行や読経、寒行、水行などをおこなわせ、精神修養の一環とする。

目的：学生の精神修養。

効果：精神修養、修行体験を通して規律・規範を守るということを覚え、モラル向上になる。厳しい修行をやり遂げたという経験は、学生達が困難に出会った時の大きな力になる。

期間：半日～一週間

対象：10～20代

42【中学・高校の部活と連動した活動】

概要：中学・高校の部活の発表・活動の場としてお寺の境内、本堂を開放する。それぞれの企画はできるだけ学生たち主導でおこなう。

例…茶道部のお茶会・野点、美術部・写真部・書道部などの展示会、演劇・演奏会など

目的：学生にとっての新しい表現の場所としてお寺を提供する。

効果：学生たちが自ら企画を考え、それを実行するために協力し合うことで学校での活動だけではできない経験ができる。

期間：半日～2、3日

対象：10～20代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P21	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

4 3 【仏前結婚式の紹介、体験セミナー、お見合い仲介、婚活支援】

概要：お寺でおこなう仏前結婚式を紹介するセミナー、あるいは実際に体験できる体験会をおこなう。また、その一環としてお寺の人脈を使ったお見合いの仲介や、婚活パーティーのような婚活支援もできればなおよい。

目的：若者達の結婚の支援。

効果：結婚支援を積極的におこなうことで、少子化対策となる。また、地域の中で新たなつながりが生まれるきっかけとなる。

期間：半日～1日

対象：20～30代

4 4 【仏像パー、カフェ】

概要：お寺の雰囲気を取り入れた空間を作り、様々な仏像を展示し、お酒やお茶を提供する。店舗を構える場合とお寺の中を利用する場合とが考えられる。お坊さんならではのお説教や法話をメニューに加えるのもよい。

目的：地域交流ができる場の提供。様々な仏像の展示、鑑賞。

効果：お酒やお茶を交えて交流することで、つながりがより深くなる。穏やかな空間で様々な仏像を鑑賞することで、心の平安、安らぎが得られる。

期間：店舗型の場合、毎日。お寺の一画を利用の場合は、週一回や月一回のように定期的に。

対象：20～70代

4 5 【法要荘厳への参加、その為の練習会】

概要：花祭りやお施餓鬼、御会式などの季節ごと、節目ごとの法要に際して、法要荘厳（散華、楽、太鼓、稚児行列など）をやってもらうメンバーを集め、定期的に練習会をおこなう。そして、法要本番にも法要荘厳として参加してもらう。

目的：伝統行事の継承と振興。それぞれの行事の意味を理解する。

効果：お寺が催す伝統行事に積極的に参加することで、その意味や歴史を知り、伝統行事の継承に役立つ。同じ目標に向かう仲間ができることで地域内の交流が活発になる。

期間：1時間～半日程度の練習会を、週一回、あるいは月一回といった間隔で定期的に。

対象：20～50代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P22	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

46【映画、ビデオ上映会】

概要：本堂にてプロジェクター、スクリーンを使い映画の上映会をおこなう。娯楽としての映画鑑賞だけでなく、ドキュメンタリーなどの映画を上映し、知識向上を目的とすることも考えられる。

目的：娯楽提供。知識向上。

効果：映画館がないような地域では、地域の人々にとっての娯楽になる。趣味嗜好が似た人々が集まるので、その人達の交流の場となりやすい。

期間：1時間～3時間

対象：10～70代

47【送迎、循環バス運行】

概要：お寺や地域内での行事に際して、マイクロバスやハイエース等の大型車両にて送り迎えをおこなう。

あるいは、お寺が中心となり、地域の人々にメンバーとなってもらい乗り合いバス・車を相互に利用し合う集まりを作る。そして、遠出をするために車を利用したい人と、お寺で手が空いている人が運転手をするか、メンバー内で運転できる人をマッチングさせる。また運行情報を電話、ネット等で連絡することで、相乗りしたい人も見つける。

目的：地域内外での移動が困難な人への移動支援。高齢者への定期的な声かけ。

効果：運転が困難になりなかなか外に出なくなった人も移動手段があることによって生活にメリハリができる。このシステムを利用してくれる人たちとは定期的に会うことになるので、それぞれに自然に声かけができ、体調が悪くなった場合にすぐに対応できる。また、孤独死などを防ぐこともできる。

期間：毎日

対象：運転手…20～50代、利用者…60～90代

48【ハンモックで昼寝会】

概要：折りたたみ式ハンモック、簡易式ハンモックなどを、仕切をした境内（芝生などを敷くことができればなお良い）の一面などに設置して、自然を感じながらリラックスしてもらい昼寝会のようなものをおこなう。

目的：自然と親しむ中で、心の平安、安定を得る。ゆったり流れる時間を体験する。癒しの体感。

効果：ハンモックでのんびりする体験を通して、生活リズムをリセットすることができ、それ以後の仕事や生活への活力を生み出す。

期間：半日～1日

対象：20～60代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P23	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

49【親子会】

概要：親と子が心おきなく遊べる場として本堂、あるいは境内を開放する。あるいは親と子が協力して行う作業や遊びをイベントとして企画する。

目的：親と子のつながり強化。子を持つ親同士の交流。子ども同士の交流。

効果：遊びや作業を親と子が一緒におこなうことにより、親子のつながりがさらに強化される。また、親同士が子どもに関する様々な悩みを共有することで、育児の助けにもなる。

期間：1時間～1日。定期的におこなう。

対象：子どもとその親

50【夏祭り、正月等での境内開放、実行委員会方式での運営】

概要：お寺の境内を開放して、季節のお祭りや農作物の収穫祭、正月の初詣など人を集めるイベントをおこなう。その際には実行委員会を立ち上げ、できるだけ地域の人々に運営から関わってもらう。

目的：様々なイベント・お祭りに地域の人々に主体的に参加してもらう。地域の人々の交流活性化。

効果：自分たちでイベント・お祭りを運営することにより、地域への愛着が生まれる。また、日々の生活にもメリハリが生まれ、モチベーション向上にもなる。

期間：実行委員会として1年間、定期的にあつまる。イベント・お祭り自体は1～3日程度。

対象：20～60代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P24	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

4. まとめ

地域の活性化とは、そこに住む人々の人生がより良いものとなり、笑顔が絶えず、日々の生活が充実していることを目標とするべきである。主役はあくまで地域の人々の生活でなければならない。そして、地域社会のために行われるお寺の活用も同様でなければならない。

昨今、地域活性化とは、沢山の人や物をその地域に集めること、あるいは地域の物を売ってお金を儲けることであるというような印象が強い。しかし、物やお金といったものは、あくまでもその地域に住む人々の生活をより良く向上させ、幸せに生活するための手段に過ぎない。しかし、物やお金を求めすぎることが、その地域に住む住民の幸せを、逆に奪ってしまうことがたびたびある。

良質な地域住民の生活や人生の幸福には、何を置いても人それぞれのつながりが重要となってくる。人を人たらしめているのは、他の存在（この場合の存在とは、人に限らず、動物や植物、情報や知識も含まれる）とのつながりなのである。人が、今の状態から別の状態に変化する原因は、他の存在とのつながりの中にしかない。今の状態から幸せな状態になれるのは、良いつながりがあるからである。今の状態から悪い状態になってしまうのは、悪いつながりがあるからなのである。

地域社会のためのお寺活用を考える時も、当然このつながりの重要性を無視することはできない。地域をより良く活性化させようと思うのなら、良いつながりを重視した活動をしていかなければならないのである。先に挙げたアイディアのリストについても、人と人とのつながりという視点から、活動を行われなければ全く意味をなさないであろう。その点では、つながりの重要性を最も理解しているお寺・お坊さんは色々な活動・イベントを行う上では最適なのである。

それらをふまえた上で、地域社会・お寺の分析・分類をしっかりとこない、現状を十分に把握し、リストアップしたそれぞれのアイディアを、分析・分類にもとづきアレンジしていただき、自由に活用してもらいたい。

防災拠点	女性会議	人生相談	国際貢献	寺子屋ほか	55才	男性
NO.192	P2	勉強会／真剣な話し合い／相談窓口／まつり型イベント／ボランティア支援				
						⇒ジャンルへ

事業名：国際貢献体験塾

趣旨：
 ・オーストラリアの学校建設等への次世代僧侶候補や檀信徒の子弟を二国間交流の体験派遣の機会を
 ・6～10歳の子ども達に「感謝」「我慢」「自立」「友情」などの体験を通して、国際貢献の意義を
 ・費用は熊本の市町村や寺で賄われる。

事業名：寺院を利用したボランティア体験塾システム

趣旨：寺院を利用して、様々なボランティアの体験や実施の受け入れや支援を行う。被災地のお寺等を利用してのボランティア受け入れや宿泊、食事の提供、内容や安全対策、医療体制等マニュアルやシステムを防災会議等を通して宗門で作成し、ある程度基準を満たすボランティア受け入れ寺院に人や金の支援を行い地域復興の礎となる寺院利用。

事業名：寺子屋「文化体験塾」

趣旨：地方の田舎ではお寺だけが地域コミュニティの場である場合が多々見かけられる。塾や文化教室などのない地域は時として退屈であり人々が文化や歴史に触れる経験を奪っている。
 そんな地域の体験や文化、ちょっとした習い事の「場」を作り提供し多くの地域住民が集えたら良い、習字、茶道、華道、和洋裁縫刺繍、絵画、行儀作法、料理など、住職や寺庭、檀家や近所のボランティア等得意な人を招き趣味と交流の場を提供出来ればと思う。広がれば参加者が次々アイデアを出しもっともっと広がりを見せ、地域の力が地域の活性化を図ると思う。

ポイント：お寺の敷居を低くすること

地域の出来るだけ沢山の人を巻き込んだ事業とすること
 近隣他寺（日蓮宗以外も含む）との連携や交互開催なども面白い
 施餓鬼や写経などは日蓮宗他寺とも連携や交互開催なども面白い

防災拠点 女性会議 人生相談 国際貢献 寺子屋ほか		55 才	男性
NO.192	P3	勉強会／真剣な話し合い／相談窓口／まつり型イベント／ボランティア支援	
			⇒ジャンルへ

事業名 : お母さんの駆け込み寺「子育てほっとルーム」

趣 旨 : 民生委員、児童委員をしていると時々感じるのだが、核家族化が進む中で、子育ての苦手な、相談相手を持たない母親が増えている。時として不幸な事故も新聞やマスコミをにぎわしている。

当寺でも副住職夫妻を中心に連紹寺C A F Eとキッズルームを定期的に開催し同世代の子を持つ夫婦の交流の場やお茶の飲みの場を提供しているが、とても良いことである。

町の真ん中ならいざ知らず、地方の田舎ではお寺だけが地域コミュニティの場である場合が多々見かけられる。そんな中子育てが苦手なお母さん、悩みを持つお母さん、少しの息抜きをしたいお母さん達のため、お寺がその場を提供出来たら素晴らしいと思う。

もちろんお寺自体がそれを行うには負担が大きいですが、月に1～2回子育てを終えたお母さんやお婆さんが若いお母さんや赤ちゃんと過ごす場や時間を提供し心配ごと、悩み、愚痴でも話せる場があれば良いと思う。地域の児童委員さんやボランティアを巻き込んで「場」を作り提供し多くの地域住民が集えたら良い、お父さんの日や不登校児童の日、親子の料理教室、行儀作法、座禅や修養道場へのきっかけとなればと思う。

ポイント: お寺の敷居を低くする

地域の出来るだけ沢山の人を巻き込んだ事業とする
お寺以外の支援者を沢山募る
無理のない範囲から始めていく

防災拠点 女性会議 人生相談 国際貢献 寺子屋ほか			55才	男性
NO.192	P4	勉強会／真剣な話し合い／相談窓口／まつり型イベント／ボランティア支援		
				⇒ジャンルへ

事業名 : 「いのりんびっく」IN 連紹寺

日 時 : 2012年～13年

場 所 : 島根県出雲市連紹寺境内

趣 旨 : 2011年度島根県でいのりんびっく「いのちだんだんフェスタ」が開催された。出雲市連紹寺も飲食部門の担当で20名近いスタッフで出かけた。当日打上げの席でスタッフが言い出したのは「出雲」で「連紹寺」で開催しようとの意見でした。

予算やスタッフから決して大きな事は出来ないがお寺の規模にあった独自の「いのりんびっく」を開催したい。

連紹寺では18年前、ちょうどオウム真理教事件、地下鉄サリン事件等、若者がおかしな宗教に惑わされたり行き場所を探し求めている時、青年会を立ち上げ檀家や地域の青少年の居場所作りを始めました。

現在も沢山の事業の中、檀家、信徒を始めその友人やボーイスカウト関係者やOB、国際交流グループ関係者、男女共同参画関係者、四方綱引き参加チームの地域の小学生、中学生、高校生、清掃奉仕の中学校バスケット部員、手芸関係、子育て関係等々本当に様々な人がお寺を訪れてくれます。

18回を数える夏祭りでも催し物は地域のエンターテイメントの皆さん（吹奏楽・合唱・手品・神楽・太鼓・トランペット、ダンスチームなど）をお呼びし交流を続けています。

今、お寺には何にも代え難い人材のネットワークが出来ています。そんな人・仲間達と一度命の尊さやありがたさ、大切さを語り合うと共に震災や津波、水害等で大変な思いをしている人たちにも思いをはせる時間を持ちたい。

他のお寺にもきっと様々な人的交流や人材、素材が有ると思います。私たちが寺院単位で行う小さな小さな「いのりんびっく」の

スタートを切ることで全国に「ミニミニいのりんびっくの輪」を広げていきたい。そして日蓮宗の三つの想い「心」「社会」「人」を育てていくため、自分たちで出来るさまざまな交流のスタートとしたい

防災拠点 女性会議 人生相談 国際貢献 寺子屋ほか		55 才	男性
NO.192	P5	勉強会／真剣な話し合い／相談窓口／まつり型イベント／ボランティア支援	
			⇒ジャンルへ

「いのりんびっく」IN 連紹寺 (案)

対 象 : 日蓮宗会員・出雲近辺日蓮宗寺院・中高校生・一般市民・留学生・
担 当 : 飲食スペースの開設 (連紹寺檀信徒・近隣寺院・出雲の台所スタッフ・その他)

スタッフ: 連紹寺檀信徒・近隣協力寺院・ボランティア (中高校生・近隣住民・檀信徒友人・一般) 他

予 算 : ◆未定・チケットにて販売

内 容 : ◆法要・法話・講演会 (東北の被災地より)
◆展示
・パネル展示 他寺活動・日蓮宗 (宗門より)・いのりんびっく資
料・他
・写真展示 他寺活動・日蓮宗 (宗門より)・いのりんびっく資
料・他
・その他展示 連紹寺活動 (写真・刺繍など作品展示・他)
◆模擬店 (食べ物:トレイ:マイ箸)
たこ焼き・焼きそば・焼きトウモロコシ・おでん・カレー・ポッ
プコーン・ラーメン・串焼き・おにぎり・綿がし・揚げ物・そば・
うどん・その他
◆模擬店 (飲み物:紙コップ:マイグラス)
ジュース・ビール (生・ギネス樽)・カクテル (バーテンダー協
会) お茶・水は無料
◆ゲーム
風船釣り・輪なげ・スーパーボールすくい・射的・型抜き・フィ
ッティング・キャンディーのつかみ取り・
◆イベント
・ステージイベント・歌 (参加者全員)・タイムサービス・抽選
会・
・一人一針 (平和と平安を祈って参加者から一針ずつ戴く)
・震災者へのメッセージボード作成
・夢書き込みボードの設置・護摩木に祈りを書きもやす
◆募金及び寄付
震災被災者のための寄付 (いのちの共有・感謝・お裾分け)

(概要)

寺放れの現象は確かに有る。しかしその情
報格差はるだ僅かな事例に過ぎず、檀信徒と
して甚だ遺憾極まる現実だが、私はそれ程深
刻な問題として受け止めていない。その理由
として原因は現在の政治、経済と教育に影響
されている一過性の現象と思われる。更に細
かく分析すると

(一) 仏教を軽んじ先祖を軽んじる風潮が有る

(二) 政治と教育による

(三) 葬儀や法要等に重きを置かない習俗放れ

(四) 教育、経済による

(五) 水葬、風葬、山葬等散骨する傾向が有る

(六) 教育、政治、偏りに自由思想

(七) 寺院、住持との交流の衰退

(八) 教育、政治

(九) 地域差による墓所の高騰

(十) 政治、経済

等々である。しかし大局的に見れば政事も

教育も経済も一個の歯車であって大きなサイ
クルによって安心出来る社会に戻る。とは至極
楽観的過ぎる様だが深刻な問題は回避する必
要が有る。それは努力によって善処する事で
ある。

本来、寺院の存在は地域社会と一体となり、
檀信徒によって精心的原拠で有り生活に深く
関りを持つ、対称であつた。寺と地域の住民
との本来の形に戻す事は接点を多く結ぶ様に
努力する事ではないだろうか。熱心な檀信徒

は別として寺を中心とする一般住民の参加が
重要なのである

(寺院の活用システム)

第一義は寺の住取と地域住民の成人、児童、
性別を問わず接点を持つ事を優先に考え実施
する。特に将来を考え児童の情操教育の一環
として寺院内で涵養指導の必要性有り。

人間の形成は先ず児童期に於ける教育と環境
とによつて基盤が固まるが学校と家庭の両教
育の問題となつてゐる現在、その中間的役割

が必要不可欠ではないか。寺院の活用システムとしての役割りが出来るのかを考え具体的な例を挙げてみる。

(一) 寺院内は極く一部を除き自然の景観が見られ広庭有り樹木も有り実に清澄な環境を備えている処が多い。又茶堂や庫裡等も広く問題無くれば充分に活用出来るスペースである。従って寺院内を接点として役割りが可能となり教育、有趣味の場、練習の場、遊技の場として広く有意義に利用出来るのである。

範例として大きく成人と子供に分け学習、遊技等は同列に示した。

一、児童(幼稚園〜高校生位迄)

(屋外) 柔剣道、馬跳び、アトベンチャーゲーム、ドッジボール、飛箱、紙飛行機、野焼き(軟陶器を焼成する)、石蹴り、縄跳び、缶蹴り、立木登り、相撲、古代火起し体験、等

(屋内) 補習的学習、珠算教室、外国語教室、物語りの会、百人一首、囲碁、将棋、囲画、

工作、粘土細工(縄文弥生式土器等)、扇作り、折紙、カルタ取り、等

二、成人(老令でも自分を用事能う人、車椅子の人を付添者有り可)

(屋外) 金葉造り、陶芸の焼成、野焼き(野焼きとも云う軟陶土器を焼成但し消石灰有り)、菊作り、石仏彫刻、オブジェ造り、体操、気功、ゲートボール、バダーゴルフ、バードウォッチング、天文観測、柔剣道(柔道は古堂ともいう)、居合、等

(屋内) 俳句、短歌、囲碁、将棋、万葉集等の研究、日舞、洋舞、フラダンス、カラオケ

(増設予定) 面打ち、木工、仏像彫刻、着付、ストレッチ、昔話、和楽器稽古、等

右の各プログラムは寺院側の考えにより、旺日、時間滞等設定、檀信徒、世話人にプログラムの等を広く宣伝する協力を求める。尚、時間の許す範囲で住取、世話人も各プログラムに参加する事に成功に繋がる。以上

アイディアの概要

「劇団U」は平成五年に県民文化祭を機に発足し、今年で二十年目を迎えます。
 毎年一回の定期公演の他、各種施設慰問や各種イベント参加等の活動が続けて来ましたが、
 現在の会員数は二十名ですが、公演時には、準会員や有志の協力を得て活動が続けてい
 ます。会員は20才代～60才代迄の幅広い年齢層で、その職業も、公務員、自営業、
 建築業、印刷業等、多種多様です。
 シタリオから入道具、小道具、印刷、舞台衣装、メイク等、全て手創りの活動は、この二十年
 間、地域の皆様にあたたかく支えられて参りました。
 平成二十三年七月には八千代座（国指定重要文化財）にて公演を行い、満席のお客様
 に、笑いと、涙と、大きな拍手をいただくことができました。
 初演のこの様な演劇（肥後にわか）活動をおまの活性化につなげる事が出来
 るのではないのでしょうか。

御参考までに平成二十三年度公演の時の資料をお送り致します。

公演料につきましては、交通費、運営費他をお願い致しております。



おみごと！八千代座初舞台

7月2日、榎木町の劇団Uが満席の八千代座にて、演劇「お侍ちなつてば」を熱演しました。本公演チケット代の一部は、東日本大震災へ寄付として届けられるそうです。

演劇

お待ちなつてば

脚本 岸野富美代
監督 吉村 政臣

日時 平成二十三年七月二日(土)

開場 十三時三十分

開演 十四時

場所 八千代座(山鹿市)

まけるな日本!
底から立ち上がろう!!

出演 劇団U(植木町)・山鹿市民の皆様

主催 お待ちなつてば公演実行委員会



----- ごあいさつ -----

実行委員長(脚本)
岸 野 富美代

本日はご来場頂きありがとうございます。

舞台は江戸の長屋。不況に嘆く住民たちが知恵を出しあい、助けあい、たくましく生きて行くという設定は、今まさに「日本」に求められている姿では

ないでしょうか？

3.11の東日本大震災の爪あとはいまだ深く、復興に向けての道のりは長期に渡ると思われます。

長屋はまさに「被災地の仮設住宅」を連想させられます。

被災された方々の体験談を聞くにつけ、私たちのDNAの中には江戸時代の人々の気質が残されていることを再確認いたします。

復興に向けて、遠く離れた熊本からのエールが届くことを願っています。

また、本公演に際し、多くの方々のご理解・ご協力を頂きました。

その過程におきまして「お主も大変じゃのう〜」と、相互理解の大切さを痛感いたしました。

最後に、上演趣旨をご理解いただき、八千代座公演にご協力頂いた皆様、ご来場下さいました皆様、御協力いただきましたスポンサー各企業、団体の皆様にも感謝の気持ちでいっぱい御座います。心よりお礼申し上げます。

----- ごあいさつ -----

劇団U代表
岸 田 孝一

今回、劇団U山鹿八千代座公演に御来場いただき誠にありがとうございます。

私達劇団Uは平成5年に県民文化祭参加「植木学校」に出演以来、今年で19年を迎えます。

この間、植木町の西暦戦争にまつわる劇を中心に活動し、又各地域のイベントの公演依頼にも積極的に参加し、「肥後にわか」を上演してきました。

国の重要文化財として指定され、本格的芝居小屋山鹿八千代座での初舞台という事で、団員全員が気持を引き締めて全力で演技に集中しています。

今回の物語は、江戸時代、長屋の住民達は、家賃も払えない生活が窮した中で「元武士と娘」、「元闇歌」、親思いの「熊」、女房に逃げられた「竹」、元梅屋の長男「お寅」らが知恵を出し合いながら、珍楽屋でお金を稼ぎ、お互いを助け合い、思いやりながら生きて行く姿を取り上げました。

折しも未曾有の東日本大震災にあわれた人達に励ましの意味を込めて皆様の御来場チケットの一部を寄付させていただきます。被災された皆様の変えになれば幸いです。

どうか私達の熱演をお楽しみ下さい。本日は誠にありがとうございます。

劇団U プロフィール

年 月	内 容	演 題	会 場
H. 5	4 旗揚げ公演に向けて劇団結成	創作グループU結成	榎木町役場
	11 第6回県民文化祭参加、旗揚げ公演	榎木学校	生涯学習センター
H. 6	2 榎木町観光ビデオ制作 出演	西南の役田原坂の戦い	田原坂公園地
	4 荒尾をメジャーにする会主催 八郎列軍参加	榎木学校 寸劇	八代 河川敷
	10 第1回自主制作グループ発表会	美少年	生涯学習センター
H. 7	4 荒尾をメジャーにする会主催 八郎列軍参加	榎木学校 寸劇	八代 河川敷
	10 第2回自主制作グループ発表会	水香の結託	生涯学習センター
H. 8	10 第3回自主制作グループ発表会	腹に心もそぞろ、 我が恋しの腹たち	生涯学習センター
H. 9	8 榎木町商工観光課主催 観光イベント参加	西南の役田原坂の戦い 模擬戦	J R榎木駅構内
	10 第4回自主制作グループ発表会	水香の結託	生涯学習センター
	11 第12回国民文化祭出演	水香の結託	四国 香川県
H. 10	1 創作グループUから襲名	「劇団U」	本田食堂
	10 第5回自主制作グループ発表会 玉童中、榎木高校生徒計18名参加	君なら大丈夫だよ	生涯学習センター
	11 榎本市主催お城まつり	水戸黄門一行	上通り～榎本城
H. 11	8 榎木町商工観光課主催はってん祭 出演 コール榎木、真野氏、榎木氏 友情参加	小野町誕生伝説	生涯学習センター
	10 第6回自主制作グループ発表会	人生が二度あれば	生涯学習センター
	# 榎木町暴力追放町民大会 公演	にわか「おやじの償い」	生涯学習センター
	11 榎本市主催お城まつり	水戸黄門一行	上通り～榎本城
H. 12	10 榎木県交通安全協会県民大会 参加公演	肥後にわか 「注意!秒ヶガ一生」	山鹿市カルチャー センター
	11 榎木県暴力追放協議会 参加公演	にわか「春が来た」	生涯学習センター
	# 榎本市主催お城まつり	水戸黄門一行	上通り～榎本城
H. 13	年間 記念公演に向けての準備	劇団U創立10周年	榎木町
H. 14	10 劇団U創立10周年記念公演	美少年	生涯学習センター
H. 15	3 日赤健康センター創立25周年 記念公演参加	悲愁の丘	榎木県立劇場

-3-

(キャスト・スタッフ)



年 月	内 容	演 題	会 場
H. 15	4 菊池養生園祭 参加公演	にわか「夢が来た」	菊池養生園
	# 第1回肥後にわか大会 3位入賞	にわか「おやじの償い」	榎木県立劇場
	6 ほたる祭り 肥後にわか公演	にわか「おやじの償い」	沼水町三万田地区
	7 輪和庄夏祭り 肥後にわか公演	にわか「夢が来た」	老人ホーム輪和庄
	8 榎木町はってん祭 地元協力出演	熱血ジャッキー	お祭り広場
	8 山鹿灯籠祭り 肥後にわか公演	にわか「おやじの償い」	山鹿市青年会館所 大宮神社特設舞台
	10 劇団U 秋の公演	「悲愁の丘」	生涯学習センター
	11 榎木町暴力追放町民大会 公演	「西郷さんの側面」	生涯学習センター
H. 16	3 榎木町地域福祉フォーラム	夢が来た	生涯学習センター
	4 肥後にわかアマチュアコンクール		榎木県立劇場
	10 祝新卒者成記念		松浦町
	# 定期公演	旗刀陣の歌	生涯学習センター
	11 歌と踊りの会 参加協力		生涯学習センター
H. 17	2 にわか公演		統願寺
	3 にわか大会 金賞受賞		富合町
	5 町制50周年公演	榎木学校	生涯学習センター
	8 にわか公演		コスモス苑
	11 にわか公演 暴走大会		生涯学習センター
H. 18	2 統願寺にわか公演		統願寺
	4 にわか全国大会		国際交流会館
	10 健康協会にわか公演		生涯学習センター
	# 小町まつり にわか公演		小野の泉水
	# 暴力追放大会 にわか公演		生涯学習センター
	12 大和25周年 にわか公演		大和公民館
	定期公演	軍謀のゆくえ	生涯学習センター
H. 19	11 榎木県・榎木町暴力追放大会	「私は負けない」公演	生涯学習センター
H. 20	5 定期公演	なお	生涯学習センター
	11 暴力追放大会 にわか公演		生涯学習センター
H. 21	5 定期公演	お待ちなれば	生涯学習センター
	12 認知症フォーラム		生涯学習センター
H. 22	3 地域伝統文化交流		生涯学習センター
	9 田原校区敬老会にわか出演		田原小学校体育館
	11 竹原牧場におか出演		阿蘇市
H. 23	2 グリーンコープにおか		パレア

H.23 7. ハナ代公演 お待ちなれば 山鹿市・中代産
H.23 10. ミコガハ祭参観見物 にはわか 豊田町

クリスマスは盛大にお祝いをするのに
 どうして 旅まつりは お寺で お参りするだけ
 なのか とても不思議なことです。
 でも 家に お寺でもと 盛大に 家でも
 色々な人達から クリスマスカンタートをお祝いしたら
 楽しいのに... と思っているようです。
 その時に 子供達に 仏様のお話を聞かせて
 くれれば お寺の中を見せてくれれば いいと
 言っていました。
 子供達が 興味をもって来てくれると
 とても良い事ではないかと思えます
 子供の頃から 足を運んでいって 大人になって
 お寺で何? いろいろ? とか 何するの? とか
 そういふ言葉を聞きます。
 もっとも 子供達に 活用してもらいましょう!!



クリスマスはどこのお家でもごちそうをたべたりプレゼントが
 あたりしてみんなでお祝いするのになんで
 おしゃかさまのたん生誕祭はないのですか? もっとみんなで大のしく
 お祝いできたらいいのにとおもいました。
 お寺でほとけさまの話を聞ける日があるといいと思います。
 わたしはもっときしぼじんさまのお話を聞きたいです。

乳幼児、児童の時間預かり		不明	不明
NO.201	P1	同じ趣味の会／境内・伽藍の開放／土地を貸す／公園化 一般年中行事／情報発信	
			⇒ジャンルへ

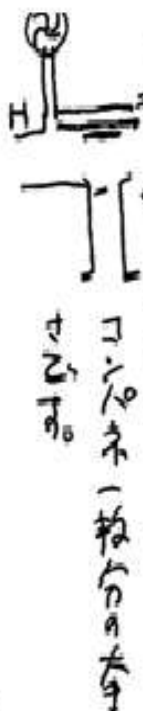
地域社会のための、お寺の活用アイディア

家内は元保育師。寺内で役立つ仕事を探そう。乳
幼児、児童の時間預りを実施。一時間〇〇円から、四、五日
何回、何年もの例もあり。入園まで預り、母、祖父母が
若い母と子のグループの集いがあり、接触あつた。所
なし（又は少ないとある）そこで境内開放し、毎秋深
いころ、焼芋大会と昼食会実施。本堂でお昼寝
フリマ、演芸会も以前はしたことあり。カルタ大会も。

知名度も、お寺の姿勢を力
づけて、元めには、今も、実施

丁字路つまり、ガードレールに
場末極限まで、行事を有収入

す。第一報停止しますから



地元新聞に不要本と其の
文庫、新刊、コミック、絵本、この
ついでに、八月、九月、十月、

今迄の事は死に對する面であつたが、考へて思ふ所
同じ人知らぬとせしめて死ぬるの心から生死を主とする
ニんかうをもあきらむべきである。
我々の進むべき道
此れを終らせんとすべし。

例として香院のハント附従僧は。臣師の御前には
一般への申し渡りをする心をもちます。
きよさなりの附従。農園・健康・食生活など
④介護ホームの附従その他

バザー		もちつき大会	焼きいも	映画大会	演奏会	56才	男性
NO.207		P1		展示会／一般年中行事／仏教年中行事			
							⇒ジャンルへ

＜活性化アイデア＞

お寺の境内を活用して、

バザー・もちつき大会・

枯れ葉（落ち葉）清掃と

焼きいも（地域消防団と協力）

屋外映画大会・小・中学校

演奏会（ブラスバンド等）

拝観・体験・感動する寺になる

- ①寺の三要素「仏像」「建築」「庭園」と最近
は、いやし雰囲気＝スピリチュアルスポット
(パワースポット)として、やすらぎを与える
「勝ち組」寺を学ぶべき。座禅や写経で
心静かに自分と向き合う場所として地域に
提供する。お寺さまと日頃のお付き合いは
ないというのが大多数の現代人ですが、
八割の人は仏教によって故人を見送ってい
る「葬式仏教」だけのイメージを脱皮。
- ②お寺のご利益として「聖天さん(歓喜天)」
商売繁盛やお金にまつわるご利益としてPR
※仏教の教典「七難即滅」「七福即生」で三つ
の国の神を祀った「七福神めぐり」地域縁起
コースを作る(各寺が協力)
- ③土地と歴史人に敬意表せる「聖地」を参拝
する「寺ガール」ブームに便乗すべき。
- ④地域の寺の宗派発祥の地PR。
例、日蓮聖人立教開祖の地「千光山・清澄寺」
曹洞宗は「道元」永平寺。
- ⑤ポックリ地藏や観音様と仏教は多仏であり、
地方でも参詣も盛んであることにヒントを得よ

① 『お寺^デ de 食巡りウォーキング』

町の数ヶ所のお寺の敷地を利用し、各地点に食べ物(飲み物)を用意。オリエンテーリング式に順に町をウォーキングしながら、お寺に立ち寄り食べたり楽しみつつ次のポイント(寺)へ巡る。

地元民にも協力をあおぎ、できれば地元の食材を使用できたりすると活性化につながると思う。自然の多い地域だと風景も楽しめたりいにむかうと思う。

参加者には食事代を支払ってもらい各ポイントで受理のスタンプ等をもろうようにしてもらう。食事の内容も色々工夫したりして次につなげる。四季ごとに開催をやい





と思う。

① 活性化アイデア

- ・老人は別にして、青少年・壮年の者にとって「お寺」は具体的な活動が見えないので近よりがたい。
- ・青少年にとって魅力ある「お寺」とは何か？……行ってみたい！
見てみたいから「和尚」の話も時には聞いてみたい……青少年をひきつける
「音楽会」「餅つき大会」「白蓮さまと元寇映画会・紙しばい」etc
- ・まず行動(やって)してみる事で次にやるべき魅力あるものが見えて来るのではないかと思う

月一の集い 寺子屋 フリーマーケットなど	不明	女性
NO.212	P1	土地を貸す／相談窓口／一般年中行事
		⇒ジャンルへ

 おにぎり、おみすひ、いなり寿司(α日、
 胸針大根(α日、炊き芋の日...など。

 月1回位(土日とか) 誰でも参加して
 参加できる集いの(献金で)
 〇放課後の寄り所、寺子屋。
 〇土日祝も交代でボランティア等が話し
 相談(就業、他対応)に集る。
 〇フリーマーケット、物の交換、物を活かす会。
 〇乳児が抱っこ遊び所。
 人來い時に、と来て何気なく世間話して
 (ひらいて) お互に常々、怪し相談しあ
 いあめ 安らぎに眠り 明日をにげいかうに
 なってほしい。
 〇今の淋しい、暑やT=バでも温かになる戸外
 (ていこうT=い。戸外にありあてです。智慧を
 T=いあて笑顔で集るような想いで。

。児童の情操教育の場

もうすぐに行、てい。寺院も、か
 がもしれ。その。児童の情操
 教育の場として、宿：白研修
 やキャンプ、坐禅会など、い
 い。な。形で。活用。できる。と。思
 い。ます。実際。に。私も。お。寺。に
 宿：白し。キャンプ。も。したり。坐禅。も
 したり。講話。も。聞いたり。しまし。た
 が、児童も大人も日常。も。は。な
 れ。て。お。寺。の。心。安。まる。空。間。の
 中。で。の。休。息。も。が。で。き。ます。お。寺。は
 も。し。も。と。は。地。域。の。中。心。で。あり。教。育。に
 して。重。要。な。所。で。児童。の。教。育。面。で
 活用。を。図。れ。ば。よ。い。と。思。い。ます。

お寺でお店		15才	男性
NO.218	P1	まつり型イベント	
			⇒ジャンルへ

活性化アイデア

「お寺でお店」

寺院のたてものの一部を無料(もしくは少額の確)で1日〜1週間単位で貸し出し、借り手は、そのスペースでお店(雑貨屋、レストラン)などを開くことができる。

利点

- ・寺院でやるのが場所がとておあがりやすい。
- ・これからお店を出したい人のためとして利用することができる。
- ・多くの人々が寺院に定期的に立ち寄ってくれるようになる。

お寺は、心のコミュニティー		67 才	男性
NO.222	P1	同じ趣味の会／セレモニー／境内・伽藍の開放	
			⇒ジャンルへ

「お寺は、心のコミュニティー」

- ① お寺は一般的に檀徒を、中心の行事で、活動しており、此の点の工夫が、必要である
- ② お寺と観光との結びつき、
- ③ お寺の歴史を掘り出す
- ④ お寺に、まつわる祭りの企画
- ⑤ お寺に、集まった人を、飽きさせない
- ⑥ お寺に、日常的にお茶を飲み、お話しができ、聞いてあげる場所
- ⑦ 縁日、少なくとも月に1回
- ⑧ 動物の供養を、盛大におこなう
- ⑨ 信仰により集まり
- ⑩ お上人の徳、人気
- ⑪ 子供たちを集める工夫「親も参加する」
- ⑫ お寺のキャラクターを作る
- ⑬ お寺の「ご本尊」以外の、者で人を集める
- ⑭ お寺の、周り歴史から考える
- ⑮ お寺の、者に見て又触れる「例、仏像」
- ⑯ お寺と、他のお寺とのジョイント。イベント
- ⑰ お寺として、宗派をこえての、考え方も必要ではないか

* ここで紹介いたします。長野県 駒ヶ根市赤穂、日蓮宗大法寺「ご本尊、以外の者で人集め」檀徒が、約 250 軒と小さなお寺であります。特に取り立てて、話題性のあるお寺ではありませんでした。本堂の右側奥に小さな、朱色の祠がりましたが、誰しもが気にはしていましたが、取り立てて如何することもなく今日まで着ました。お上人に聞きましたら、長野県では珍しい「最上稲荷大明神」とのことで、お寺御興し、町御興しに一役かていただきたく、バスを仕立てて、岡山県最上稲荷へお参りに行ってまいりました。今年の春4月に、大々的にお祭りを、企画して準備をしてまいりました。

イ・・・朱の昇旗の奉納、320 本

ロ・・・油揚げの奉納

ハ・・・駄菓子、オモチヤ、宝投げ、爆弾菓子の実演、「お寺の世話人が準備」

ニ・・・大法寺餃子

ホ・・・大法寺飯頭「10 円飯頭」

ヘ・・・大法寺お上人による、法話

ト・・・大法寺、祈禱

チ・・・狐の、「着る、ぐるみ」

リ・・・豚汁、甘酒

多くを、計画、準備しておりましたが、東日本大災害の為、延期となり、平成 23 年 10 月に、規模を縮小して、開催いたしました。「最上稲荷大明神」を中心とした。人とのコミュニティーの場として、お寺を盛り上げて生きたい、上記に箇条書きしました内容は、どこのお寺でも考えられると思います。

●はじめに

「大都市偏重」と「地方過疎化」の現況

2011年3月11日の東日本大震災以後、ことさらに「絆——きずな」「縁——えにし」「コミュニティ——地域社会」といったことばがことあらためて頻繁に使用(濫用)されています。

かえりみれば、この大災害以前から「地方過疎」「限界集落」「シャッター商店街」、はたまた「医療施設無縁地区」「老老介護家庭の激増」「高齢者の買物難民群」などなどの忌むべき現象は、とうに現実化していました。

現在も、鉄道主要駅に大規模ショッピングセンターや、高速道路のインターチェンジなどと連動する大型複合ストアの開設などの影響で、従来の地域社会の変質と衰退現象は否も応もなく深刻化しています。

一方、バブル期に鳴り物入りで喧伝された「ハコモノ行政」の産物である各地の豪華なホールや設備は、「町おこし」や「住民の文化交流」にはまるで実効なく、いまやその管理費や維持費にさえも苦慮していると報じられています。

こうした憂うべき現状に対して、国家の財政破綻が問題化している昨今、政府や行政からは積極的で有効な改善策が提示されないばかりか、あきらかに責任放棄——といえるのが偽らぬ現状といえます。

地域交流拠点としていまこそ活性させたい 「わが町のお寺さん」

年末年始、有名寺社は参詣人で雑踏をきわめます。

そして、ふだんはごぶさたしていた町の人々も競って「わが町のお寺さん」へいそいそと詣でます。

たぶん——新設された文化センターやコミュニティセンターには、年に一度も訪れたことがない人々も、昔なじみの寺社には、家族・友人・お仲間を誘い合って嬉々として集うのです。

たとえば、いま手もとにある資料本「大江戸お寺繁盛記——お寺は総合企業だった！」(平凡社新書／安藤優一郎著)や、「江戸・もうひとつの風景——大江戸寺社繁盛記」(読売新聞社／鈴木一夫著)をひもといってみても、江戸時代の寺院とその周辺(門前町)が大名や武家はもちろん、一般の庶民にとってもいかに魅力的なゾーンだったかが、豊富な事例とともに紹介されています。

いや、寺院そのものが日頃の手軽なお楽しみや息抜きや、四季にちなんだ行楽の場所でもあったことが記されています。

とりわけ、熊さん八っあんから長屋の連中、さらに大店の経営者やそこに働く「庶民・大衆」にとって、そこは「かけがえのないコミュニティゾーン」でもあったことがわかります。

いまこそ、「わが町のお寺さん」がかつての寺院のように「一般庶民が365日、楽しめる場所」として、あらためて強くアピールするまたとないチャンスと考えられます。

各地の寺院の存在を 新イメージでアピールすることを

「伝統のあるお寺」「格式のあるお寺」「おなじみのご近所のお寺」といった既成評価は温存するとして——。

やはり、「かつてはまるで関わりがなかった人々にも気軽に
来て頂きたい」——そんなコンセプトから、いまあらためて留
意したいアピールポイントを図式化すると——

ご近所のお寺さんだけと…



へえ！
そんなお楽しみがあるの



こんどは出かけてみるか！

といった日常レベルでのモチベーションをさりげなく、確かに送り届ける
必要があります。

そのためのレギュラーの催しとして、良質のエンターテインメント企画の
具体化が必須です。

すでに、テレビの娯楽番組の質の低下や幼稚化で、心ある人たちは、明
らかに「テレビ離れ」を起こしているといわれます。

また、幼い子どもたちや若者らは、商業主義の産物である「アイドル商
法」や「ゲーム漬け」にさらされ、「心を通わせ合う」といった場所から隔離さ
れるばかりです。

人のぬくもりのあるところ——「ご近所のお寺さん」で、その不満を満たし
てくれるエンターテインメント(ライブ)が味わえるならという、親しみのもてる
「動機」をぜひ創造したいと意欲します。

地域活性と町(村)起こしの 主軸としての位置づけ

すでに、地域活性や町(村)起こしを目的とする活動では、もっぱら「ご当地B級グルメ祭」などが話題を集めています。

しかしながら「焼そば」や「らーめん」を主役にしたその内容には、親近感や普遍性はあるとしても、知的好奇心や心的充足感を得るものとは縁遠いといえます。

しかも、催事としては「年一回」という頻度では、「場所——寺院」になじみ親しむという条件を満たすことにはなり得ません。

今回の企画では、寺院所在地とその周辺地域の住民の皆さんとのコミュニケーション(新しい親和と交流)を確固たるものにするために、寺院と信徒檀徒の方々を中核に、そのご家族、そのお仲間への広がりを拡充することに専心します。

さらに、ご当地の青年壮年有志との協力を得て、寺院所在地のコミュニティに対して、積極的なアプローチ(参加者の拡大・拡充をめざす)を推進したいと考えます。

政府・行政がすでに放棄している「質の良い地域社会の復活と活性維持」はいまこそ「ご近所のお寺さん」が担うべき——といえないでしょうか。

一般の人々にもアピールする 「吸引力のある企画」で

寺院の本堂などのスペースを活用した最近のエンターテインメントの催事には、すでに——

読み語りの会・落語会・詩の朗読会など、さまざまな企画が実行されています。

その他、演劇の小公演などから、時として小編成の楽器によるコンサート(クラシックからジャズ、時にはロック演奏まで)も、寺院側の条件許容と合致すれば実現可能です。

しかし今回は、こうしたフリー枠の企画はおくとして、「企画A」は、作家・演出家本庄慧一郎(略歴・作品歴は別項)作品を主軸にした、「時代物読み語り」——そして、「企画B」は、ソプラノ歌手木山みづほ(二期会会員、キャリア・代表レパートリーは別項)をフィーチャーした「心あたたまる歌と詩の朗読」で構成します。

もちろんこの「企画A」「企画B」の併合も可能です。

出来れば、物語の内容、レパートリーや朗読詩の内容等で、上演ご当地に因んだ内容を考慮したいと考えています。

時代物読み語り	歌と詩の朗読	79才	男性
NO.223	P6	芸能人	
			⇒ジャンルへ

●「企画A案」のあらまし

タイトル

だれもが楽しめる——
時代物／読み語りライブ

(仮)

形式

「立体・読み語り」ライブとする。
男女のベテランの語り手(演者)により物語展開する。
音楽(シンセサイザーまたは、ギター／尺八などの
単楽器による)や、効果音を活用する。

演目

可能なかぎり、作家の本庄慧一郎(作品歴・経歴は別項)
のオリジナル作品をメインに企画する。同時にご当地にち
なむ「民話」なども新脚色によって具体化につとめる。
構成・演出も同人が担当する。

集客

寺院所在地の信徒檀徒の皆さんを中心に、そのご家族、
その友人・お仲間をベースにする。
さらに、地元の有志のグループを「地域活性運動」として
立ち上げ、主催者サイドに立って活動していただき、「寺
院と地域」のパイプを確固たるものにする。

時代物読み語り	歌と詩の朗読	79 才	男性
NO.223	P7	芸能人	
			⇒ジャンルへ

●「企画B案」のあらまし

タイトル

心ゆさぶる歌と詩の世界——
こんにちわ！ 木山みづほです

(仮)

形 式

木山みづほ——「二期会」所属のオペラ歌手。
 高校生の折に「滝廉太郎独唱コンクール」
 第1位文部大臣賞受賞を起点に、活躍してきた女性ソプラノ歌手。
 (別紙ご参照を)
 また、本庄慧一郎塾で約14年間にわたり「時代小説」の語り手と
 して研修してきて「歌と詩の朗読」のライブで活躍している。
 とりわけ歌曲は、北原白秋・島崎藤村、そして谷川俊太郎等の詩
 による日本歌曲を中心にコンサートを展開しており、
 「親和力のある本格歌手」として評価されている。

企画・構成

本庄慧一郎が担当する。制作・望田市郎企画制作室。

「企画A・B案」の制作チーフの紹介

本 名 望田市郎(もちだいちょう)
 筆 名 本庄慧一郎(ほんじょうけいいちろう)
 所 属 日本脚本家連盟/日本放送作家協会
 日本音楽著作権協会会員



略 歴 昭和7年7月22日 東京生まれ。
 叔父にあたる劇作家小沢不二夫(ムーランルージュ新宿座で活躍後、ラジオ・テレビ、そして新国劇・新派などの脚本を書き、かの美空ひばりの脚本や名曲といわれる「リンゴ追分」の作詞を手がけた)に弟子として師事。
 同時に、劇作家三好十郎氏(戯曲「ゴッホ小伝／炎の人」をはじめ、名作戯曲多数)主宰の劇団で劇作・演出を学ぶ。その後、ラジオ・テレビ、広告・TVCFの企画・コピー・制作を手がけ、国の内外の賞、約150余りを受賞した。

《永久保存作品》

ソニートリニトンカラーテレビ／「タコの赤ちゃんシリーズ」

©ACC 永久保存作品(1998年)

©昭和名作CM100 選(1991年)

さらに、マスコミ評論、社会芸能史、ハウツウもの、書き下ろし時代小説文庫(約 50 冊)を含め、著作刊行物は約100冊ほどある。

従来の仕事では、演劇、ラジオ・テレビの番組、そして広告・TVCFなどに積極的に関わったが、今回はこれらの経験、コミュニケーション・ノウハウをフルに活用して、新しいフィールドに挑戦したいと意欲している。

時代物読み語り 歌と詩の朗読		79 才	男性
NO.223	P9	芸能人	
			⇒ジャンルへ

望田市郎のイベント関係の主な仕事

(小説・評論等の刊行物および放送・CM等は別紙)

- ◆ニッポン放送声優教室
 - ◆CI キャンペーンイベント「恵通ジョイパック新しい出発」
 - ◆CI キャンペーンイベント「ヒューマックス発表パーティ」
 - ◆ロック時代劇「馬鹿だね」原案 井原西鶴
 - ◆児童文学祭「所沢発表会」主催文化庁
 - ◆ラジオトーク番組「好奇心の大統領」
(TBSラジオ月～金 1時間生放送)
 - ◆ロックミュージカル「ジョニーの首飾り」
 - ◆ロックミュージカル「ライブハウス25時」
 - ◆ミュージカルバラエティ「愛、そして旅立ち」
 - ◆ミュージカルバラエティ「JC劇場 新宿ふれあい物語」
主催 東京青年会議所新宿委員会
 - ◆カルチャーイベント「新都心トークセッション 新宿・過去・未来」
〔山口昌男・渡辺えり子・椎名 誠・神田 紅/川本三郎・大橋美加〕
主催 東京青年会議所新宿委員会 於新宿厚生年金会館
 - ◆舞台公演「幻影のムーランルージュ」劇団ピープルシアター
於新宿ゼロホール
 - ◆トークセッション「新宿を語り ムーランルージュを語る」
〔劇作家 阿木翁助〕主催 新宿歴史博物館他
 - ◆「あの昭和が甦るフィルムフェスティバル」
主催 新宿歴史博物館 他
 - ◆「古代出雲文化展」東京キャンペーン
 - ◆舞台公演「幻影のムーランルージュ」劇団ピープルシアター
於四谷区民文化ホール(新宿 300 年祭にて再演)
 - ◆舞台公演「かつぼれ櫻川びん助リサイタル」於浅草公会堂
 - ◆舞台公演「読み語り 乳房一揆」高瀬企画
於新宿シアターサンモール
 - ◆ライブ「読み語り 白芙蓉」
於大泉喫茶レストラン・ノヴェル
 - ◆舞台公演「南総里見八犬伝」オフィス・デュオ 劇団員の火
於中目黒ウッディシアター
 - ◆舞台公演「読み語り 雪になる」於アイビット目白
 - ◆ライブ「読み語り 雪になる」
於大泉喫茶レストラン・ノヴェル
 - ◆舞台公演「大都映画撮影所物語」劇団テアトル・エコー
於エコー劇場(第 131 回公演)
 - ◆記録映画「ムーランルージュの青春」幻野プロダクション
於新宿K's シネマ(順次全国各地)
 - ◆シンポジウム「ムーランルージュの青春」幻野プロダクション
〔明日待子他〕於新宿歴史博物館
- '84～'88 主催・講師
 - '87 プロデュース
 - '87 プロデュース
 - '88 脚本・演出
 - '89 演出
 - '89 10 月～'90 9 月 企画・プロデュース
 - '89 演出
 - '90 脚色・演出
 - '90 脚本・演出
 - '90 10 月 脚本・演出
 - '90 10 月 企画・コーディネーター
 - '95 10 月 原作
 - '95 10 月 企画・司会
 - '95 10 月 企画・プロデュース
 - '97 6 月 企画・コピー
 - '98 10 月 原作
 - '99 11 月 企画構成
 - 2000 年3 月 脚本・演出
 - '00 4 月 脚本・演出
 - '00 5 月 脚本
 - '00 10 月 脚本・演出
 - '00 10 月 脚本・演出
 - '06 11 月～12 月 脚本
 - '11 9 月～出演
 - '11 9 月 司会

時代物読み語り	歌と詩の朗読	79 才	男性
NO.223	P10	芸能人	
			⇒ジャンルへ

木山みづほ 略歴



兵庫県学生独奏独唱コンクール一位

滝廉太郎音楽コンクール第一位 文部大臣賞受賞

東京音楽大学声楽専攻卒業

二期会オペラスタジオ37期卒業 現在二期会会員

日本を代表するソプラノ歌手中澤桂氏に師事

91年大田区民オペラ「魔笛」クナーベ役でデビュー

《主な活動》

「日本の音楽と文化」作曲家 中田喜直氏講演会に出演

「魔笛」クナーベ役 「フィガロの結婚」ケルビーノ役 スザンナ役など

山形放送ニュースドキュメンタリー「町のイメージソングができるまで〜夢に向かって〜」にて企画・歌手として半年にわたって取材を受ける

邦楽家とCDリリース

日本歌曲を中心にコンサート活動を開始

作家 本庄慧一郎氏に読み語り師事

芝居「別れてきた道もまたひとつ〜山頭火の生涯」妻・咲野役

FM西東京・FM 多摩・FM 世田谷 歌い手パーソナリティとしてレギュラー番組を持つ

FM西東京「東京ルネッサンス」歌い手パーソナリティ

日本歌曲・日本民謡をアレンジし新しい試みで行政主催のコンサートを各地で実施

ヴォイストレーナー、呼吸法のインストラクター

クラシックの日本歌曲のステージを中心にしながら

朗読や演劇・邦楽家など他分野のアーティストとコラボレートを試み

独自のスタイルで活動が続けている

時代物読み語り	歌と詩の朗読	79 才	男性
NO.223	P11	芸能人	
			⇒ジャンルへ

「立体読み語り」についてのTPO 企画についての追記

「立体読み語り」実施については――

- ・寺院の立地条件（場所・スペース・地域性等を考慮する）
- ・対象（シニア一般／若者／中高生／小学生／幼児と母親）
の条件によって企画内容（演目）を考慮する。

（例）

- ①シニア一般 （時代人情物等）
- ②若 者 （日本・世界「純愛・恋愛物語」等）
- ③中高生 （ 同 上 ）
- ④小学生・幼児と母親
（日本民話・世界童話等）

きめこまかい企画の対応と催事の持続性が必須条件になる
でしょう。

孤立化または漂流する若者たち

ごく最近の若者たちへの意識調査(人口問題研究所)では、「交際している異性はいない」は男性で60%、女性で50%と過去最多という数字が出ています。

しかも彼らの「交際を望んでいない」は男性28%、女性で23%ということです。

次頁以後に引用した最近の新聞記事等は、「若者たちの孤立化、または漂流現象」の傍証といえます。

すでに問題化している「少子化」現象と合わせ考える時、「日本という国の次代」の弱体化や危機はあきらかです。

それだけでなく「若者のふるさと離れ」傾向は加速するばかり。「人と人」という場で感動するところを失くしつつある若者たち――。

今回の「寺院活性キャンペーン」では、当然のことながら若者たちに特化した企画も積極的に考えています。

スローガン風に表現すれば

「若者たちの感性と共振する」信号を！

となるでしょうか。

その信号シンボルマークの具体的試案をとりあえずご提案しました。

●アイキャッチャー試案

—— いずれ ——

こんなテイストのニックネームで
とくに若者たちにも親しまれたい



「わがまちのおへそ お寺(もう1つの意味は地球)」

おへそ(ネーブル)のこと ほんごうけい いろいろ

おへそは

にんげんのからだの中心にあります。

母体のからだの神秘の小宇宙に

新たに創り出だされたいのち——

その「胎児」をはぐくむための

「栄養分をはこぶ管」が「へその緒」です。

10ヶ月あまりの時を胎内ではぐくまれ

健やかな赤ちゃんが誕生すると

「へその緒」は役目を果たして不要になります。

母親にとっても、赤ちゃんにとっても

〔命の根源〕であるおへそは価値のある記憶すべき場所なのです。

この世に生まれ出たその当人にとっては

世界でたった一つの大切なところなのです。

でも、このおへその存在を

ふだんは誰もが思い出もしないようです。

そういえば、

〔生まれ故郷〕と〔おへそ〕はよく似ていると思いませんか。

さいわいにもずっと生まれ故郷に暮らしている人はともかく、

その故郷から離れて暮らしている人たちは

たいていその生まれ故郷のことを忘れてしまうようです。

ましてや自分がこの世に生まれ出るために

母親がいのちのエネルギーを送ってくれた

あの「へその緒」のことも

その記念の場所である〔おへそ〕のことなども

すっかり忘れてしまうように。

にんげんのからだの器官や機能には

不要なものは一つもないと言われます。

だから〔おへそ〕も

とても大切なもののはずです。

● 新世代コミュニケーションツール
試案①

日蓮宗寺院を結ぶ
双方向〔親深〕ネットワーク



(TERRA——地球=転じて寺)

● 新世代コミュニケーションツール
試案③

日蓮宗寺院を結ぶ
双方向〔親深〕ネットワーク



(GRAVITATION——引力
グラヴィテーションの略語/グラビ)

● 新世代コミュニケーションツール
試案②

日蓮宗寺院を結ぶ
双方向〔親深〕ネットワーク



(GURURI——ぐるり/日本語)

● 新世代コミュニケーションツール
試案④

日蓮宗寺院を結ぶ
双方向〔親深〕ネットワーク



(NATIVE——出生の・土着の)



寅さんのことなど題経寺の寒がらす

あのお寺
このお寺
坊ねある句



売り物は「ばばしゃつ」「ずるーす」いい笑顔



人もなき矢切の渡船場はなれ雲

帝釈天 題経寺（東京葛飾柴又）

本庄 慧一郎
（文と写真）

葛飾はずっと昔は水郷だったとか。いわゆる東京郊外 of 行楽地として親しまれていたのだ。

それが映画「寅さんシリーズ」の影響で、「下町の人情のある町」として印象づけられた。

「寅さんと帝釈天」はおなじみだが、このお寺のもう一つの名は題経寺。

お寺の開基は「題経院日栄」というお坊さま。したがって寺名は題経寺なのだ。日蓮聖人のお手になると伝えられる「帝釈天」の彫刻が奉安されているという。いまの世の中の人々のこころの荒みは目に余る。だからこそ寅さん物語の、こまやかな人情のぬくもりが多くの人々に慕われたのだろう。

春物のよもぎ団子には、昔と変わらぬ「情けの味」がある。（作家・脚本家）

摩利支天 徳大寺（東京上野御徒町）

本庄 慧一郎

（文と写真）

「アメ横」といえば「上野の西郷どん」と並んで……いや、それ以上に親しまれている町だ。

昭和二十（一九四五）年。敗戦の廃墟にいくつもの自由市場（ブラックマーケット）が現出した。

いちはやく、アメを商う小店（当時二百軒とか）が御徒町の一角に誕生した。そこへアメリカの兵士たちがさまざまな物資を持ち込む。そして六十有余年。「アメ屋横丁」は「アメ横」となって、個性的な賑わいを保ちつつ現在に至っている。

しかし、この町は本来「摩利支天（妙宣山）徳大寺」の門前町だったはずである。小さな丘の上に、色鮮やかな堂がある。

アメ横の日々の賑わいとその歴史を見つめているのは「開運摩利支天」と「日蓮聖人」の慈顔だ。

かつては、不忍池をも見えたであろう堂のある場所から、いまは庶民の活気のある暮らしがよく見える――。

（作家・脚本家）



「アメ横」のさざめき慈顔の日蓮像 ジーンズの娘の合掌の指なまめいて 廃墟から六十有余年 摩利支天



母上子よ いくしみの教え鬼子母神

あのお寺
このお寺

訪ねある句



くるま椅子の母と娘の寒の寺



創業は天明元年 幼なじみの長ばなし

う感じた。

このお寺に詣でる人々は、みんないい顔をしておられる——と正直にそう感じた。

(作家・脚本家)

に立つ。

現在は、東京では唯一の路面電車となった荒川線が近くを走り、高い建物をよけると池袋の高層ビルなどが望める「新旧とりまぜた地」になった。近頃、親と子の、いや、母と子のことなどで嘆かわしいことがやたら目に立つ。

物だった。

すすきの穂を素材にした「みみずく」など、素朴な情趣のみやげ物が名物だった。

鬼子母神という寺名はなにやら恐ろしげだ。その挿話もちよっとラジカルだ。けれど、つづまるところ、母親として子を思ういくしみの心を教えとしている。

小生は時代小説でもこの鬼子母神・法明寺の風情をこまかく書いた。

鬼子母神 法明寺（東京豊島雑司ヶ谷） 本庄 慧一郎
(文と写真)

故 郷 （文部省唱歌）

兎追いしかの山
小鮒釣りしかの川
夢は今もめぐりて
忘れがたき故郷

如何にいます父母
恙なしや友がき
雨に風につけても
思いいずる故郷

こころざしをはたして
いつの日にか帰らん
山はあおき故郷
水は清き故郷

これを機会に、あらためて[生まれ故郷]と、その[故郷のおへソ]であるお寺の存在を皆さんに再確認してもらいたいと強く願うものです。これからも、やはりお寺は地域活性の[おへソ]であるべきです。とりわけさまざまな人々の「こころ」を結び合わせる「まん中」にある貴重な存在であるべきだと思います。

生まれ故郷といえば

幼いときからなじんで育ったお寺も

その町や村の[おへソ]のようなものだと思います。

故郷を離れて暮らす者は忙しさにまぎれ

夏休みや正月の帰郷の時のほかは

[たった1つの生まれ故郷]さえ、つい忘れてしまうようです。

ついでにその快い思い出につながるお寺もまた——です。

でもあの東日本大震災以後

被災地の皆さんの心を力づけ、励ました歌は

唱歌「故郷」だったとか。